

令和5年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和5年12月

大仙市 企画部 総合政策課

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回収率	4
2.3 回答者の属性	5
2.4 満足度及び重要度	8
2.4.1 満足の度合い	8
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	10
2.4.3 満足度における属性別比較	11
2.4.4 重要の度合い	15
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	17
2.4.6 重要度における属性別比較	18
2.4.7 項目別要望度	22
2.4.8 満足度、重要度の総括	24
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	25
2.5 さらに推進すべき取組	27
2.5.1 産業分野に関する設問について	27
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	30

2.5.3	健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	33
2.5.4	環境安全分野に関する設問について	36
2.5.5	都市基盤分野に関する設問について	39
2.5.6	教育・交流分野に関する設問について	42
2.5.7	地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	45
2.5.8	さらに推進すべき取組の総括	48
2.6	市の情報発信や行政サービスのデジタル化について	53
2.6.1	市政情報の入手手段に関する設問について	53
2.6.2	市が行っている行政サービスに関する設問について	56
2.7	あなたが思う大仙市について	61
2.7.1	市内在住の経緯に関する設問について	61
2.7.2	「住みやすさ」に関する設問について	63
2.8	経年比較	67
3	市民による個別事業評価	
3.1	個別事業評価	81
3.1.1	SDGsについて	81
3.1.2	出会い・結婚について	99
4	自由意見	111
5	資料（調査票）	

令和5年度「市民による市政評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、平成18年度から「市民による市政評価」を継続的に実施している。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の事務事業に関する評価や意見等を伺う「個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後、さらに推進すべき取組

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の2つのテーマについて調査した。

No.	テーマ
1	SDGsについて
2	出会い・結婚について

1.3 調査の手法

調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和5年度「市民による市政評価」（「個別事業評価」の2テーマを含む）

※「5 資料（調査票）」参照

1.5 調査期間

令和5年5月12日（金）～6月16日（金）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超えることがある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

16歳以上^{*}、85歳未満の市民の中から無作為に抽出した1,000人（性別、年齢、地域については考慮）

※今年度から対象年齢を「18歳以上」から「16歳以上」に引き下げ

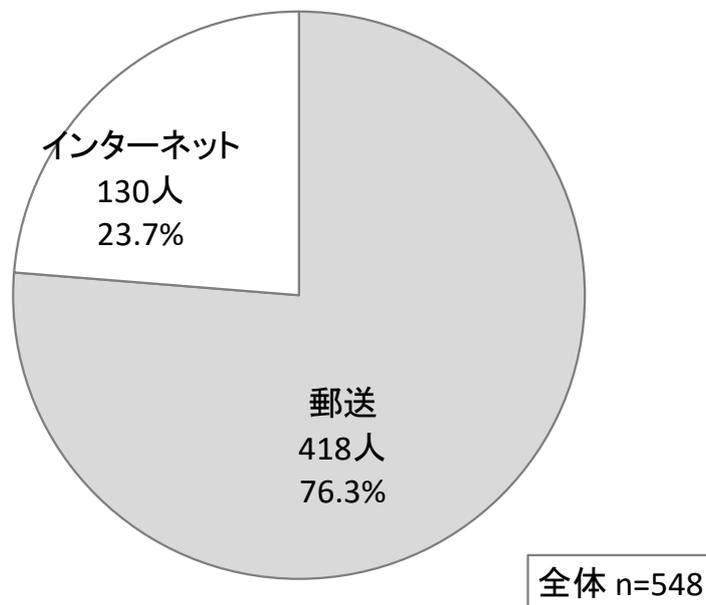
2.2 回収率

送付者数・・・1,000人

回答者数・・・548人

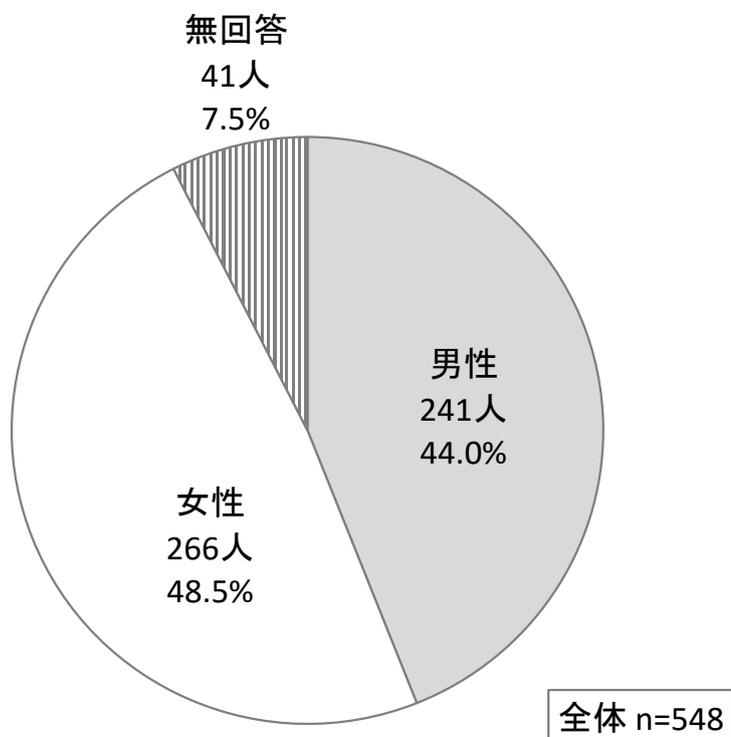
回収率・・・54.8%

図表1 回答方法の内訳

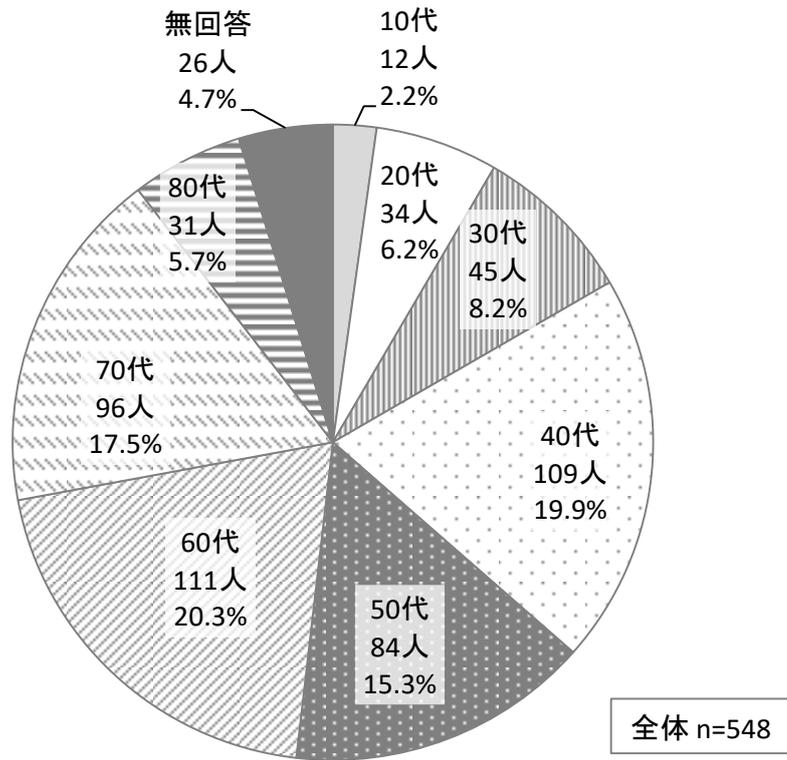


2.3 回答者の属性

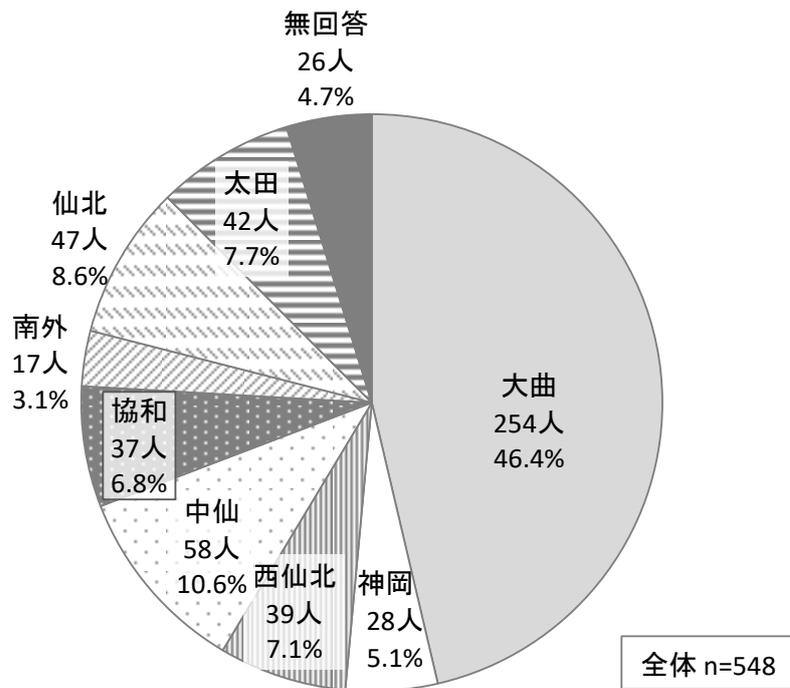
図表 2 回答者の性別の内訳



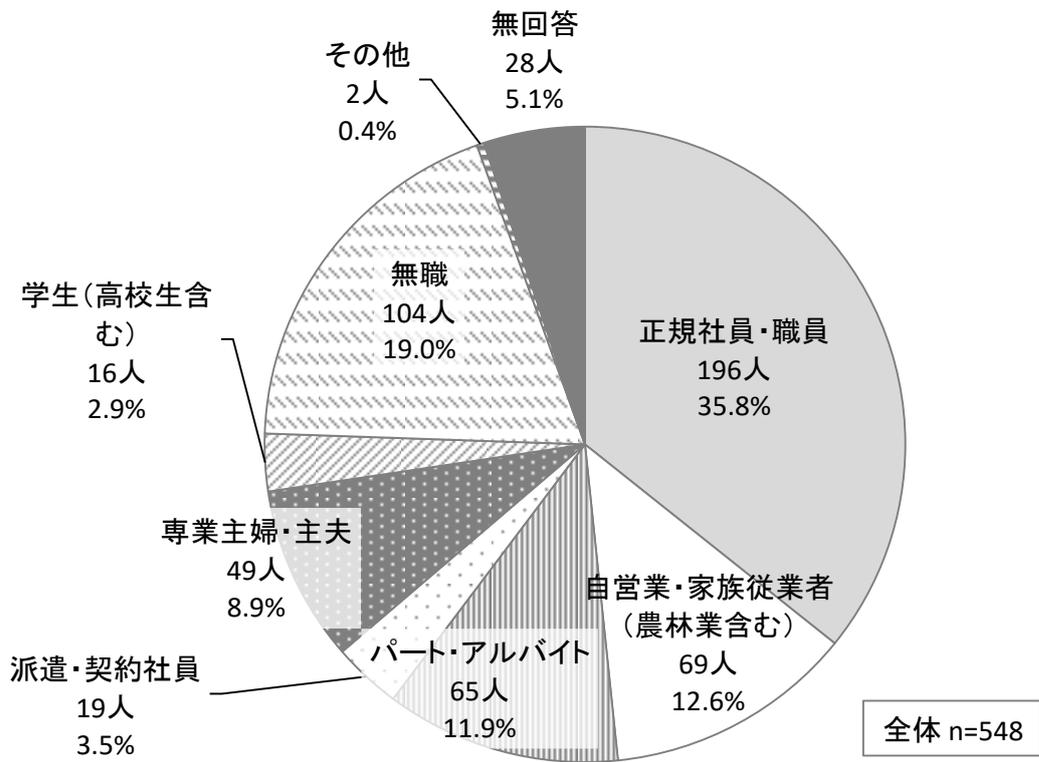
図表3 回答者の年代の内訳



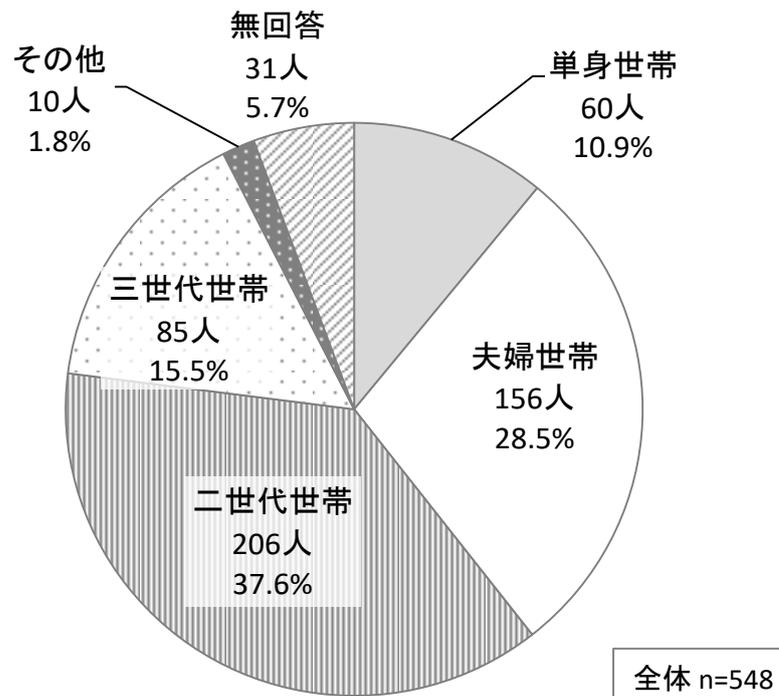
図表4 回答者の居住地域の内訳



図表5 回答者の就業状況の内訳



図表6 回答者の世帯構成の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.70（昨年度3.71）、「安全・安心体制」が3.51（昨年度3.46）、「子育て」が3.48（昨年度3.60）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」が2.77（昨年度2.85）、「雇用・就労」が2.78（昨年度2.84）、「市街地」が2.81（昨年度2.96）の順となっている。

上位項目では、「安全・安心体制」が昨年度6位から2位に上昇しており、昨年度3位の「自然・衛生環境」が同順4位に下降している。下位項目では、「市街地」が昨年度25位から27位に下降しており、昨年度27位の「空き家対策」が26位に上昇している。

昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、22項目で満足度が低下しているほか、変動が無かったのは3項目、上昇したのは4項目となっており、全体的に満足度が低下している。中でも0.05ポイント以上低下した項目は、3.28で同順11位の「花火産業構想」（0.15減）、2.81で27位の「市街地」（0.15減）、3.48で3位の「子育て」（0.12減）、3.29で10位の「社会保障」（0.12減）、3.31で9位の「社会福祉」（0.11減）、3.09で22位の「観光」（0.08減）、2.77で29位の「商工業」（0.08減）、3.17で18位の「住環境」（0.07減）、3.16で19位の「公共交通」（0.07減）、2.78で28位の「雇用・就労」（0.06減）、3.47で同順4位の「自然・衛生環境」（0.05減）、3.07で24位の「移住・定住」（0.05減）の12項目となっている。

一方、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.51で2位の「安全・安心体制」（0.05増）のみとなっている。

その他の16項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

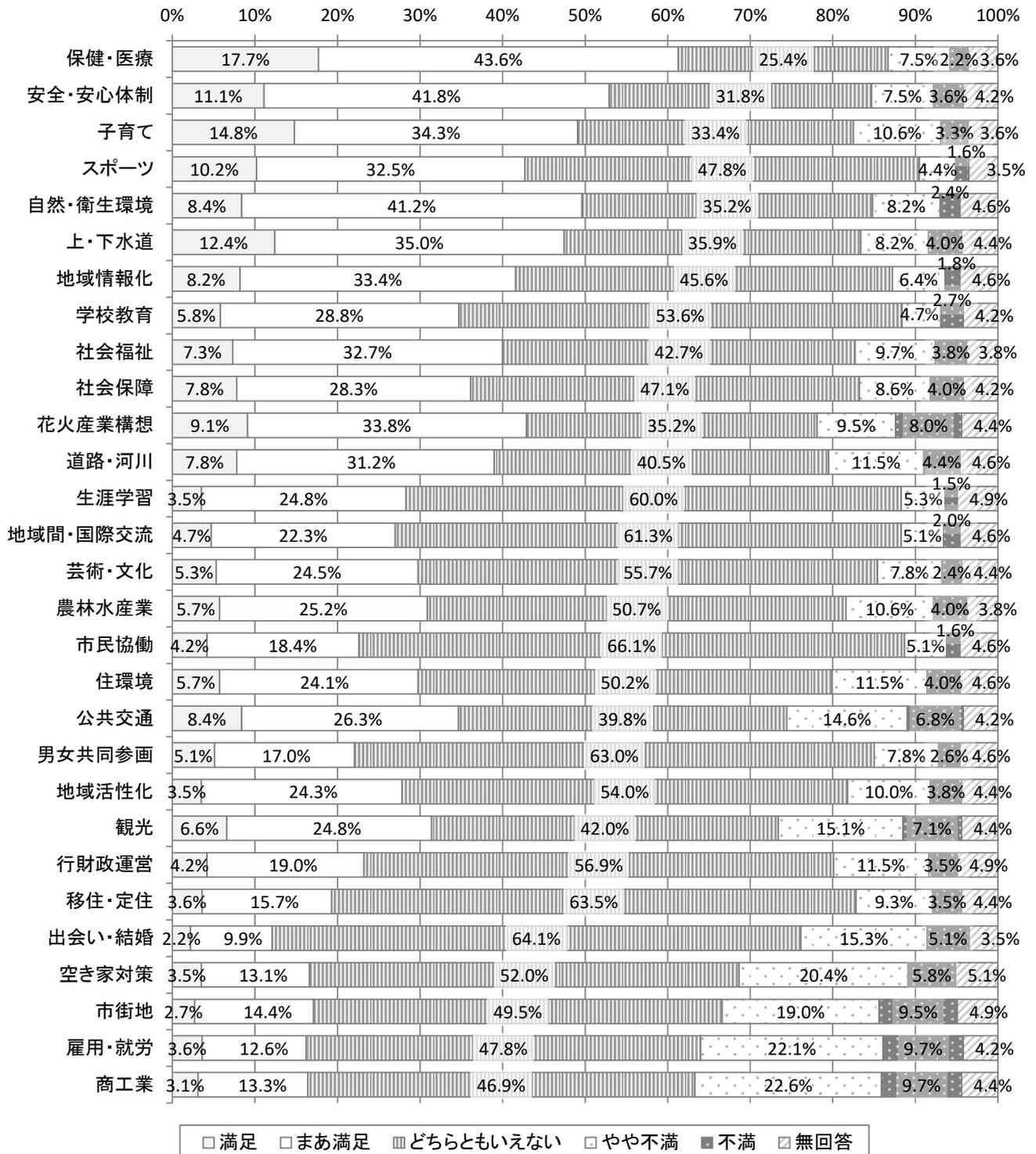
順位		項目	満足度 ※			
R5	R4			R5	R4	増減 (R5-R4)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	←	3.70	3.71	▲ 0.01
2	6	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	↔	3.51	3.46	0.05
3	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	✓	3.48	3.60	▲ 0.12
4	5	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.47	3.47	0.00
4	3	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	✓	3.47	3.52	▲ 0.05
6	4	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	←	3.46	3.49	▲ 0.03
7	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	3.42	3.45	▲ 0.03
8	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	3.32	3.34	▲ 0.02
9	9	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に取り組んでいます。	✓	3.31	3.42	▲ 0.11
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に取り組んでいます。	✓	3.29	3.41	▲ 0.12
11	8	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↓	3.28	3.43	▲ 0.15
11	13	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	3.28	3.27	0.01
13	12	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.25	3.29	▲ 0.04
14	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	3.24	3.26	▲ 0.02
15	15	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.23	3.24	▲ 0.01
16	18	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	3.19	3.19	0.00
16	19	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.19	3.18	0.01
18	15	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	✓	3.17	3.24	▲ 0.07
19	17	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	✓	3.16	3.23	▲ 0.07
20	20	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.15	3.17	▲ 0.02
21	20	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.14	3.17	▲ 0.03
22	20	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	✓	3.09	3.17	▲ 0.08
22	24	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	←	3.09	3.08	0.01
24	23	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	✓	3.07	3.12	▲ 0.05
25	26	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝い、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	←	2.88	2.92	▲ 0.04
26	27	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	←	2.87	2.87	0.00
27	25	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↓	2.81	2.96	▲ 0.15
28	29	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	✓	2.78	2.84	▲ 0.06
29	28	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	✓	2.77	2.85	▲ 0.08

※満足度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↔ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ✓ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表 8 満足度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、上位項目については、男性は「子育て」が上位5項目から外れており（7位）、4位に全体7位の「地域情報化」が挙げられている。女性は全体の上位5項目と同じ項目が挙げられている。下位項目については、順位の入替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」が挙げられており、30代以上では1位となっている。また、10代、20代、50代、70代以上で「自然・衛生環境」、30代から70代で「子育て」、40代以上で「安全・安心体制」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「出会い・結婚」「市街地」が挙げられており、20代以上で「商工業」「雇用・就労」、10代と40代以上で「空き家対策」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」「安全・安心体制」が挙げられており、西仙北・南外地域以外で「自然・衛生環境」、神岡・西仙北・太田地域以外で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、神岡地域以外で「商工業」、協和地域以外で「市街地」、南外地域以外で「空き家対策」、仙北地域以外で「出会い・結婚」が挙げられており、中仙・太田地域以外で「雇用・就労」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.64	25	空き家対策	2.84
2	安全・安心体制	3.52	26	出会い・結婚	2.79
3	自然・衛生環境	3.45	27	市街地	2.75
4	地域情報化	3.44	28	雇用・就労	2.72
5	スポーツ	3.41	29	商工業	2.69

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.80	25	出会い・結婚	2.98
2	子育て	3.63	26	空き家対策	2.90
3	スポーツ	3.56	27	市街地	2.88
4	自然・衛生環境	3.53	28	商工業	2.87
5	安全・安心体制	3.51	29	雇用・就労	2.83

図表 10 年代別による満足度

■10代 (上位)

順位	項目	満足度
1	花火産業構想	4.33
2	農林水産業	4.08
3	保健・医療	4.00
	地域情報化	4.00
5	自然・衛生環境 住環境	3.83

(下位)

順位	項目	満足度
25	地域活性化	3.08
26	空き家対策	3.00
27	出会い・結婚	2.75
28	公共交通	2.67
	市街地	2.67

■20代 (上位)

順位	項目	満足度
1	地域情報化	3.84
2	スポーツ	3.81
3	保健・医療	3.78
	自然・衛生環境	3.78
5	芸術・文化	3.72

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.09
26	住環境	3.06
27	市街地	3.00
28	商工業	2.88
29	雇用・就労	2.84

■30代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	上・下水道	3.52
3	子育て	3.45
4	スポーツ	3.41
	花火産業構想	3.41
	道路・河川	3.41

(下位)

順位	項目	満足度
25	地域活性化	2.95
26	出会い・結婚	2.93
27	商工業	2.86
28	市街地	2.79
29	雇用・就労	2.61

■40代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.61
2	子育て	3.48
3	安全・安心体制	3.46
4	上・下水道	3.44
5	地域情報化	3.42

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.80
26	空き家対策	2.76
27	市街地	2.73
28	商工業	2.71
29	雇用・就労	2.69

■50代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.58
2	自然・衛生環境	3.48
3	スポーツ	3.45
4	子育て	3.43
5	安全・安心体制	3.36

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.89
26	空き家対策	2.70
27	市街地	2.66
28	雇用・就労	2.63
	商工業	2.63

■60代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.62
2	子育て	3.44
3	スポーツ	3.43
4	安全・安心体制	3.39
5	地域情報化	3.30

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.81
26	市街地	2.75
27	空き家対策	2.73
28	雇用・就労	2.68
29	商工業	2.67

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.89
2	安全・安心体制	3.80
3	子育て	3.66
	自然・衛生環境	3.66
5	上・下水道	3.63

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	3.08
	雇用・就労	3.08
27	市街地	3.00
28	商工業	2.94
29	出会い・結婚	2.93

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	4.11
2	上・下水道	3.85
3	自然・衛生環境	3.82
	社会福祉	3.82
5	安全・安心体制	3.81

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.10
26	空き家対策	3.04
27	市街地	3.00
28	雇用・就労	2.93
29	商工業	2.78

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.74
2	子育て	3.53
3	上・下水道	3.48
	自然・衛生環境	3.48
5	地域情報化	3.46
	安全・安心体制	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.91
26	出会い・結婚	2.90
27	市街地	2.80
28	商工業	2.73
29	雇用・就労	2.72

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.65
2	自然・衛生環境	3.62
	スポーツ	3.62
4	安全・安心体制	3.58
5	保健・医療	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.77
26	空き家対策	2.73
	出会い・結婚	2.73
28	移住・定住	2.62
29	雇用・就労	2.56

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.78
2	保健・医療	3.69
3	上・下水道	3.58
4	地域間・国際交流	3.56
5	安全・安心体制	3.54

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	2.92
26	出会い・結婚	2.91
27	商工業	2.83
28	空き家対策	2.71
29	市街地	2.64

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.73
2	子育て	3.55
3	安全・安心体制	3.54
4	自然・衛生環境	3.44
5	社会福祉	3.41

(下位)

順位	項目	満足度
25	男女共同参画	2.98
26	市街地	2.96
27	空き家対策	2.85
28	出会い・結婚	2.78
	商工業	2.78

■協和地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.79
2	上・下水道	3.77
3	安全・安心体制	3.71
4	自然・衛生環境	3.69
5	子育て 花火産業構想	3.65

(下位)

順位	項目	満足度
25	雇用・就労	2.94
26	公共交通	2.91
27	出会い・結婚	2.89
28	商工業	2.85
29	空き家対策	2.79

■南外地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.40
2	スポーツ	3.33
3	安全・安心体制	3.27
	子育て	3.27
	社会保障	3.27

(下位)

順位	項目	満足度
24	地域活性化	2.87
	移住・定住	2.87
	市街地	2.87
27	雇用・就労	2.80
28	出会い・結婚	2.73
29	商工業	2.60

■仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	スポーツ	3.63
2	保健・医療	3.59
	安全・安心体制	3.59
4	自然・衛生環境	3.57
5	子育て	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
25	空き家対策	2.89
	観光	2.89
27	商工業	2.78
28	市街地	2.67
29	雇用・就労	2.48

■太田地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.69
2	道路・河川	3.57
3	安全・安心体制	3.55
	自然・衛生環境	3.55
5	地域情報化	3.45

(下位)

順位	項目	満足度
24	社会保障	3.00
	移住・定住	3.00
	出会い・結婚	3.00
27	商工業	2.98
28	空き家対策	2.90
29	市街地	2.80

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「保健・医療」が4.49（昨年度4.39）、「子育て」が4.42（昨年度4.36）、「雇用・就労」が4.41（昨年度4.34）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.35（昨年度3.38）、「スポーツ」が3.47（昨年度3.43）、「芸術・文化」が3.54（昨年度3.57）の順となっている。

上位項目、下位項目のどちらも順位、項目は昨年度と同様となっている。

昨年度と比較すると、満足度同様、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、22項目で重要度が上昇しているほか、変動が無かったのは1項目、低下したのは6項目となっており、全体的に重要度が上昇している。中でも0.05ポイント以上上昇した項目は、4.08で13位の「公共交通」（0.12増）、4.49で1位の「保健・医療」（0.10増）、4.15で11位の「自然・衛生環境」（0.09増）、4.41で3位の「雇用・就労」（0.07増）、4.19で10位の「上・下水道」（0.07増）、3.85で19位の「市街地」（0.07増）、4.42で2位の「子育て」（0.06増）、4.29で6位の「社会保障」（0.06増）、4.23で同順7位の「商工業」（0.05増）、4.00で14位の「空き家対策」（0.05増）、3.91で15位の「出会い・結婚」（0.05増）、3.87で18位の「移住・定住」（0.05増）の12項目となっている。

一方、0.05ポイント以上低下した項目は、3.81で20位の「行財政運営」（0.14減）のみとなっている。

その他の16項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 12 重要度（点数順）

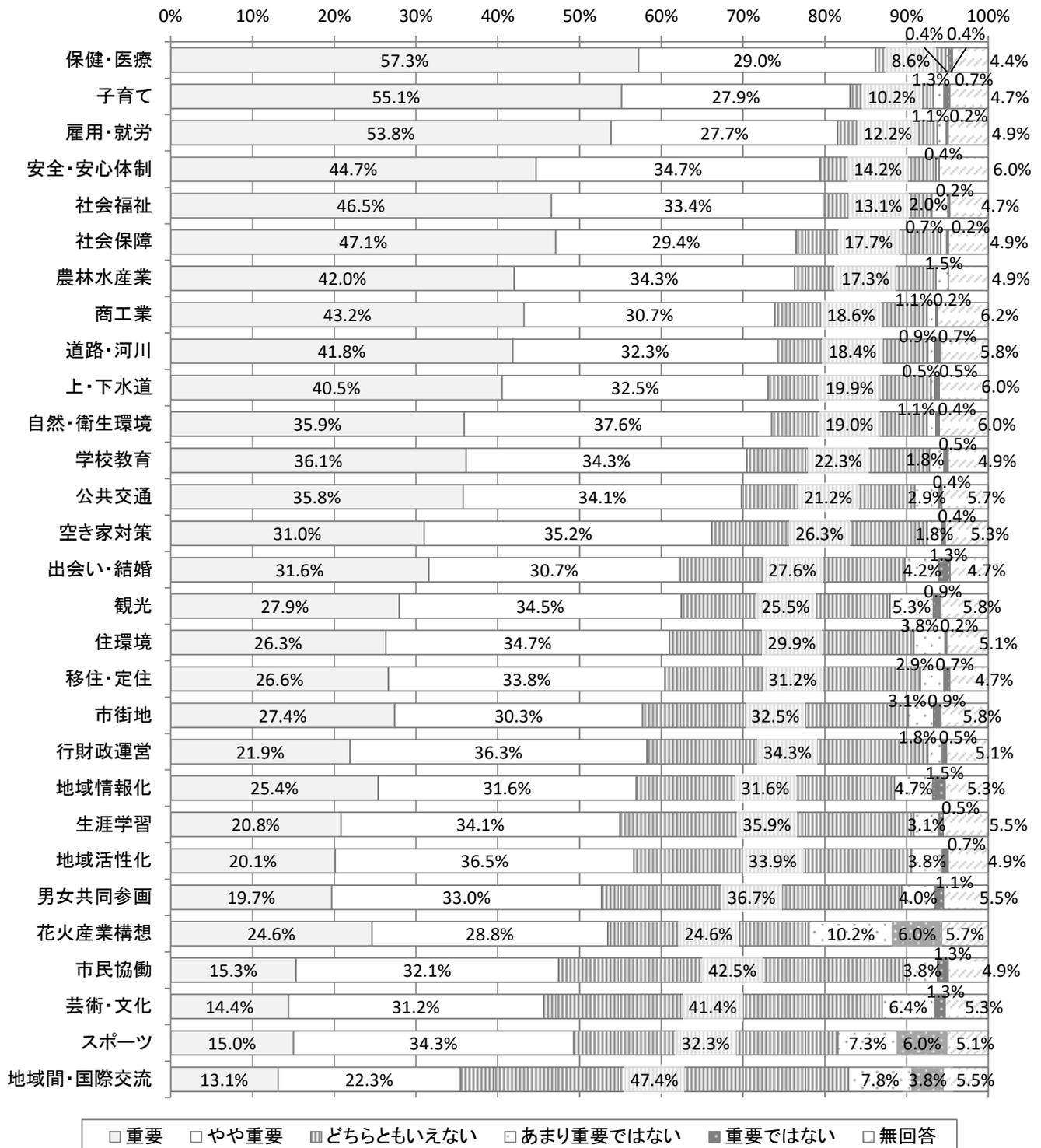
順位		項目	重要度 ※			
R5	R4		R5	R4	増減	
					(R5-R4)	
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↖	4.49	4.39	0.10
2	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↖	4.42	4.36	0.06
3	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↖	4.41	4.34	0.07
4	5	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	4.31	4.30	0.01
5	4	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	←	4.30	4.31	▲0.01
6	6	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↖	4.29	4.23	0.06
7	7	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	4.23	4.19	0.04
7	8	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↖	4.23	4.18	0.05
9	8	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	4.21	4.18	0.03
10	10	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↖	4.19	4.12	0.07
11	12	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↖	4.15	4.06	0.09
12	11	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	4.09	4.09	0.00
13	13	【公共交通】 地域の実情に合わせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↖	4.08	3.96	0.12
14	14	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↖	4.00	3.95	0.05
15	16	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↖	3.91	3.86	0.05
16	17	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	←	3.88	3.85	0.03
16	17	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	←	3.88	3.85	0.03
18	19	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↖	3.87	3.82	0.05
19	20	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↖	3.85	3.78	0.07
20	14	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↘	3.81	3.95	▲0.14
21	22	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	←	3.79	3.75	0.04
22	21	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	3.76	3.77	▲0.01
23	23	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	←	3.75	3.73	0.02
24	24	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	3.70	3.69	0.01
25	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	←	3.59	3.58	0.01
25	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	3.59	3.60	▲0.01
27	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	3.54	3.57	▲0.03
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	3.47	3.43	0.04
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	3.35	3.38	▲0.03

※重要度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合（点数順）



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性は全体の上位5項目に挙げられている項目と同じだが、男性では4位に全体で同順7位の「商工業」、同順5位に全体で6位の「社会保障」と全体で同順7位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男性は全体の下位5項目に挙げられている項目と同じだが、女性では25位に全体で24位の「男女共同参画」が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」、80代以外で「子育て」、10代と70代以上を除く年代で「雇用・就労」が挙げられており、「保健・医療」は10代から30代と60代以上で、「雇用・就労」は40代と50代で1位となっている。また、40代、50代、70代以上で「社会保障」が挙げられており、全体5位の「社会福祉」は50代と70代で上位となっている。

下位項目については、全ての年代で「地域間・国際交流」、20代以外で「芸術・文化」、20代から70代で「スポーツ」、10代から50代と70代で「市民協働」が挙げられている。そのほか、20代、40代、60代、80代では「花火産業構想」が挙げられており、10代と30代で「地域情報化」、10代と20代で「出会い・結婚」、10代と50代で「男女共同参画」、60代と80代で「市街地」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」「子育て」が挙げられており、「保健・医療」は南外・仙北地域以外で1位となっている。また、協和地域以外では「雇用・就労」が挙げられており、南外・仙北地域で1位となっている。そのほか、大曲・西仙北・協和・南外・太田地域で「社会福祉」、大曲・中仙・仙北・太田地域で「社会保障」、神岡・協和・仙北・太田地域で「農林水産業」、大曲・神岡・太田地域で「安全・安心体制」がそれぞれ挙げられている。

下位項目については、南外地域以外で「地域間・国際交流」「スポーツ」「芸術・文化」が挙げられている。また、神岡・南外地域以外で「市民協働」、西仙北・協和地域以外で「花火産業構想」が挙げられている。そのほか、協和・南外地域で「市街地」「地域情報化」「男女共同参画」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

■男性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	子育て	4.47	25	芸術・文化	3.49
2	雇用・就労	4.45	26	市民協働	3.48
3	保健・医療	4.42	27	花火産業構想	3.44
4	商工業	4.33	28	スポーツ	3.40
5	安全・安心体制	4.28	29	地域間・国際交流	3.32
	社会保障	4.28			
	農林水産業	4.28			
	社会福祉	4.28			

■女性 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.60	25	男女共同参画	3.72
2	子育て	4.44	26	市民協働	3.69
3	雇用・就労	4.40	27	芸術・文化	3.61
4	安全・安心体制	4.35	28	スポーツ	3.58
	社会福祉	4.35	29	地域間・国際交流	3.39

図表 15 年代による重要度

■10代 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.83	24	地域情報化	4.17
	子育て	4.83		出会い・結婚	4.17
	公共交通	4.83		地域間・国際交流	4.17
4	安全・安心体制	4.75	27	男女共同参画	4.08
	上・下水道	4.75		市民協働	4.08
	自然・衛生環境	4.75	29	芸術・文化	3.75
	観光	4.75			

■20代 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.65	25	市民協働	3.87
2	子育て	4.61	26	花火産業構想	3.74
3	雇用・就労	4.55	27	出会い・結婚	3.61
4	安全・安心体制	4.48	28	地域間・国際交流	3.42
	道路・河川	4.48	29	スポーツ	3.26

■30代 (上位)			(下位)		
順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.48	25	地域情報化	3.64
2	子育て	4.47	26	市民協働	3.61
3	雇用・就労	4.36	27	スポーツ	3.35
4	安全・安心体制	4.33	28	芸術・文化	3.34
5	上・下水道	4.25		地域間・国際交流	3.34

■40代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.51
2	子育て	4.49
3	保健・医療	4.41
4	社会保障	4.36
5	農林水産業	4.28

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.56
26	市民協働	3.53
27	花火産業構想	3.44
28	スポーツ	3.40
29	地域間・国際交流	3.21

■50代 (上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.56
2	保健・医療	4.52
3	社会福祉	4.48
4	子育て	4.39
5	社会保障	4.34

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.64
26	芸術・文化	3.59
27	スポーツ	3.53
28	市民協働	3.52
29	地域間・国際交流	3.25

■60代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.39
2	子育て	4.35
3	雇用・就労	4.32
4	安全・安心体制	4.25
	商工業	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	市街地	3.51
26	芸術・文化	3.43
27	花火産業構想	3.37
28	スポーツ	3.33
29	地域間・国際交流	3.22

■70代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	子育て	4.42
3	農林水産業	4.41
4	社会福祉	4.40
5	社会保障	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.64
26	生涯学習	3.61
27	芸術・文化	3.57
28	地域間・国際交流	3.55
29	市民協働	3.51

■80代 (上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.69
2	安全・安心体制	4.54
3	公共交通	4.48
4	社会保障	4.38
5	自然・衛生環境	4.36

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域間・国際交流	3.67
26	市街地	3.65
27	観光	3.62
28	芸術・文化	3.54
29	花火産業構想	3.33

図表 16 地域による重要度

■大曲地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	子育て	4.48
3	雇用・就労	4.44
4	安全・安心体制	4.38
5	社会保障	4.30
	社会福祉	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.72
26	市民協働	3.59
	芸術・文化	3.59
28	スポーツ	3.47
29	地域間・国際交流	3.24

■神岡地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.46
	雇用・就労	4.46
	安全・安心体制	4.46
4	子育て	4.42
	農林水産業	4.42

(下位)

順位	項目	重要度
25	生涯学習	3.58
26	地域間・国際交流	3.54
27	芸術・文化	3.38
28	スポーツ	3.35
29	花火産業構想	3.32

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.57
2	雇用・就労	4.50
3	子育て	4.49
	社会福祉	4.49
5	商工業	4.41

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.81
26	地域活性化	3.78
27	スポーツ	3.74
28	芸術・文化	3.69
29	地域間・国際交流	3.54

■中仙地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.48
2	道路・河川	4.43
3	雇用・就労	4.40
4	子育て	4.31
5	社会保障	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.53
26	芸術・文化	3.49
27	地域間・国際交流	3.38
28	スポーツ	3.37
29	花火産業構想	3.25

■協和地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.33
	子育て	4.33
3	社会福祉	4.25
4	商工業	4.24
	農林水産業	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
23	市街地	3.70
	芸術・文化	3.70
	スポーツ	3.70
26	地域情報化	3.66
27	男女共同参画	3.64
28	市民協働	3.61
29	地域間・国際交流	3.55

■南外地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.50
2	保健・医療	4.40
3	子育て	4.27
	社会福祉	4.27
5	上・下水道	4.20

(下位)

順位	項目	重要度
25	空き家対策	3.50
	花火産業構想	3.50
27	地域情報化	3.33
28	市街地	3.27
29	男女共同参画	3.00

■仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.50
	子育て	4.50
3	保健・医療	4.43
4	社会保障	4.31
5	農林水産業	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.59
26	市民協働	3.57
27	花火産業構想	3.51
28	スポーツ	3.42
29	地域間・国際交流	3.30

■太田地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.52
2	社会福祉	4.40
3	安全・安心体制	4.32
4	子育て	4.29
5	雇用・就労	4.21
	社会保障	4.21
	農林水産業	4.21

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.54
26	地域間・国際交流	3.50
27	スポーツ	3.34
28	花火産業構想	3.33
29	芸術・文化	3.24

2.4.7 項目別要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.63（昨年度1.50）、「商工業」が1.46（昨年度1.33）、「空き家対策」が1.13（昨年度1.08）の順となっており、上位4項目までは昨年度と同じ順位となっている。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.00（昨年度-0.04）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.12）、「芸術・文化」（昨年度0.33）と「花火産業構想」（昨年度0.15）が0.31の順となっており、下位2項目は昨年度と同じ順位、昨年度25位の「芸術・文化」と昨年度27位の「花火産業構想」が同順26位に、昨年度26位の地域情報化が25位に上昇している。

昨年度と比較すると、満足度が全体的に低下し、重要度が全体的に上昇したため、要望度は全体的に上昇している。

要望度が0.15ポイント以上上昇した項目は、1.04で5位の「市街地」（昨年度から0.22ポイント増）、0.92で11位の「公共交通」（昨年度から0.19ポイント増）、1.00で7位の「社会保障」（昨年度から0.18ポイント増）、0.94で9位の「子育て」（昨年度から0.18ポイント増）、0.31で26位の「花火産業構想」（昨年度から0.16ポイント増）となっている。一方、0.15ポイント以上低下した項目は、0.72で18位の「行財政運営」となっており、昨年度の8位から大きく順位を下げている。

図表 17 項目別要望度 (重要度－満足度) (点数順)

順位		項目	要望度 ※			
R5	R4		R5	R4	増減 (R5-R4)	
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	↖	1.63	1.50	0.13
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	↖	1.46	1.33	0.13
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	↖	1.13	1.08	0.05
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	←	1.04	1.00	0.04
4	10	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	↑	1.04	0.82	0.22
6	5	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや結婚祝金、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	↖	1.03	0.94	0.09
7	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	↑	1.00	0.82	0.18
8	7	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	↖	0.99	0.89	0.10
9	12	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	↑	0.94	0.76	0.18
10	6	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	←	0.93	0.91	0.02
11	14	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	↑	0.92	0.73	0.19
12	15	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	↖	0.80	0.70	0.10
12	9	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	←	0.80	0.84	▲0.04
14	16	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	↖	0.79	0.68	0.11
14	16	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	↖	0.79	0.68	0.11
16	13	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	←	0.77	0.75	0.02
17	18	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	↖	0.73	0.63	0.10
18	8	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	↓	0.72	0.87	▲0.15
19	19	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	↖	0.71	0.61	0.10
20	21	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	↖	0.68	0.54	0.14
21	20	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	↖	0.61	0.56	0.05
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	←	0.55	0.52	0.03
23	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	←	0.51	0.48	0.03
24	24	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	←	0.40	0.42	▲0.02
25	26	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	↖	0.37	0.30	0.07
26	27	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	↑	0.31	0.15	0.16
26	25	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	←	0.31	0.33	▲0.02
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	←	0.11	0.12	▲0.01
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	←	0.00	-0.04	0.04

※要望度の矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↙ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

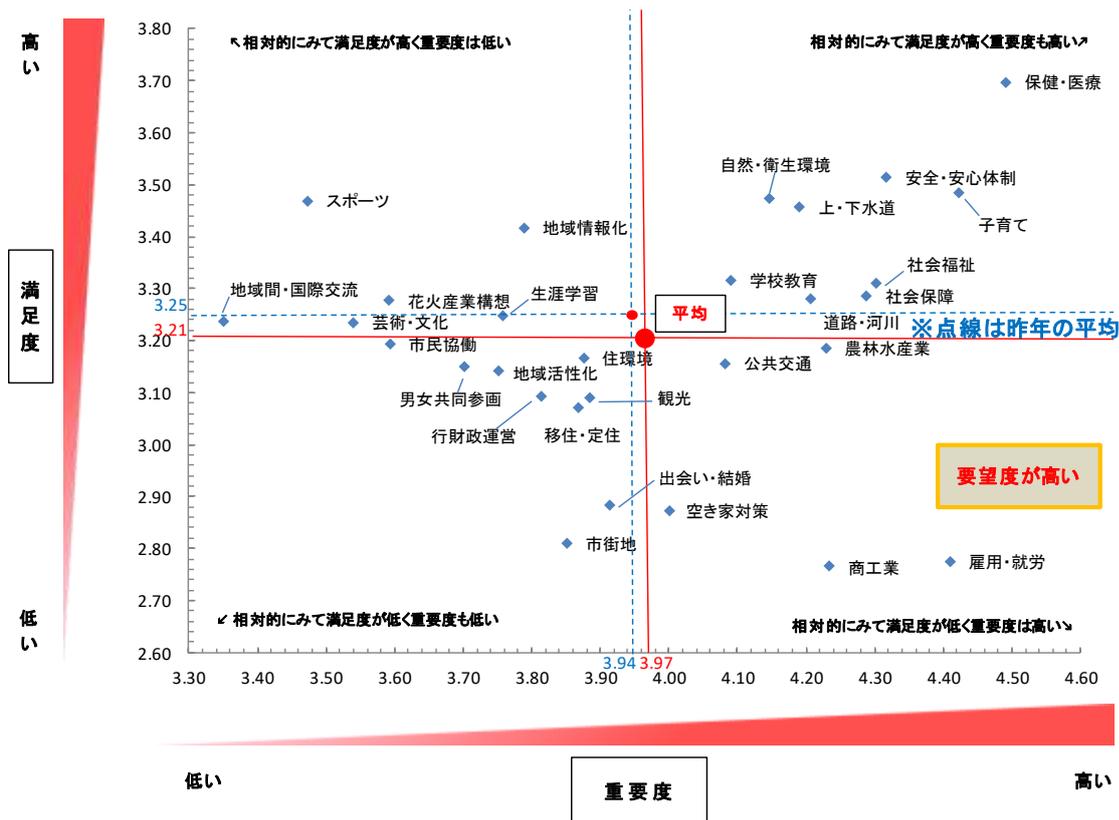
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

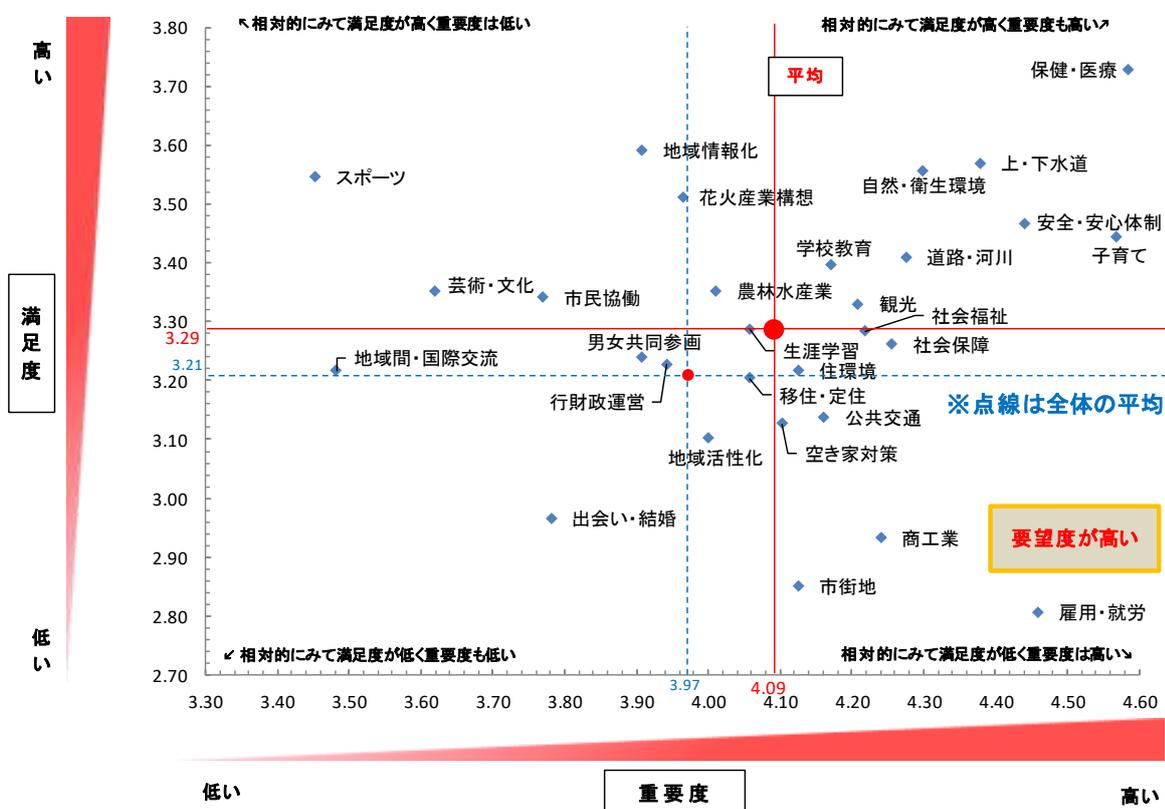
18歳から39歳まで(図表19)、40歳から64歳まで(図表20)、65歳以上(図表21)の3つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18歳から39歳までの年齢層では、全般的に重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「市街地」となっている。満足度、重要度ともに「保健・医療」が最も高くなっており、また、他の年齢層では満足度は「商工業」、重要度は「地域間・国際交流」が最も低くなっているのに対し、満足度は「雇用・就労」、重要度は「スポーツ」が最も低くなっている。

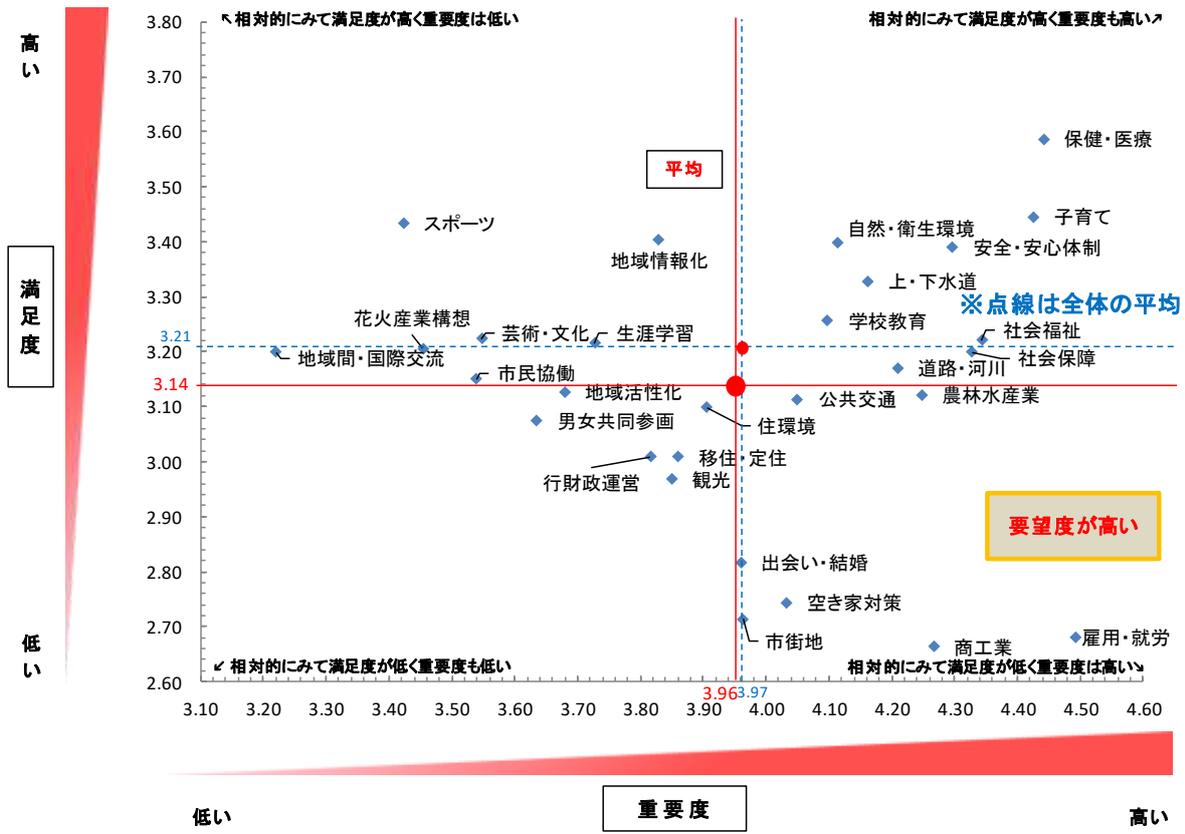
40歳から64歳までの年齢層では、全般的に満足度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」「市街地」となっている。重要度は他の年齢層では「保健・医療」が最も高くなっているのに対し、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65歳以上の年齢層では、全般的に重要度が低くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

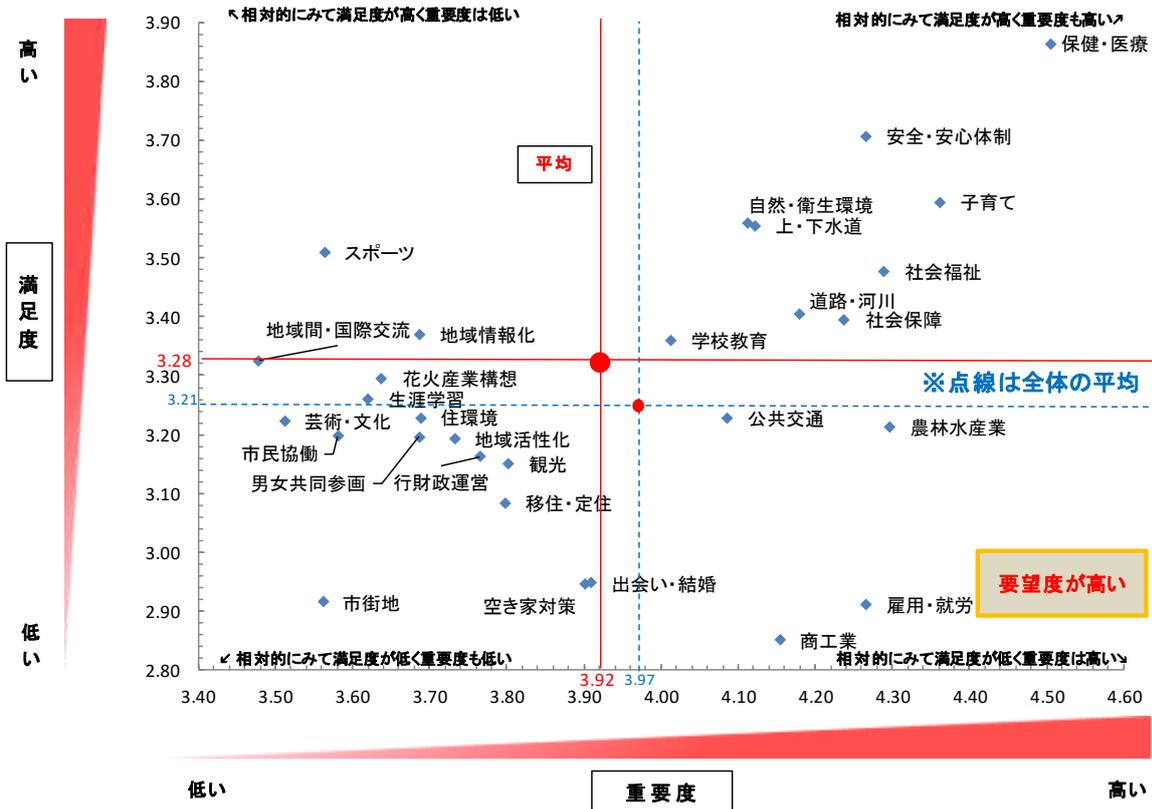
図表19 満足度・重要度の項目別比較(18歳から39歳)



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40歳から64歳）



図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65歳以上）



2.5 さらに推進すべき取組

2.5.1 産業分野に関する設問について

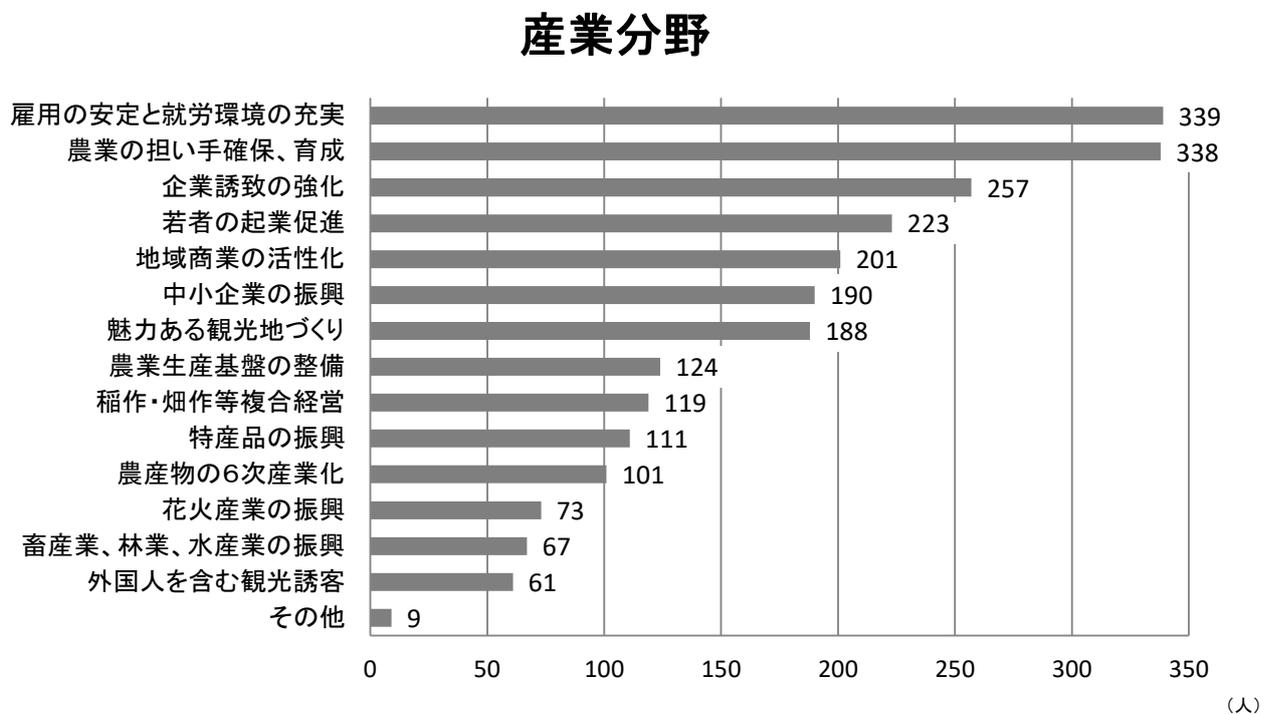
さらに推進すべき取組の上位は、「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客」「畜産業、林業、水産業の振興」「花火産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、50代以下で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、20代から40代と60代で「中小企業の振興」、10代から30代で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和地域を除く各地域の上位2項目は「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」となっており、協和地域では「若者の起業促進」が2番目になっている。西仙北・中仙・南外・仙北・太田地域で「中小企業の振興」、神岡・協和地域で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	7
2	農業の担い手確保、育成	6
	若者の起業促進	6
	魅力ある観光地づくり	6
	農業生産基盤の整備	6

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	21
2	農業の担い手確保、育成	19
3	中小企業の振興	18
4	魅力ある観光地づくり	16
5	若者の起業促進	15

■30代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	33
2	農業の担い手確保、育成	27
3	地域商業の活性化	23
4	中小企業の振興	19
	魅力ある観光地づくり	19
	企業誘致の強化	19

■40代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	72
2	農業の担い手確保、育成	66
3	企業誘致の強化	57
4	中小企業の振興	47
5	地域商業の活性化	45

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	56
2	農業の担い手確保、育成	44
3	企業誘致の強化	41
4	地域商業の活性化	36
5	若者の起業促進	33

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	76
2	雇用の安定と就労環境の充実	72
3	企業誘致の強化	54
4	若者の起業促進	46
5	中小企業の振興	27

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	66
2	雇用の安定と就労環境の充実	49
3	若者の起業促進	44
4	企業誘致の強化	43
5	地域商業の活性化	39

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	22
2	企業誘致の強化	16
	稲作・畑作等複合経営	16
4	若者の起業促進	15
5	雇用の安定と就労環境の充実	14

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	157
2	農業の担い手確保、育成	148
3	企業誘致の強化	120
4	地域商業の活性化	107
5	若者の起業促進	105

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	24
2	雇用の安定と就労環境の充実	21
3	若者の起業促進	19
4	企業誘致の強化	18
5	中小企業の振興	15

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	26
2	若者の起業促進	18
3	農業の担い手確保、育成	17
	企業誘致の強化	17
5	魅力ある観光地づくり	14

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	33
2	雇用の安定と就労環境の充実	31
3	企業誘致の強化	26
4	中小企業の振興	19
	地域商業の活性化	19

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	19
2	雇用の安定と就労環境の充実	16
3	若者の起業促進	14
4	企業誘致の強化	13
5	魅力ある観光地づくり	10

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	42
2	雇用の安定と就労環境の充実	36
3	企業誘致の強化	26
4	若者の起業促進	20
	中小企業の振興	19
5	地域商業の活性化	19
	農業生産基盤の整備	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
2	雇用の安定と就労環境の充実	10
3	企業誘致の強化	8
	特産品の振興	8
5	中小企業の振興	7

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用の安定と就労環境の充実	27
3	若者の起業促進	20
4	企業誘致の強化	17
5	中小企業の振興	16
	地域商業の活性化	16

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

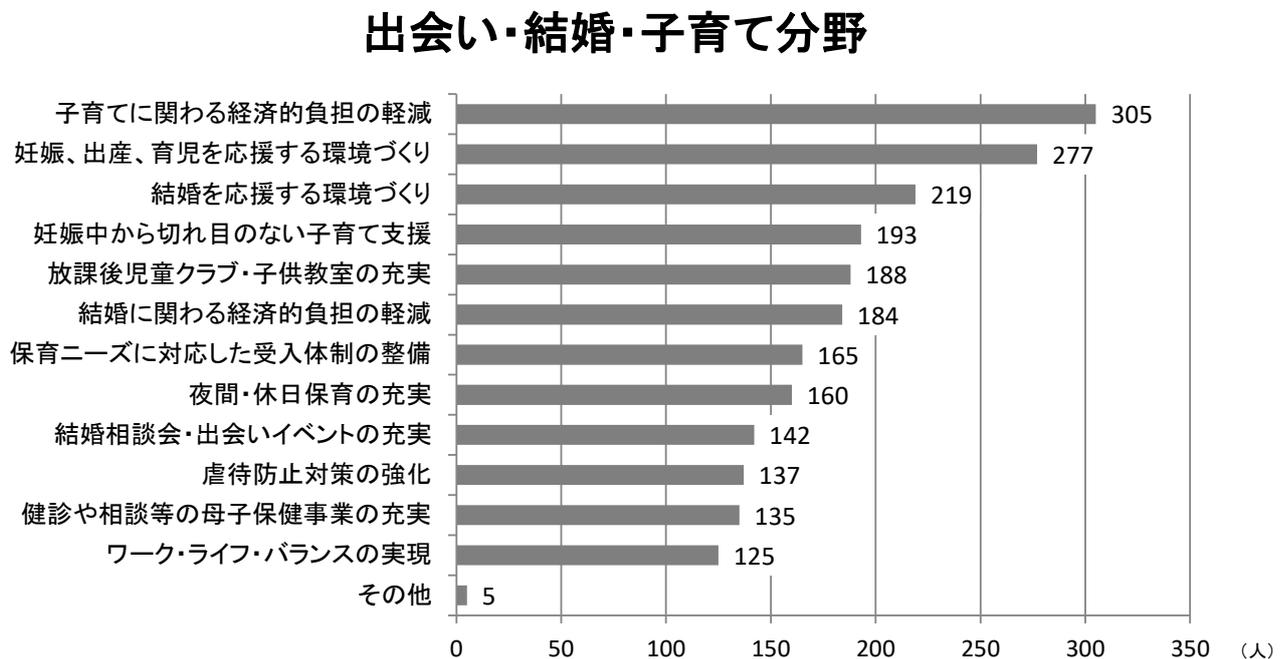
さらに推進すべき取組の上位は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「結婚を応援する環境づくり」の順となっている。

一方、下位は、「ワーク・ライフ・バランスの実現」「健診や相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の強化」の順となっている。

年代別で見ると、80代以外で「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっているが、80代では「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、30代と70代を除いた年代で全体の上位5項目に入っていない「結婚に関わる経済的負担の軽減」が上位に入っている。40代以下よりも50代以上で結婚に関わる項目が多く挙げられている。

地域別で見ると、協和・南外・太田地域では結婚に関わる項目が多く挙げられている。

図表 25 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	8
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	8
	夜間・休日保育の充実	8
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	結婚に関わる経済的負担の軽減	6

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	18
4	健診や相談等の母子保健事業の充実	16
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	15
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	15
	虐待防止対策の強化	15

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	34
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	26
4	保育ニーズに対応した受入体制の整備	21
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	19

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	65
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	59
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	44
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	40
	夜間・休日保育の充実	40

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	46
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	結婚を応援する環境づくり	33
4	保育ニーズに対応した受入体制の整備	30
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	27
	結婚に関わる経済的負担の軽減	27
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	27

■60代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	54
3	結婚を応援する環境づくり	45
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	36
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	34

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	50
	結婚を応援する環境づくり	50
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	44
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	34
5	夜間・休日保育の充実	28

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	18
2	結婚に関わる経済的負担の軽減	13
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	12
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
5	虐待防止対策の強化	10
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	10
	結婚相談会・出会いイベントの充実	10

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	147
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	132
3	結婚を応援する環境づくり	101
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	97
5	妊娠中から切れ目のない子育て支援	85

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	16
4	夜間・休日保育の充実	14
	結婚相談会・出会いイベントの充実	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
3	放課後児童クラブ・子供教室の充実	13
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	12
5	結婚を応援する環境づくり	11
	結婚に関わる経済的負担の軽減	11

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	22
3	結婚を応援する環境づくり	21
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	19
5	夜間・休日保育の充実	18
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	18

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	17
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
3	保育ニーズに対応した受入体制の整備	11
	健診や相談等の母子保健事業の充実	11
	虐待防止対策の強化	11

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	31
2	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
	結婚を応援する環境づくり	28
5	放課後児童クラブ・子供教室の充実	23

■南外地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
	結婚を応援する環境づくり	10
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	8
	結婚相談会・出会いイベントの充実	8
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	7

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
	結婚に関わる経済的負担の軽減	20
4	結婚を応援する環境づくり	17
5	保育ニーズに対応した受入体制の整備	16

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

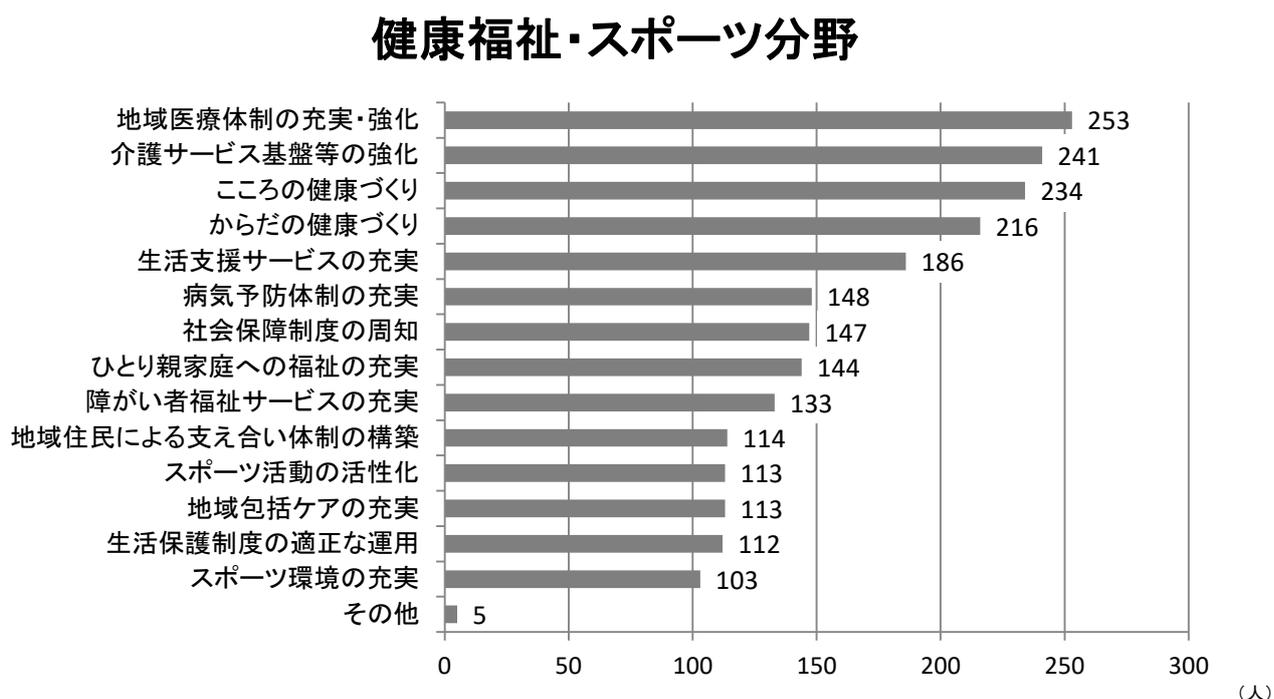
さらに推進すべき取組の上位は、「地域医療体制の充実・強化」「介護サービス基盤等の強化」「こころの健康づくり」の順となっている。

一方、下位は、「スポーツ環境の充実」「生活保護制度の適正な運用」「地域包括ケアの充実」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「地域医療体制の充実・強化」「こころの健康づくり」、10代以外で「介護サービス基盤等の強化」、20代以外で「からだの健康づくり」、20代、30代、60代、70代で「生活支援サービスの充実」が上位に入っている。また、70代以上では「からだの健康づくり」が「こころの健康づくり」よりも上位となっている。そのほか、20代、30代、80代で「ひとり親家庭への福祉の充実」、20代、50代では「障がい者福祉サービスの充実」が上位に入っており、10代では全体の下位5項目に入っている「スポーツ活動の活性化」や「生活保護制度の適正な運用」が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡・南外地域以外で全体の上位3項目に入っている項目が上位に入っている。また、全体の上位5項目に入っていない項目として、神岡・中仙・太田地域で「社会保障制度の周知」、南外・仙北地域で「病気予防体制の充実」、南外地域で「地域包括ケアの充実」「生活保護制度の適正な運用」が上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	7
	からだの健康づくり	7
	スポーツ活動の活性化	7
4	地域医療体制の充実・強化	6
5	生活保護制度の適正な運用	5

■20代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	13
	生活支援サービスの充実	13
	ひとり親家庭への福祉の充実	13
4	こころの健康づくり	11
	介護サービス基盤等の強化	11
	障がい者福祉サービスの充実	11

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	22
2	ひとり親家庭への福祉の充実	18
3	こころの健康づくり	16
	からだの健康づくり	16
5	生活支援サービスの充実	15
	介護サービス基盤等の強化	15

■40代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	60
2	こころの健康づくり	50
3	介護サービス基盤等の強化	48
4	からだの健康づくり	38
5	スポーツ環境の充実	34

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	42
2	介護サービス基盤等の強化	37
3	こころの健康づくり	36
4	からだの健康づくり	33
5	障がい者福祉サービスの充実	27

■60代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	49
	こころの健康づくり	49
3	介護サービス基盤等の強化	48
4	からだの健康づくり	41
5	生活支援サービスの充実	39

■70代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	50
2	からだの健康づくり	48
3	こころの健康づくり	41
4	地域医療体制の充実・強化	40
5	生活支援サービスの充実	37

■80代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	17
2	介護サービス基盤等の強化	16
3	地域医療体制の充実・強化	15
4	こころの健康づくり	12
5	ひとり親家庭への福祉の充実	10

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	122
2	介護サービス基盤等の強化	110
	こころの健康づくり	110
4	からだの健康づくり	89
5	生活支援サービスの充実	81

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	14
2	介護サービス基盤等の強化	12
3	社会保障制度の周知	10
	こころの健康づくり	9
4	生活支援サービスの充実	9
	ひとり親家庭への福祉の充実	9

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	22
2	地域医療体制の充実・強化	17
	からだの健康づくり	17
4	こころの健康づくり	15
5	生活支援サービスの充実	13

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	34
2	地域医療体制の充実・強化	29
	からだの健康づくり	29
4	こころの健康づくり	26
5	社会保障制度の周知	22

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	15
2	からだの健康づくり	14
3	こころの健康づくり	13
4	生活支援サービスの充実	12
5	介護サービス基盤等の強化	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	12
2	からだの健康づくり	11
3	生活支援サービスの充実	8
	病気予防体制の充実	6
4	地域包括ケアの充実	6
	生活保護制度の適正な運用	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	24
2	地域医療体制の充実・強化	22
3	こころの健康づくり	21
4	介護サービス基盤等の強化	20
	病気予防体制の充実	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	23
2	生活支援サービスの充実	21
3	からだの健康づくり	17
4	介護サービス基盤等の強化	16
5	こころの健康づくり	15
	社会保障制度の周知	15

2.5.4 環境安全分野に関する設問について

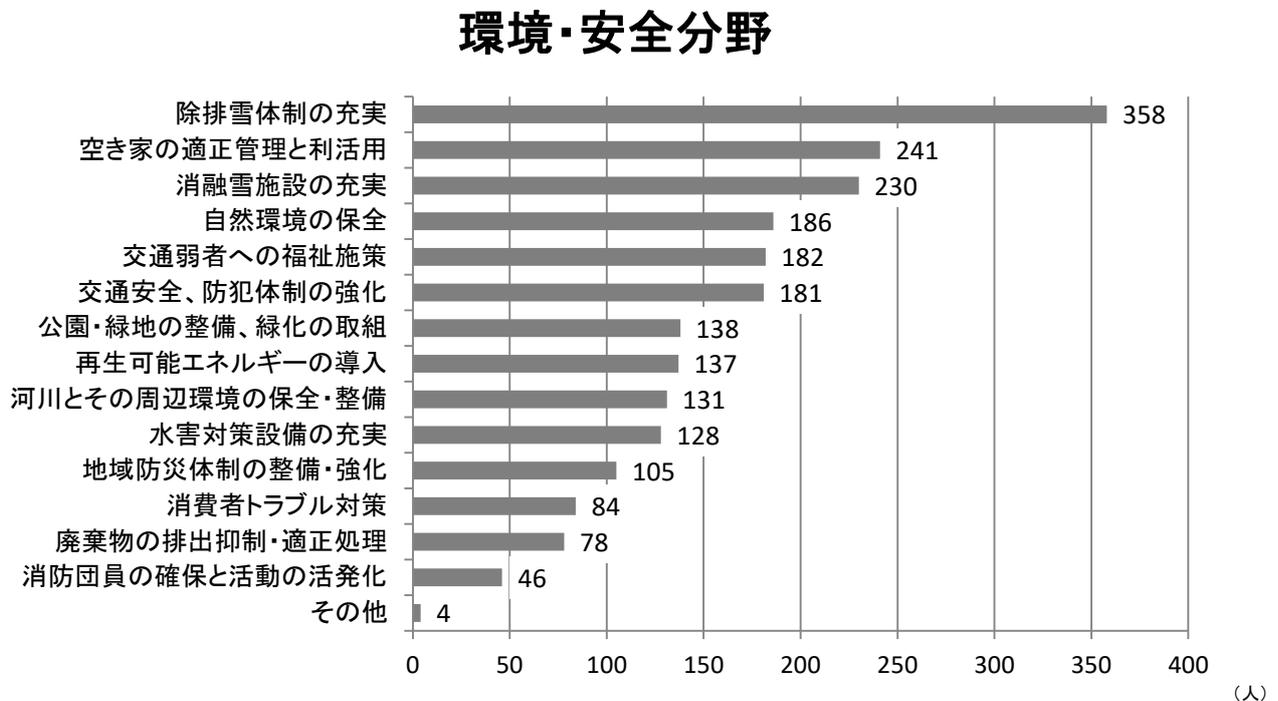
さらに推進すべき取組の上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の適正管理と利活用」「消融雪施設の充実」の順となっている。

一方、下位は、「消防団員の確保と活動の活発化」「廃棄物の排出抑制・適正処理」「消費者トラブル対策」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、「消融雪施設の充実」も上位に入っている。また、80代以外で「空き家の適正管理と利活用」、20代、40代、60代以上で「交通弱者への福祉施策」、20代以下、50代、60代、80代で「交通安全、防犯体制の強化」が上位に入っている。

地域別で見ると、南外地域以外で「除排雪体制の充実」が最も多く、「空き家の適正管理と利活用」も上位に入っている。南外地域では「自然環境の保全」が最も多くなっている。また、西仙北地域以外で「交通弱者への福祉施策」、南外・太田地域以外で「消融雪施設の充実」、神岡・南外地域以外で「交通安全、防犯体制の強化」が上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	7
	空き家の適正管理と利活用	7
3	公園・緑地の整備、緑化の取組	6
	再生可能エネルギーの導入	6
5	消融雪施設の充実	5
	交通安全、防犯体制の強化	5
	廃棄物の排出抑制・適正処理	5

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	消融雪施設の充実	15
3	空き家の適正管理と利活用	11
	交通弱者への福祉施策	11
5	交通安全、防犯体制の強化	10

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	29
2	消融雪施設の充実	26
3	空き家の適正管理と利活用	24
4	公園・緑地の整備、緑化の取組	20
5	水害対策設備の充実	14
	再生可能エネルギーの導入	14

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	80
2	消融雪施設の充実	52
3	空き家の適正管理と利活用	45
4	自然環境の保全	44
5	交通弱者への福祉施策	41

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	53
2	消融雪施設の充実	42
3	空き家の適正管理と利活用	34
4	交通安全、防犯体制の強化	33
5	自然環境の保全	29

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	72
2	空き家の適正管理と利活用	57
3	交通安全、防犯体制の強化	39
4	消融雪施設の充実	34
5	交通弱者への福祉施策	33

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	57
2	空き家の適正管理と利活用	46
3	交通弱者への福祉施策	40
	自然環境の保全	40
5	消融雪施設の充実	37

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	18
2	交通弱者への福祉施策	14
	交通安全、防犯体制の強化	14
4	自然環境の保全	12
5	消融雪施設の充実	11

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	170
2	消融雪施設の充実	134
3	空き家の適正管理と利活用	101
4	交通安全、防犯体制の強化	87
5	交通弱者への福祉施策	81

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	空き家の適正管理と利活用	18
3	消融雪施設の充実	15
4	交通安全、防犯体制の強化	14
5	水害対策設備の充実	13

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	空き家の適正管理と利活用	19
3	交通安全、防犯体制の強化	14
4	消融雪施設の充実	13
	交通弱者への福祉施策	13

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
2	空き家の適正管理と利活用	26
3	自然環境の保全	23
4	交通弱者への福祉施策	16
	交通安全、防犯体制の強化	15
5	消融雪施設の充実	15
	水害対策設備の充実	15

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	16
2	空き家の適正管理と利活用	15
	交通弱者への福祉施策	15
4	自然環境の保全	14
5	消融雪施設の充実	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	38
2	空き家の適正管理と利活用	27
3	自然環境の保全	22
4	交通安全、防犯体制の強化	21
5	消融雪施設の充実	19
	交通弱者への福祉施策	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	自然環境の保全	8
	除排雪体制の充実	7
2	河川とその周辺環境の保全・整備	7
	地域防災体制の整備・強化	7
5	交通弱者への福祉施策	6
	消費者トラブル対策	6

■太田地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
	空き家の適正管理と利活用	19
3	自然環境の保全	18
4	交通弱者への福祉施策	17
5	交通安全、防犯体制の強化	15

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

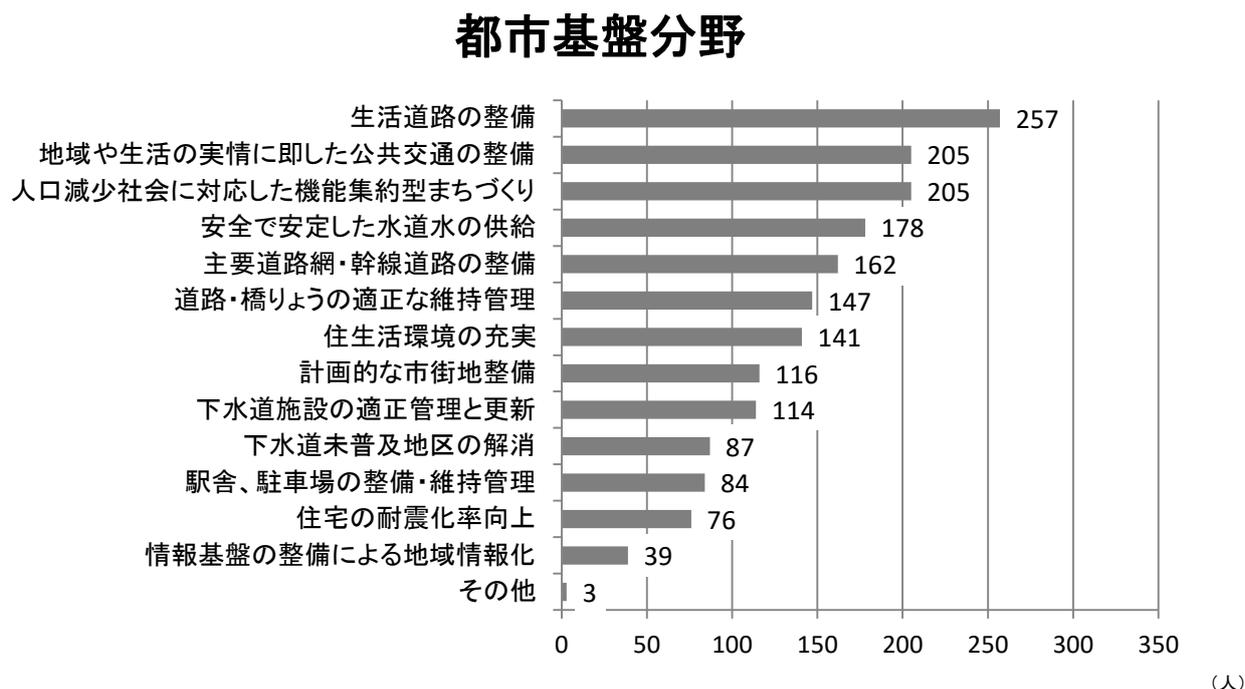
さらに推進すべき取組の上位は、「生活道路の整備」に次ぎ、同数で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」の順となっている。

一方、下位は、「情報基盤の整備による地域情報化」「住宅の耐震化率向上」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」が上位に入っており、80代以外で最も多くなっている。20代以外で「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」、80代以外で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。また、20代と50代を除いた年代で「安全で安定した水道水の供給」、20代以下と70代以上で「道路・橋りょうの適正な維持管理」、30代から50代と80代で「住生活環境の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」が上位に入っている。また、神岡・西仙北・中仙・南外・太田地域で「道路・橋りょうの適正な維持管理」、神岡・協和地域で「下水道施設の適正管理と更新」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	7
2	安全で安定した水道水の供給	6
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	5
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	5
	道路・橋りょうの適正な維持管理	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
	道路・橋りょうの適正な維持管理	14
4	主要道路網・幹線道路の整備	13
5	駅舎、駐車場の整備・維持管理	11

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	24
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	18
3	安全で安定した水道水の供給	17
4	主要道路網・幹線道路の整備	15
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13
	住生活環境の充実	13
	計画的な市街地整備	13

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	52
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	47
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	47
4	安全で安定した水道水の供給	41
5	住生活環境の充実	34

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	35
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	31
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
4	主要道路網・幹線道路の整備	28
5	住生活環境の充実	25

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	53
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	40
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	38
4	安全で安定した水道水の供給	36
5	主要道路網・幹線道路の整備	32

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	48
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	37
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	36
4	安全で安定した水道水の供給	32
	道路・橋りょうの適正な維持管理	32

■80代

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
2	住生活環境の充実	11
3	生活道路の整備	10
	安全で安定した水道水の供給	10
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	8
	下水道施設の適正管理と更新	8

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	119
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	99
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	87
4	安全で安定した水道水の供給	86
5	主要道路網・幹線道路の整備	79

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	17
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	15
4	安全で安定した水道水の供給	13
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	11

■協和地域

順位	項目	回答数
1	安全で安定した水道水の供給	17
2	生活道路の整備	15
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
5	下水道施設の適正管理と更新	9
	住生活環境の充実	9

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	安全で安定した水道水の供給	18
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	17
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	17
5	主要道路網・幹線道路の整備	16

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	15
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	11
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10
	下水道施設の適正管理と更新	10
5	住生活環境の充実	7
	道路・橋りょうの適正な維持管理	7

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	33
2	主要道路網・幹線道路の整備	25
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	23
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	22
5	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	21

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	9
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	8
3	安全で安定した水道水の供給	6
4	下水道未普及地区の解消	5
5	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	4
	主要道路網・幹線道路の整備	4
	道路・橋りょうの適正な維持管理	4
	情報基盤の整備による地域情報化	4

■太田地域

順位	項目	回答数
1	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	18
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	17
3	生活道路の整備	16
	道路・橋りょうの適正な維持管理	16
5	主要道路網・幹線道路の整備	13

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

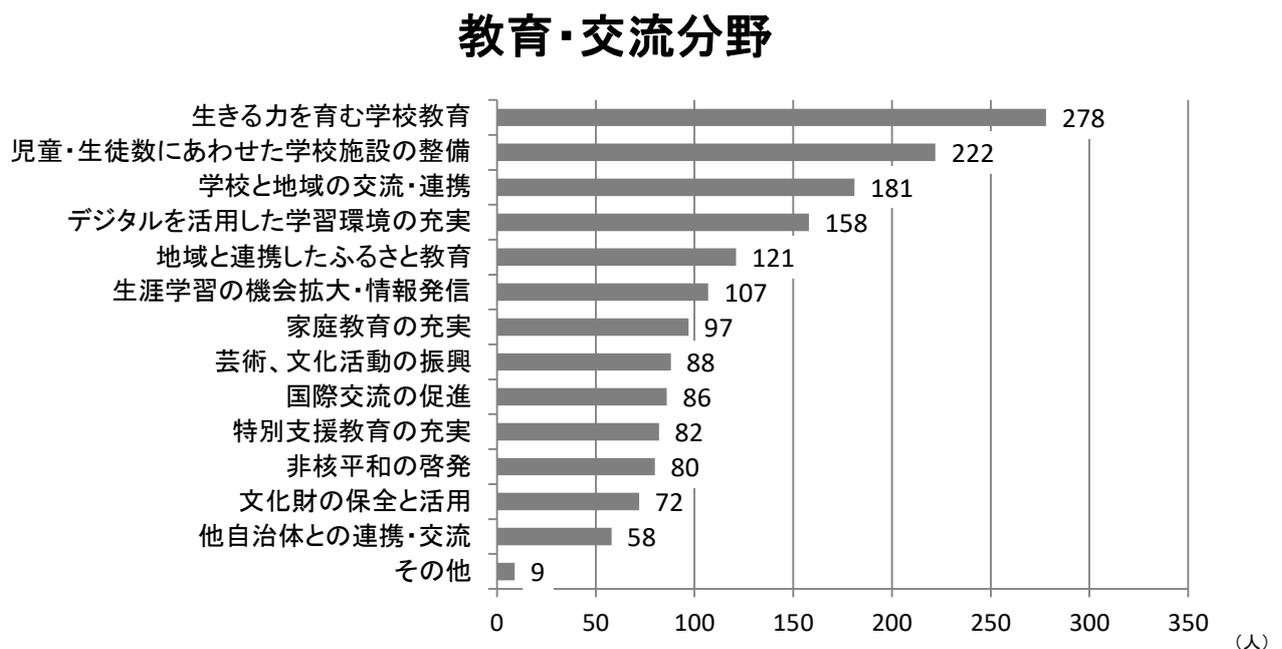
さらに推進すべき取組の上位は、「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」の順となっている。

一方、下位は、「他自治体との連携・交流」「文化財の保全と活用」「非核平和の啓発」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育」「学校と地域の交流・連携」、10代以外で「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」、80代以外で「デジタルを活用した学習環境の充実」が上位に入っている。また、20代、40代、60代、80代で「地域と連携したふるさと教育」、10代と70代で「生涯学習の機会拡大・情報発信」が上位に入っている。

地域別で見ると、神岡地域以外で「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっており、神岡地域でも2番目に多くなっている。なお、神岡地域では「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」が最も多くなっており、全ての地域で上位に入っている。また、神岡地域以外で「学校と地域の交流・連携」、中仙地域以外で「デジタルを活用した学習環境の充実」、西仙北・協和地域以外で「地域と連携したふるさと教育」が上位に入っている。そのほか、西仙北・中仙・南外地域で「生涯学習の機会拡大・情報発信」、神岡・南外地域で「非核平和の啓発」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	7
2	学校と地域の交流・連携	6
	生涯学習の機会拡大・情報発信	6
4	デジタルを活用した学習環境の充実	5
	特別支援教育の充実	5
	国際交流の促進	5
	他自治体との連携・交流	5

■20代

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	17
2	生きる力を育む学校教育	13
	学校と地域の交流・連携	13
4	デジタルを活用した学習環境の充実	9
	地域と連携したふるさと教育	9

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	26
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	23
3	デジタルを活用した学習環境の充実	18
4	学校と地域の交流・連携	15
5	家庭教育の充実	10

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	62
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	61
3	デジタルを活用した学習環境の充実	38
4	学校と地域の交流・連携	27
5	地域と連携したふるさと教育	24

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	41
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	26
3	学校と地域の交流・連携	24
4	芸術、文化活動の振興	22
5	デジタルを活用した学習環境の充実	18

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	53
2	学校と地域の交流・連携	41
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	35
	デジタルを活用した学習環境の充実	35
5	地域と連携したふるさと教育	29

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	57
2	学校と地域の交流・連携	42
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	41
4	デジタルを活用した学習環境の充実	25
	生涯学習の機会拡大・情報発信	25

■80代

順位	項目	回答数
1	学校と地域の交流・連携	11
2	生きる力を育む学校教育	10
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	7
	地域と連携したふるさと教育	7
5	非核平和の啓発	6

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	124
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	102
3	学校と地域の交流・連携	83
4	デジタルを活用した学習環境の充実	78
5	地域と連携したふるさと教育	55

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	20
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	13
4	デジタルを活用した学習環境の充実	12
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	9

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	14
	学校と地域の交流・連携	14
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	11
4	デジタルを活用した学習環境の充実	8
	文化財の保全と活用	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	29
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	21
3	学校と地域の交流・連携	18
4	デジタルを活用した学習環境の充実	15
5	地域と連携したふるさと教育	10

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	15
2	生きる力を育む学校教育	14
3	デジタルを活用した学習環境の充実	9
4	地域と連携したふるさと教育	8
	非核平和の啓発	8

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	29
2	学校と地域の交流・連携	24
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	23
4	地域と連携したふるさと教育	19
5	生涯学習の機会拡大・情報発信	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	13
	学校と地域の交流・連携	5
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	5
	生涯学習の機会拡大・情報発信	5
	デジタルを活用した学習環境の充実	4
5	地域と連携したふるさと教育	4
	非核平和の啓発	4

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	24
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	20
3	学校と地域の交流・連携	18
4	デジタルを活用した学習環境の充実	11
	地域と連携したふるさと教育	11

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

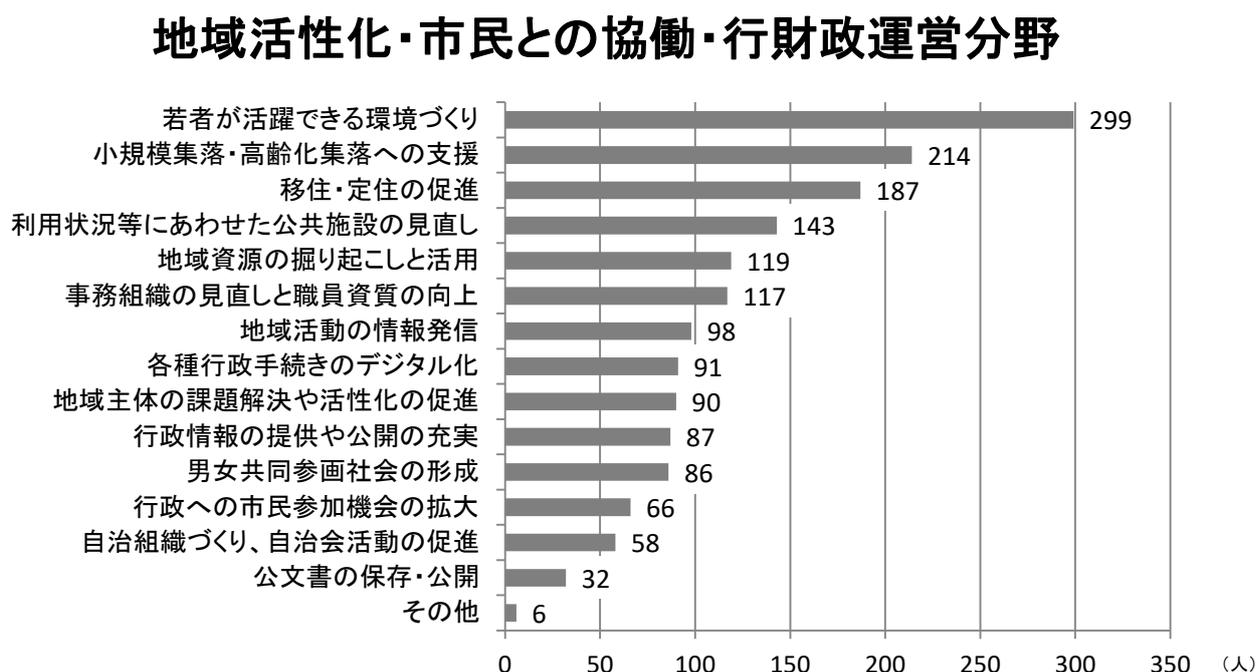
さらに推進すべき取組の上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」の順となっている。

一方、下位は、「公文書の保存・公開」「自治組織づくり、自治会活動の促進」「行政への市民参加機会の拡大」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、80代以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、20代、40代、60代、70代で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、30代以下で「男女共同参画社会の形成」、50代、60代、80代で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、20代と30代で「各種行政手続きのデジタル化」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、南外・太田地域以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、大曲・神岡・南外・仙北地域で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、西仙北・中仙・協和地域で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、中仙・南外・太田地域で「行政情報の提供や公開の充実」上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取組（回答数順）



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	8
2	地域活動の情報発信	5
	小規模集落・高齢化集落への支援	5
	移住・定住の促進	5
	男女共同参画社会の形成	5
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	5

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	移住・定住の促進	13
3	小規模集落・高齢化集落への支援	9
4	各種行政手続きのデジタル化	8
5	地域資源の掘り起こしと活用	7
	男女共同参画社会の形成	7
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	7

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	28
2	移住・定住の促進	19
3	各種行政手続きのデジタル化	13
4	小規模集落・高齢化集落への支援	12
	男女共同参画社会の形成	12
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	12

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	59
2	小規模集落・高齢化集落への支援	43
3	移住・定住の促進	42
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	39
5	地域資源の掘り起こしと活用	31

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	47
2	移住・定住の促進	32
3	小規模集落・高齢化集落への支援	23
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	20
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	18

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	64
2	小規模集落・高齢化集落への支援	47
3	移住・定住の促進	35
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	27
5	地域資源の掘り起こしと活用	26
	事務組織の見直しと職員資質の向上	26

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	48
2	小規模集落・高齢化集落への支援	46
3	移住・定住の促進	32
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	25
5	地域資源の掘り起こしと活用	23

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	14
	小規模集落・高齢化集落への支援	14
3	行政への市民参加機会の拡大	7
	自治組織づくり、自治会活動の促進	7
5	移住・定住の促進	6
	事務組織の見直しと職員資質の向上	6

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	147
2	移住・定住の促進	92
3	小規模集落・高齢化集落への支援	86
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	69
5	地域資源の掘り起こしと活用	61

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	13
2	移住・定住の促進	12
3	小規模集落・高齢化集落への支援	10
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	7
	地域資源の掘り起こしと活用	7
	各種行政手続きのデジタル化	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	23
2	小規模集落・高齢化集落への支援	15
3	移住・定住の促進	13
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	12
5	自治組織づくり、自治会活動の促進	7
	事務組織の見直しと職員資質の向上	7

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	小規模集落・高齢化集落への支援	29
	若者が活躍できる環境づくり	29
3	移住・定住の促進	17
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	17
5	自治組織づくり、自治会活動の促進	14
	事務組織の見直しと職員資質の向上	14
	行政情報の提供や公開の充実	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	16
2	小規模集落・高齢化集落への支援	13
3	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	11
4	移住・定住の促進	9
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	8

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	9
2	小規模集落・高齢化集落への支援	8
3	地域資源の掘り起こしと活用	5
	移住・定住の促進	5
5	地域活動の情報発信	4
	行政情報の提供や公開の充実	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	28
2	小規模集落・高齢化集落への支援	19
3	移住・定住の促進	18
4	地域資源の掘り起こしと活用	12
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	24
2	移住・定住の促進	18
3	小規模集落・高齢化集落への支援	17
4	地域主体の課題解決や活性化の促進	14
5	地域活動の情報発信	11
	行政情報の提供や公開の充実	11

2.5.8 さらに推進すべき取組の総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取組の上位となっているのは、「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「子育てに関わる経済的負担の軽減」「若者が活躍できる環境づくり」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」が上位に挙げられている。また、70代以下で「子育てに関わる経済的負担の軽減」、60代以下で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、30代以下で「妊娠中から切れ目のない子育て支援」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられており、特に30代以下では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっている。

50代で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっているほか、10代以外で「農業の担い手確保、育成」、20代で「中小企業の振興」、40代から60代と80代で「企業誘致の強化」が上位に入るなど、産業に関する項目も上位となっている。

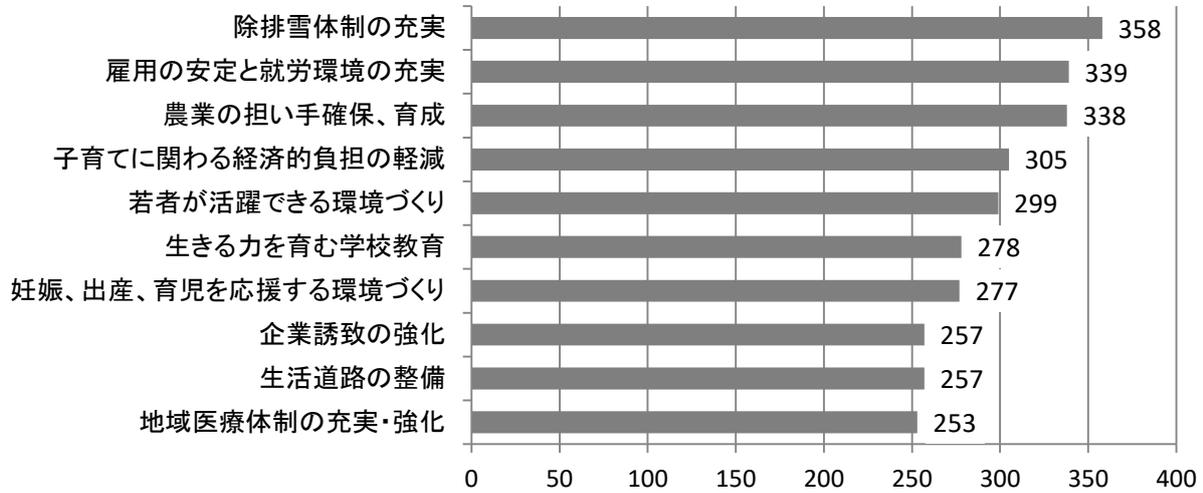
10代では「子育てに関わる経済的負担の軽減」のほか「若者が活躍できる環境づくり」「妊娠中からの切れ目のない子育て支援」「夜間・休日保育の充実」、40代では「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、「除排雪体制の充実」は20代と50代以上でも2番目に多くなっている。

10代と30代から70代では「生きる力を育む学校教育」、30代以下と60代、70代で「生活道路の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、大曲・西仙北地域では「除排雪体制の充実」が最も多く、中仙・協和・太田地域でも2番目に多くなっているほか、南外地域以外で上位となっている。神岡・中仙・仙北・太田地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、西仙北地域で2番目に多く、全ての地域で上位に入っている。協和地域では「雇用の安定と就労環境の充実」が最も多くなっており、大曲・仙北地域では2番目に多く、全ての地域で上位に入っている。南外地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多く、協和地域以外で上位に入っている。また、年代別同様、妊娠や出産、子育てに関する項目や産業に関する項目、若者の活躍や起業に関する項目が全ての地域で上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取組（回答数順）

すべての分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■10代

順位	項目	回答数
1	妊娠中から切れ目のない子育て支援	8
	夜間・休日保育の充実	8
	子育てに関わる経済的負担の軽減	8
	若者が活躍できる環境づくり	8
5	雇用の安定と就労環境の充実	7
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	からだの健康づくり	7
	こころの健康づくり	7
	スポーツ活動の活性化	7
	除排雪体制の充実	7
	空き家の適正管理と利活用	7
	生活道路の整備	7
	生きる力を育む学校教育	7

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	除排雪体制の充実	22
3	雇用の安定と就労環境の充実	21
	若者が活躍できる環境づくり	21
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	20
6	農業の担い手確保、育成	19
7	中小企業の振興	18
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	18
	生活道路の整備	18
10	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	17

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	34
2	雇用の安定と就労環境の充実	33
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	33
4	除排雪体制の充実	29
5	若者が活躍できる環境づくり	28
6	農業の担い手確保、育成	27
7	妊娠中から切れ目のない子育て支援	26
	消融雪施設の充実	26
	生きる力を育む学校教育	26
10	空き家の適正管理と利活用	24
	生活道路の整備	24

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	56
2	除排雪体制の充実	53
3	若者が活躍できる環境づくり	47
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	46
5	農業の担い手確保、育成	44
6	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
7	地域医療体制の充実・強化	42
	消融雪施設の充実	42
9	企業誘致の強化	41
	生きる力を育む学校教育	41

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	66
2	除排雪体制の充実	57
	生きる力を育む学校教育	57
4	結婚を応援する環境づくり	50
	子育てに関わる経済的負担の軽減	50
	介護サービス基盤等の強化	50
7	雇用の安定と就労環境の充実	49
8	からだの健康づくり	48
	生活道路の整備	48
	若者が活躍できる環境づくり	48

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	80
2	雇用の安定と就労環境の充実	72
3	農業の担い手確保、育成	66
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	65
5	生きる力を育む学校教育	62
6	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	61
7	地域医療体制の充実・強化	60
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	59
	若者が活躍できる環境づくり	59
10	企業誘致の強化	57

■60代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	76
2	雇用の安定と就労環境の充実	72
	除排雪体制の充実	72
4	若者が活躍できる環境づくり	64
5	空き家の適正管理と利活用	57
6	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
7	企業誘致の強化	54
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	54
9	生活道路の整備	53
	生きる力を育む学校教育	53

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	22
2	結婚を応援する環境づくり	18
	除排雪体制の充実	18
4	からだの健康づくり	17
5	稲作・畑作等複合経営	16
	企業誘致の強化	16
8	介護サービス基盤等の強化	16
	若者の起業促進	15
10	地域医療体制の充実・強化	15
	雇用の安定と就労環境の充実	14
	交通安全、防犯体制の強化	14
	交通弱者への福祉施策	14
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
	小規模集落・高齢化集落への支援	14
	若者が活躍できる環境づくり	14

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	170
2	雇用の安定と就労環境の充実	157
3	農業の担い手確保、育成	148
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	147
	若者が活躍できる環境づくり	147
6	消融雪施設の充実	134
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	132
8	生きる力を育む学校教育	124
9	地域医療体制の充実・強化	122
10	企業誘致の強化	120

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	19
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	17
3	雇用の安定と就労環境の充実	16
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
	除排雪体制の充実	16
6	交通弱者への福祉施策	15
	空き家の適正管理と利活用	15
	生活道路の整備	15
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	15
10	若者の起業促進	14
	地域医療体制の充実・強化	14
	自然環境の保全	14
	生きる力を育む学校教育	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	農業の担い手確保、育成	24
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
	若者が活躍できる環境づくり	23
5	介護サービス基盤等の強化	22
6	雇用の安定と就労環境の充実	21
	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
8	生きる力を育む学校教育	20
9	若者の起業促進	19
10	企業誘致の強化	18
	空き家の適正管理と利活用	18

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	42
2	除排雪体制の充実	38
3	雇用の安定と就労環境の充実	36
4	介護サービス基盤等の強化	34
5	生活道路の整備	33
6	子育てに関わる経済的負担の軽減	31
7	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
	からだの健康づくり	29
	地域医療体制の充実・強化	29
8	生きる力を育む学校教育	29
	小規模集落・高齢化集落への支援	29
	若者が活躍できる環境づくり	29

■協和地域

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	26
2	除排雪体制の充実	24
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
4	空き家の適正管理と利活用	19
5	若者の起業促進	18
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	18
7	農業の担い手確保、育成	17
	企業誘致の強化	17
	安全で安定した水道水の供給	17
10	若者が活躍できる環境づくり	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	13
2	こころの健康づくり	12
3	農業の担い手確保、育成	11
	からだの健康づくり	11
5	雇用の安定と就労環境の充実	10
	結婚を応援する環境づくり	10
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
8	生活道路の整備	9
	若者が活躍できる環境づくり	9
10	企業誘致の強化	8
	特産品の振興	8
	結婚相談会・出会いイベントの充実	8
	結婚に関わる経済的負担の軽減	8
	生活支援サービスの充実	8
	自然環境の保全	8
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	8
	小規模集落・高齢化集落への支援	8

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	33
2	雇用の安定と就労環境の充実	31
3	生きる力を育む学校教育	29
4	若者が活躍できる環境づくり	28
5	除排雪体制の充実	27
6	企業誘致の強化	26
	空き家の適正管理と利活用	26
8	子育てに関わる経済的負担の軽減	24
	からだの健康づくり	24
10	自然環境の保全	23

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	31
2	雇用の安定と就労環境の充実	27
	除排雪体制の充実	27
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	26
5	生きる力を育む学校教育	24
	若者が活躍できる環境づくり	24
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
	地域医療体制の充実・強化	23
9	生活支援サービスの充実	21
10	若者の起業促進	20
	結婚に関わる経済的負担の軽減	20
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	20

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

- ◆ 調査目的： 市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めており、その一環として、令和4年度から窓口での手数料支払いのキャッシュレス化やオンライン申請による各種証明書の送付サービスを開始している。

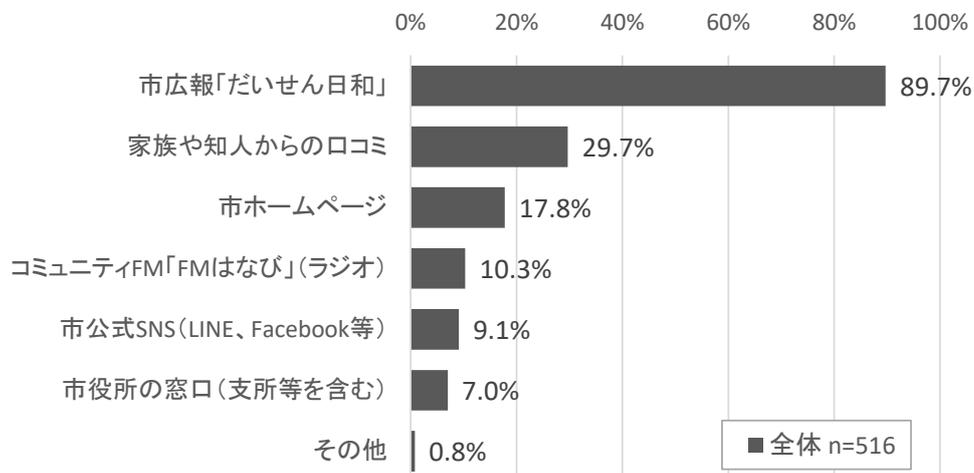
本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後、様々な行政サービスのデジタル化を推進するにあたっての参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

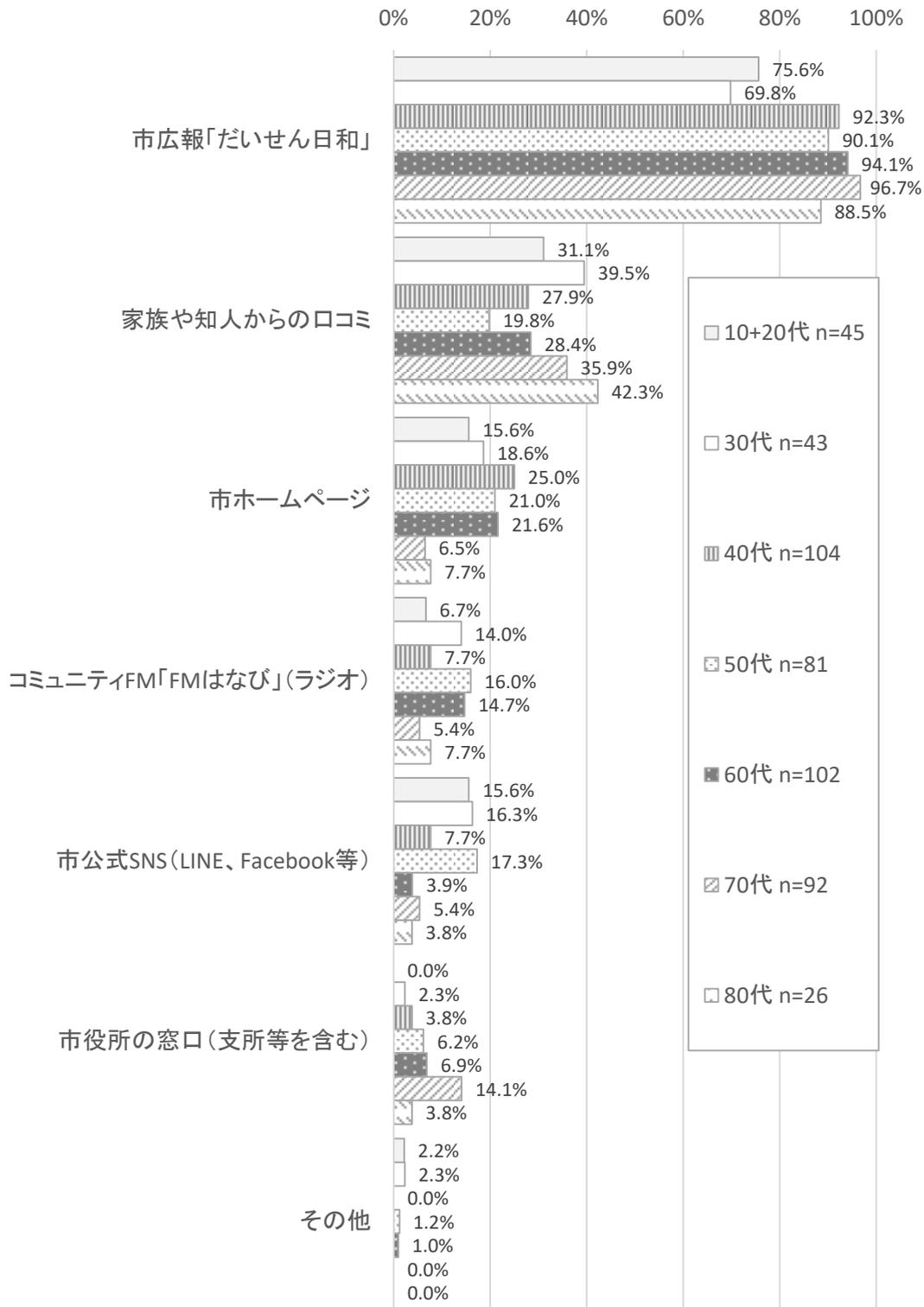
【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が89.7%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が29.7%、「市ホームページ」が17.8%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、40代以上は8割を超えており、非常に高くなっている。「市公式SNS（LINE、Facebook等）」は30代以下と50代、「市ホームページ」は60代以下が高くなっている。「口コミ」は50代以外で2番目に高くなっており、30代以下と70代以上では3割を超え、80代の42.3%が最も高くなっている。70代では「市役所の窓口（支所等を含む）」が14.1%で、他の年代よりも高くなっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

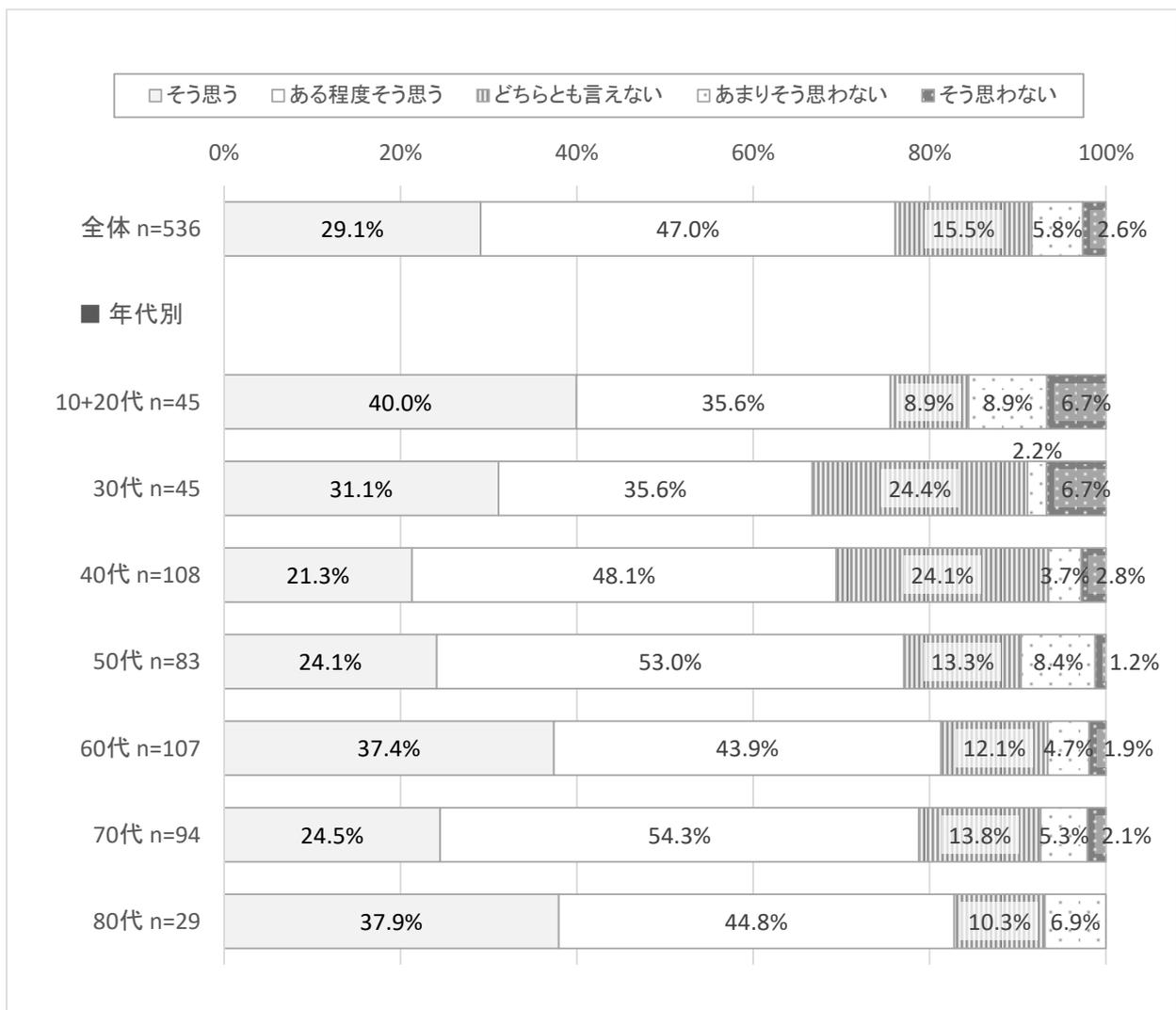


【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。

(情報の入手しやすさ)

- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が 29.1%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が 47.0%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは80代で82.7%、最も低いのは30代で66.7%となっており、16.0ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で15.6%、最も低いのは40代で6.5%となっており、その差は9.1ポイントとなっている。

図表 48 市政情報の入手しやすさ

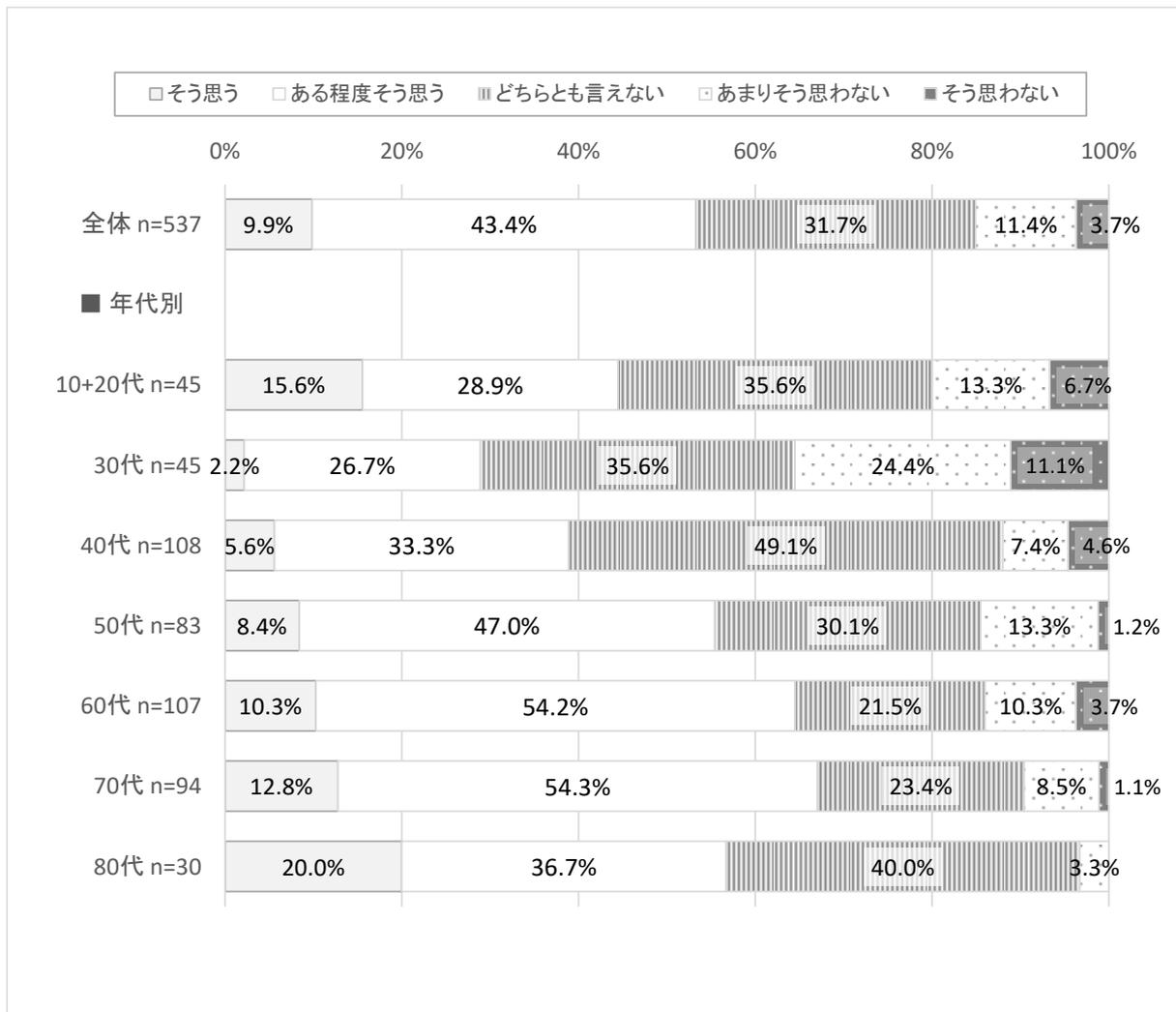


2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が9.9%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が43.4%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は53.3%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は70代が67.1%で最も高くなっている。一方で「あまりそう思わない（あまり利用しやすいとは思わない）」「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」を合わせた割合は30代が35.5%で最も高く、次いで10代と20代を合わせた年代が20.0%となっており、市のサービスを利用しにくいと感じている方の割合は、若い世代で多くなっている。

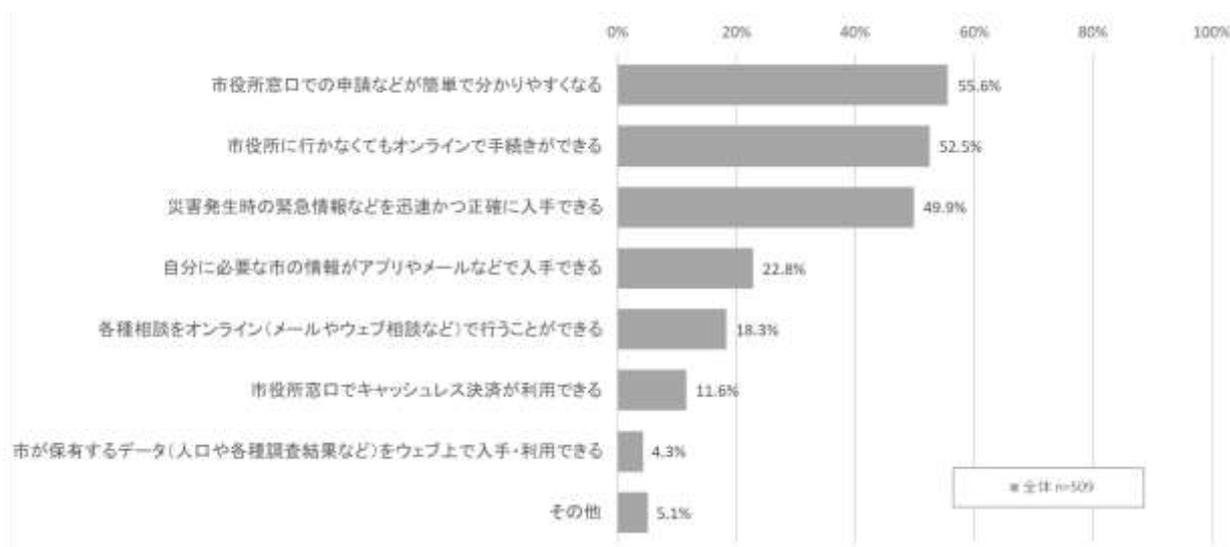
図表 49 「市のサービスの利用しやすさ」



【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）の割合が 55.6%で最も高く、次いで「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）が 52.5%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が 49.9%となっている。
- 年代別にみると、40代と70代以上では「申請が簡単になる」が最も高く、6割を超えている。30代以下と50代では「オンライン手続き」が最も高く、30代以下では7割を超えている。60代と70代では「緊急情報」が最も高く（70代は「申請が簡単になる」と同率）、6割以上となっている。また、70代以上では「その他」が他の年代と比べて高くなっており、その内容としてデジタル化への不安が多く挙げられている。

図表 50 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

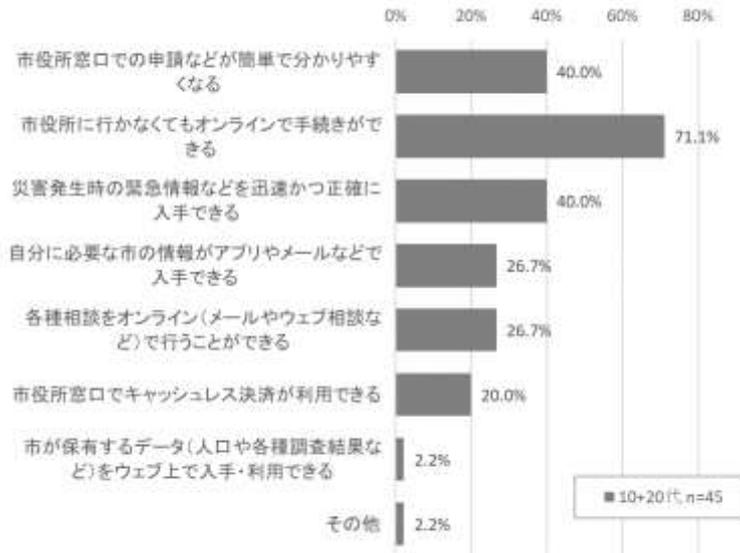


■その他の回答

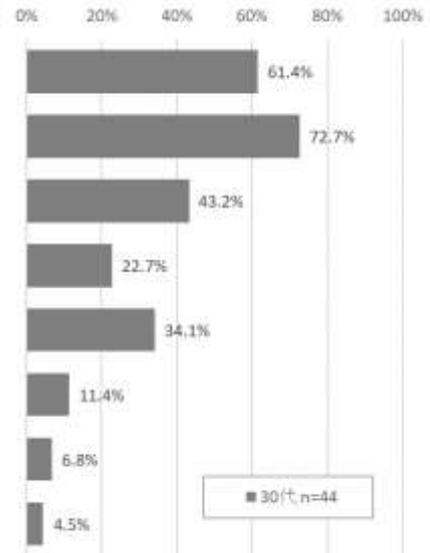
- ・ アナログ世代なので何でもデジタル化されても理解できない。(70代/男性/自営業・家族従業者(農林業含む))
- ・ 急速にデジタル化が進み、高齢者にとって取り残されないよう計らいをお願いします。(70代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 高齢者がついてこられるようにしてほしい。置いてきぼりの高齢者がいます。(40代/女性/正規社員・職員)
- ・ デジタル化が進む一方で、不得意とする市民への対応策も合わせて期待します。(30代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 老人にとってデジタル化することに抵抗を感じることもある。(70代/女性/専業主婦・主夫)
- ・ デジタル化についていけない人の事も考えてほしい。(50代/女性/専業主婦・主夫)
- ・ 高齢者はデジタル化だけだと戸惑う(60代/女性/無職)
- ・ お年寄りにはスマホもつかえなければネット環境もない所がたくさんあります。なんでもかんでもデジタル化はどうかと思います。高齢者にスマホやネットの使い方や環境整備が必要です。(40代/男性/正規社員・職員)
- ・ 年なのでデジタル化はむずかしい。(80代/女性/無職)
- ・ 何曜日でも窓口が開いていること。デジタル必要？(40代/男性/正規社員・職員)
- ・ 今のままで不便を感じない。(60代/女性/自営業・家族従業者(農林業含む))
- ・ 完全デジタル化は反対。特に期待していない。(50代/無職)
- ・ デジタル化反対なので。(60代/男性/無職)
- ・ 期待していない。(70代/男性/無職)
- ・ デジタル化は好きではないです。人間対応が良い。(40代/女性/派遣・契約社員)
- ・ 携帯もっていないので、わからない。(70代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 無理です。(60代/女性/パート・アルバイト)
- ・ 自分ではなにもできない。(70代/女性/無職)
- ・ デジタルわかりません。(50代/男性/無職)
- ・ サービス等細かい内容までホームページに書かれており、ホームページを見れば内容が把握できる(今は大体の内容しか分からない)。(30代/女性/正規社員・職員)
- ・ 受付などが円滑に進む。(10代/男性/学生(高校生含む))
- ・ 在宅で電子決済が出来る。(40代/女性/正規社員・職員)

図表 51 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」

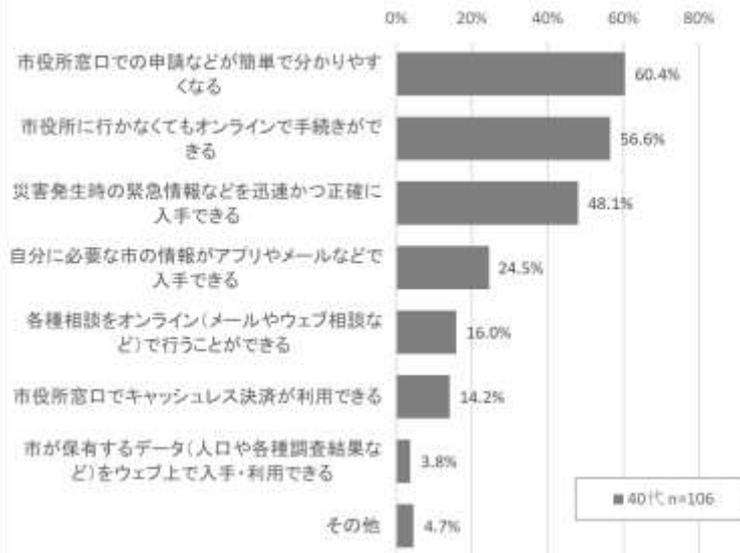
■10代+20代



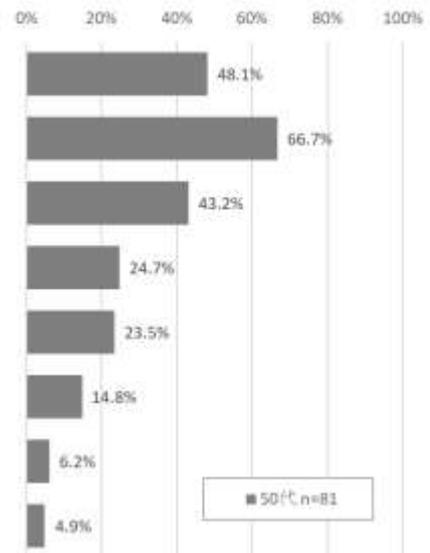
■30代



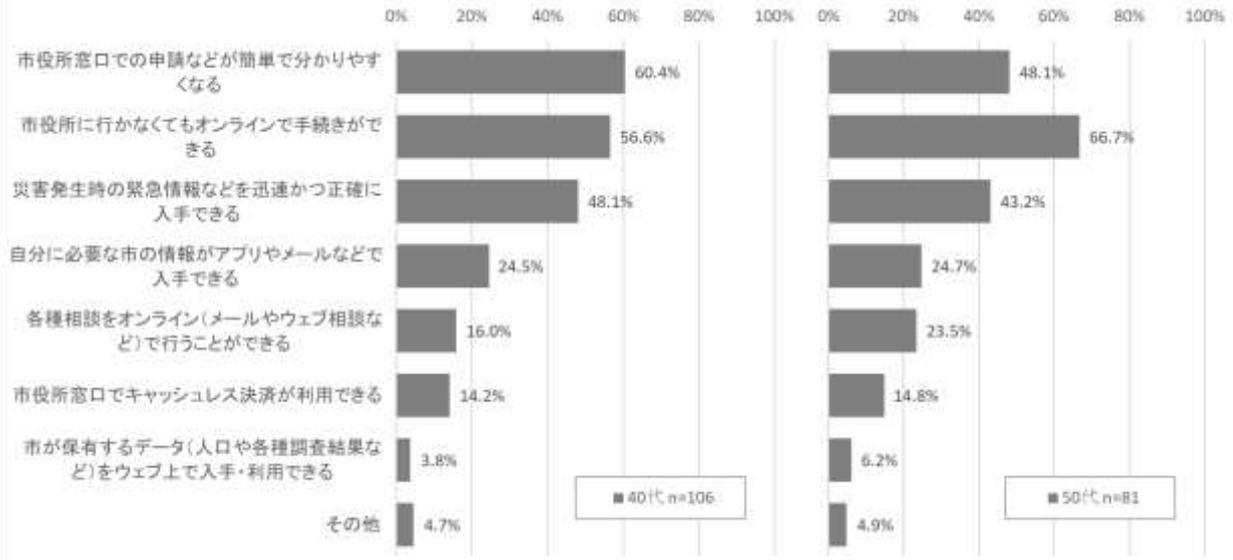
■40代



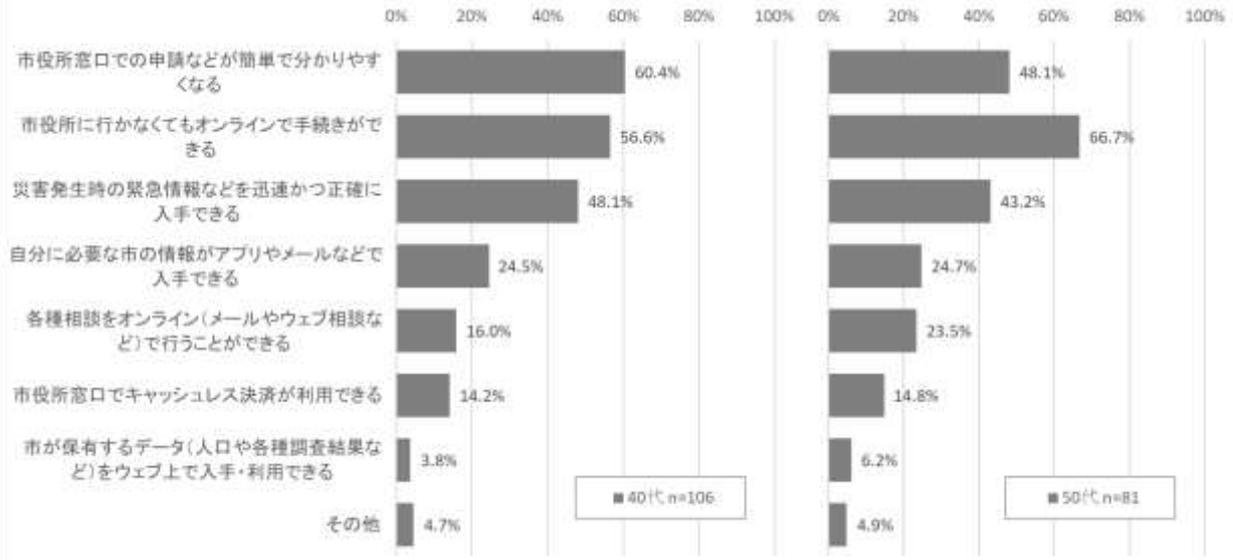
■50代



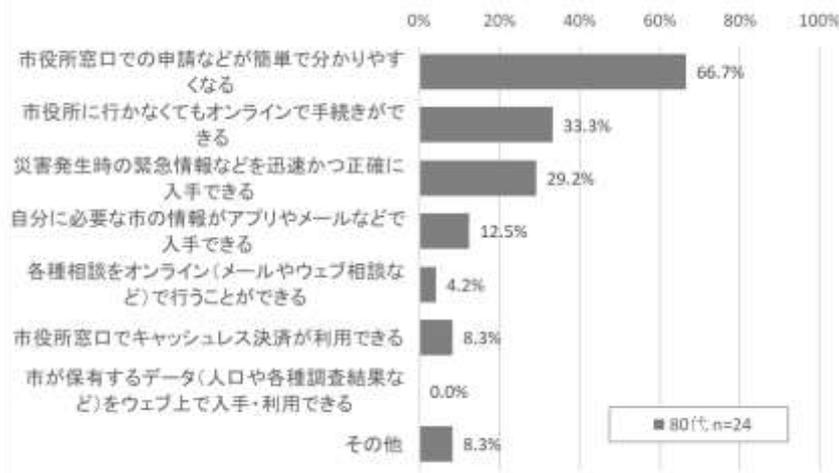
■60代



■70代



■80代



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

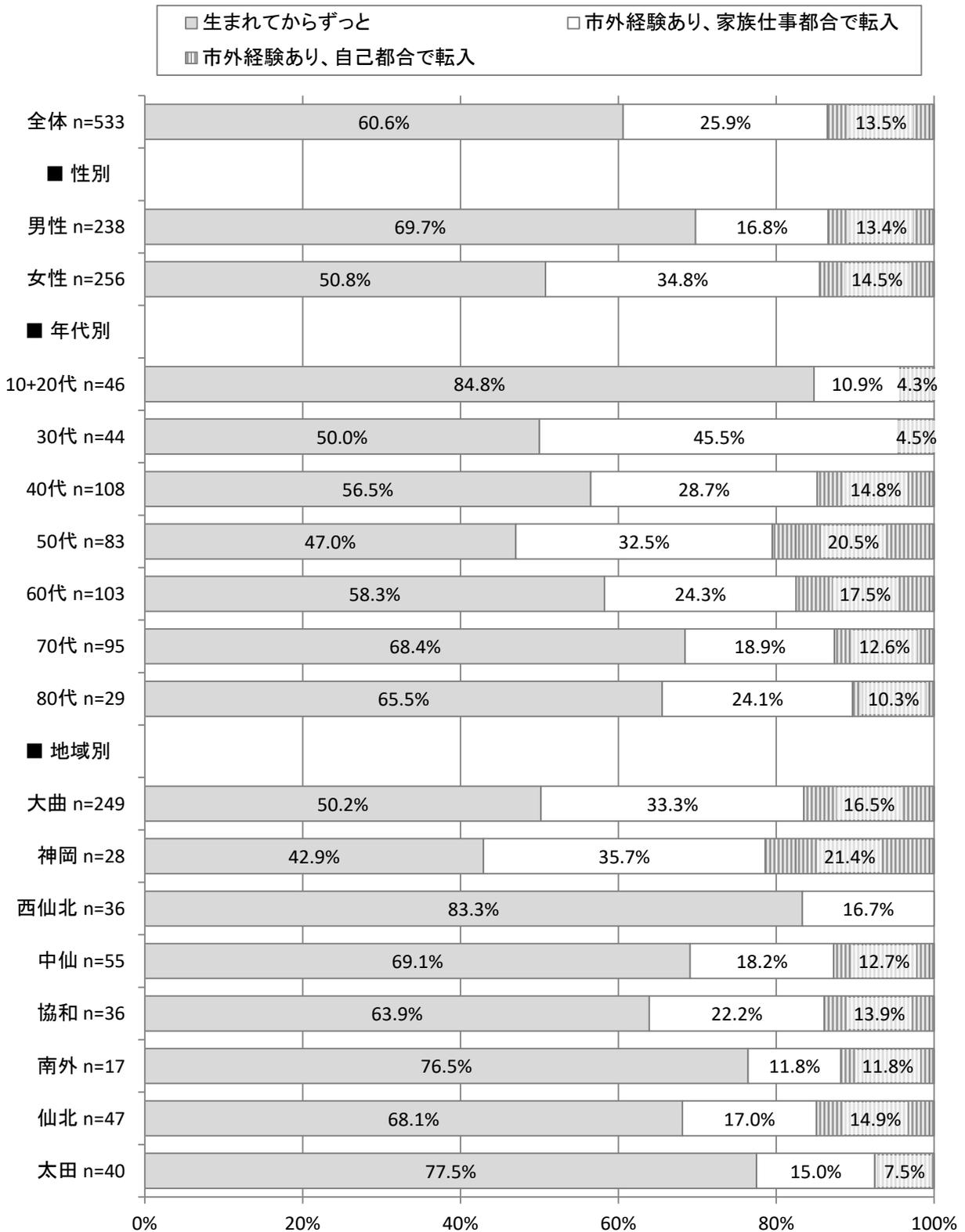
現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が60.6%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が25.9%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が13.5%となっている。

性別で見ると、「生まれてからずっと」は男性が69.7%となっており、女性の50.8%より18.9ポイント高くなっている。一方、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が16.8%となっており、女性は18.0ポイント高い34.8%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは10代と20代合わせた年代で84.8%となっており、次いで70代が68.4%で2番目に高くなっている。一方、最も低いのは50代で47.0%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは30代で45.5%、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは50代の20.5%となっており、50代を境に年代が上下するにつれて低くなる傾向にある。

地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは西仙北地域で83.3%となっており、最も低いのは神岡地域で42.9%となっている。「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と「市外経験あり、自己都合で転入」の割合が最も高いのは神岡地域でそれぞれ35.7%、21.4%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯



2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

大仙市は住みやすいまちだと思うか、という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が61.4%で最も高く、次いで「住みやすい」が24.0%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は85.4%で、昨年度(87.7%)から2.3ポイント低下している。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が23.4%、女性が25.9%となっており、女性が2.5ポイント高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」は男性が63.6%、女性が58.9%となっており、男性が4.7ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、70代が91.7%で最も高く、10代と20代を合わせた年代が80.5%で最も低くなっているものの、全ての年代で8割を超えている。また、「住みにくい」の割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で8.7%となっており、他の年代よりも比較的高くなっている。

地域別で見ると、「住みやすい」は協和地域が33.3%で最も高くなっているが、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、仙北地域が91.5%で最も高くなっている。「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」はどちらも南外地域が最も高く、それぞれ23.5%、5.9%となっており、合計すると約3割となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方の割合が最も高くなっている。

■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」が昨年度(77.3%)から3.6ポイント低下し、73.7%となっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が75.6%、女性が72.4%で男性が3.2ポイント高くなっており、女性は「市内の別の場所へ移りたい」と「市外に移りたい」が男性より高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、60代以上が比較的高くなっており、70代以上では8割以上となっている。一方で「市外に移りたい」は、30代を除いて年代が下がるにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では、26.1%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、30代が13.3%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は中仙地域が83.9%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が29.4%、「市外に移りたい」は協和地域が25.0%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が79.4%で最も高くなっている。「今の場所に住み続けたい」が最も低い一方で、「市外に移りたい」が最も高くなっているのは「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方となっている。

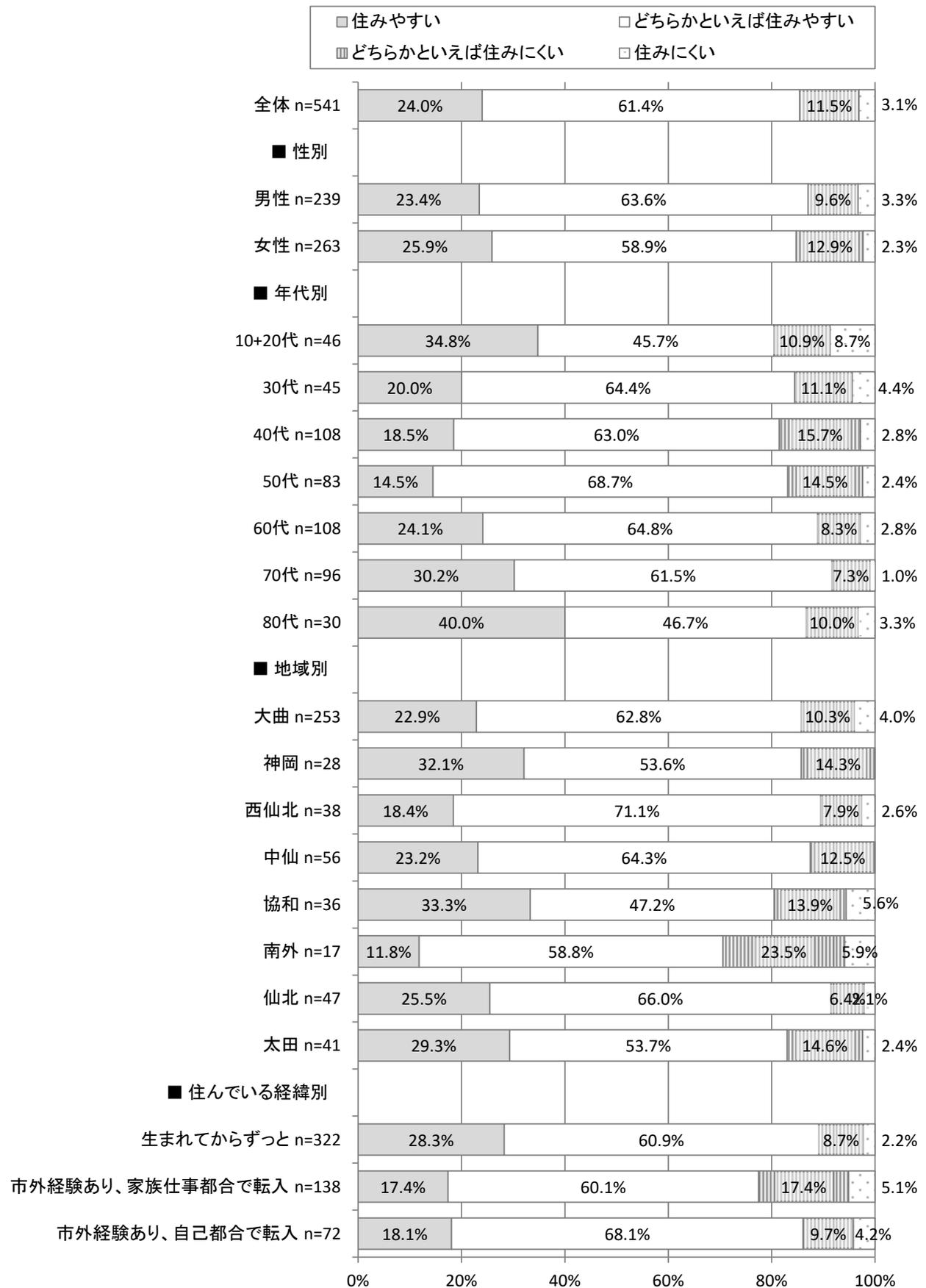
■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、概ね同様の傾向となっているが、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内に住み続けたいと思っている方の割合は、男性がやや高くなっている。

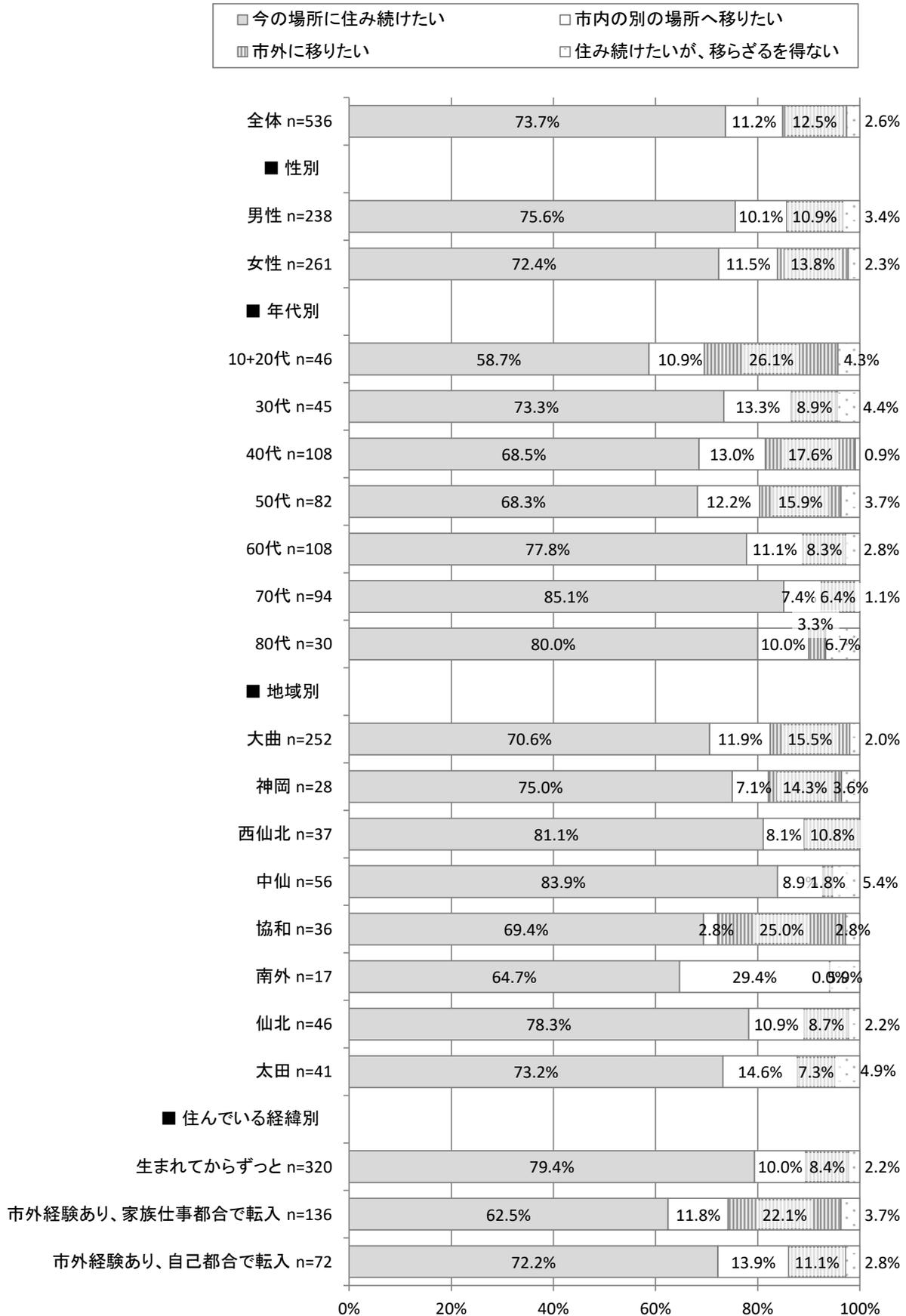
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、60代以上が比較的高い傾向となっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合が最も低く、一方で「市外に移りたい」は高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか



図表 54 大仙市に住み続けたいか



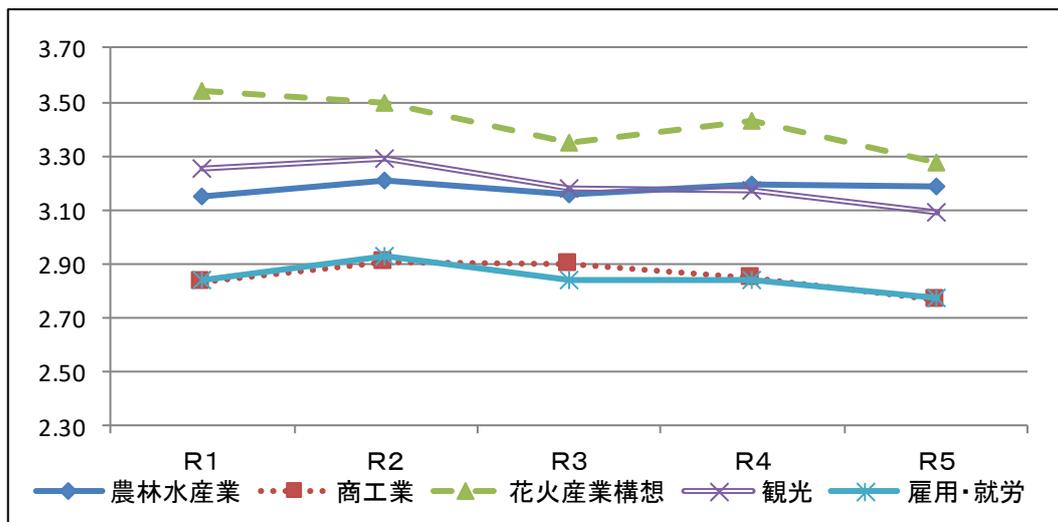
2.8 経年比較

令和元年度から令和5年度までの5年間における満足度、重要度、要望度の推移と、平成28年度から調査を行っている本市の住みやすさについての8年間の推移をまとめた。

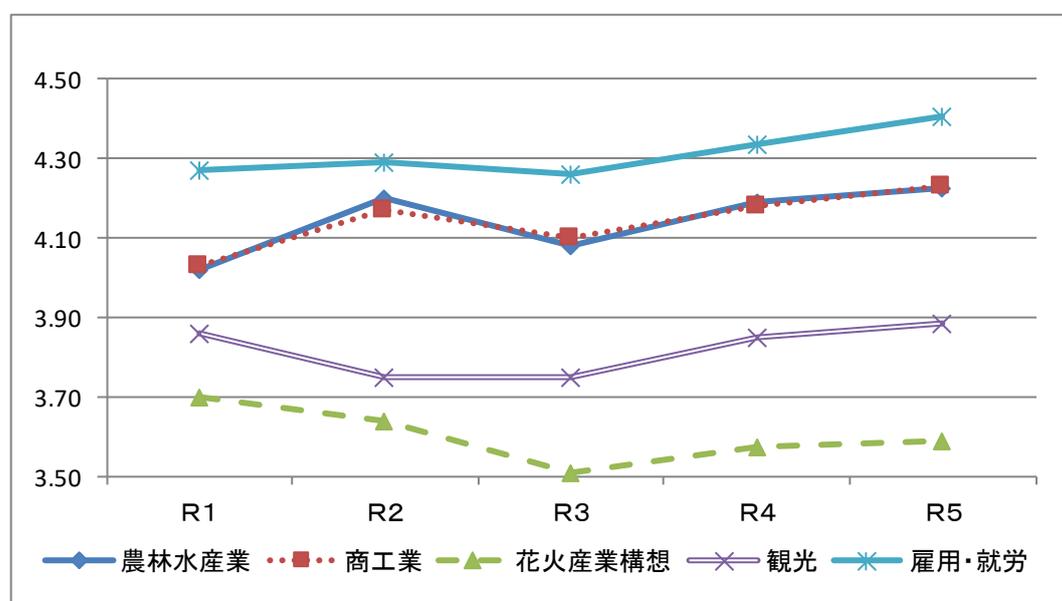
I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

満足度は「農林水産業」がほぼ横ばいだが、その他の4項目は、令和元年度ないし令和2年度から低下傾向となっている。重要度は令和3年度以降、全ての項目が上昇傾向となっている。要望度は満足度の低下傾向と重要度の上昇傾向に合わせて、全ての項目で上昇傾向となっている。

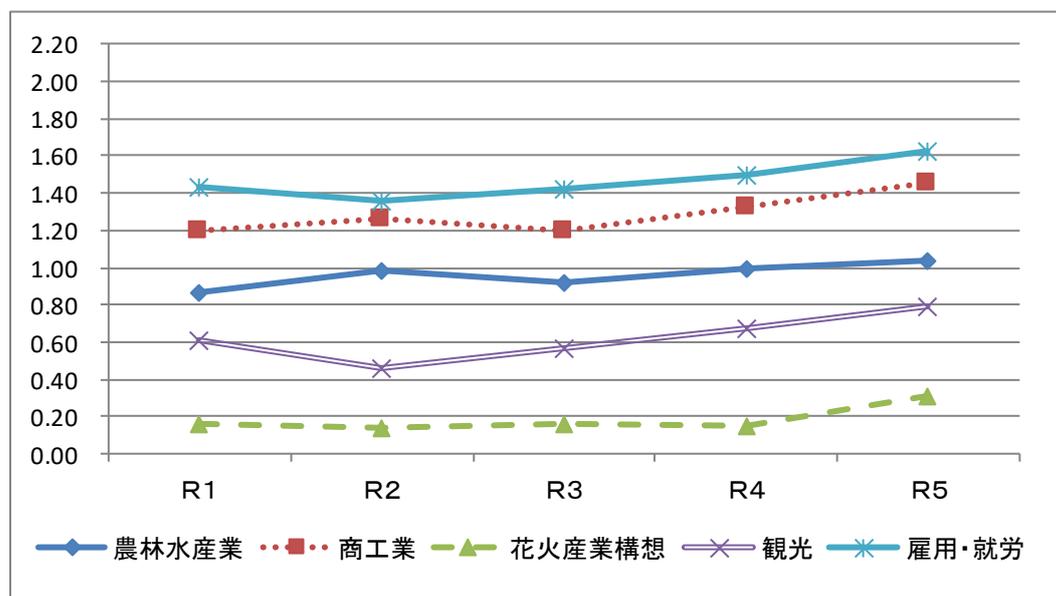
満足度	R1	R2	R3	R4	R5
農林水産業	3.15	3.21	3.16	3.19	3.19
商工業	2.83	2.91	2.90	2.85	2.77
花火産業構想	3.54	3.50	3.35	3.43	3.28
観光	3.25	3.29	3.18	3.17	3.09
雇用・就労	2.84	2.93	2.84	2.84	2.78



重要度	R1	R2	R3	R4	R5
農林水産業	4.02	4.20	4.08	4.19	4.23
商工業	4.03	4.17	4.10	4.18	4.23
花火産業構想	3.70	3.64	3.51	3.58	3.59
観光	3.86	3.75	3.75	3.85	3.88
雇用・就労	4.27	4.29	4.26	4.34	4.41



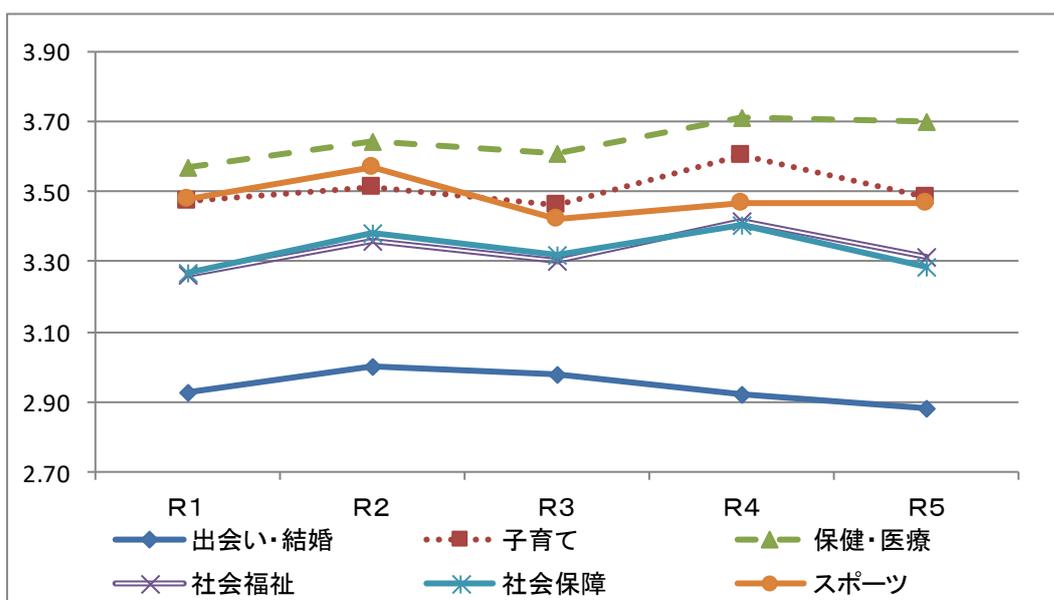
要望度	R1	R2	R3	R4	R5
農林水産業	0.87	0.99	0.92	1.00	1.04
商工業	1.20	1.26	1.20	1.33	1.46
花火産業構想	0.16	0.14	0.16	0.15	0.31
観光	0.61	0.46	0.57	0.68	0.79
雇用・就労	1.43	1.36	1.42	1.50	1.63



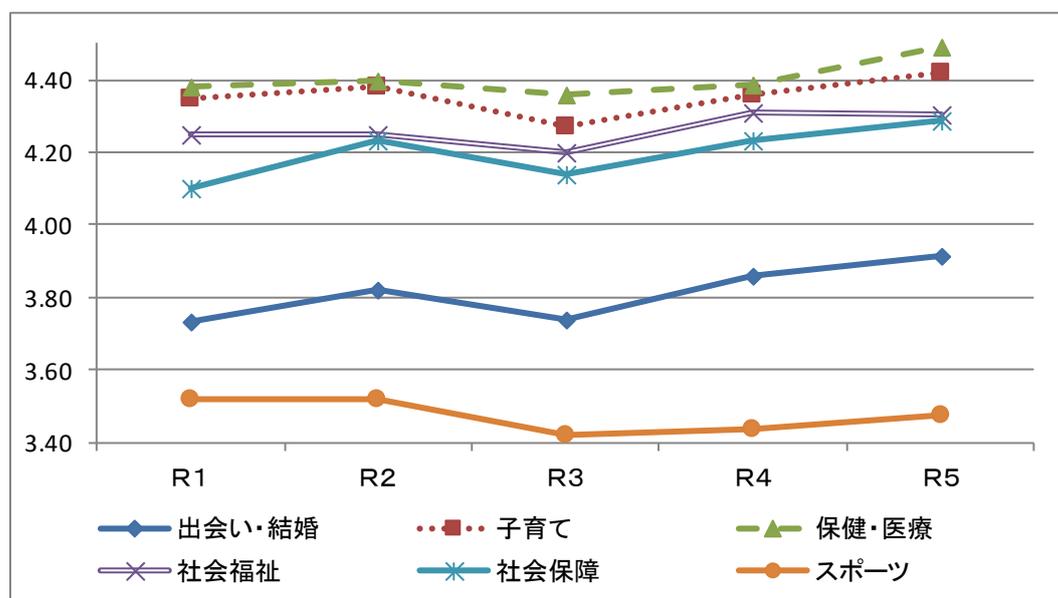
Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

満足度は昨年度と比較すると「保健・医療」「スポーツ」が横ばい、その他の項目は低下している。中でも「出会い・結婚」は令和2年度から低下傾向となっている。重要度は令和3年度以降、全ての項目が上昇傾向となっている。要望度は「出会い・結婚」を除き令和元年度から横ばいまたは低下傾向で推移していたが、今年度は全ての項目で上昇している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

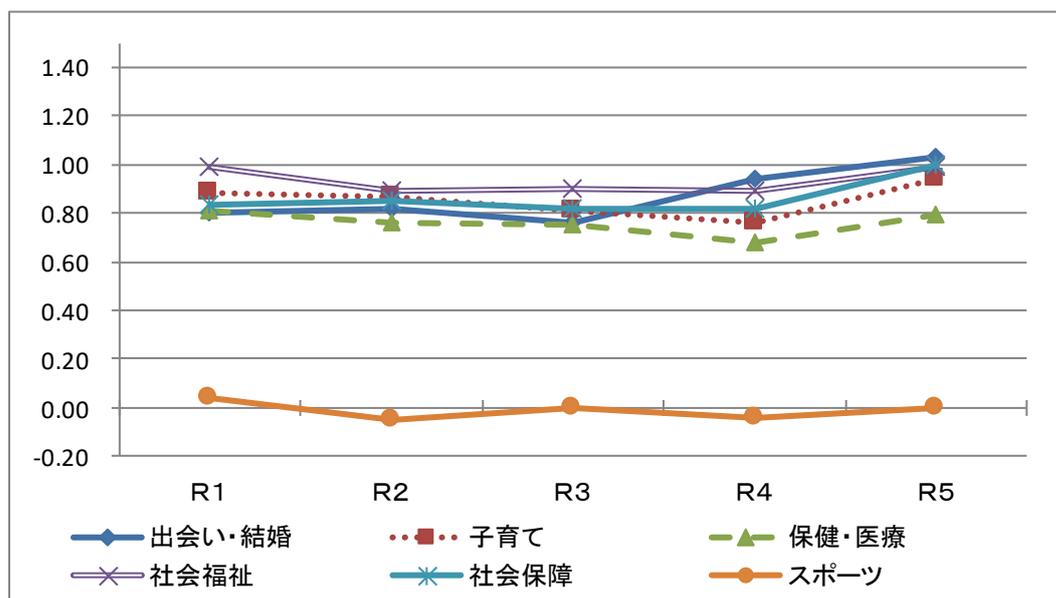
満足度	R1	R2	R3	R4	R5
出会い・結婚	2.93	3.00	2.98	2.92	2.88
子育て	3.47	3.51	3.46	3.60	3.48
保健・医療	3.57	3.64	3.61	3.71	3.70
社会福祉	3.26	3.36	3.30	3.42	3.31
社会保障	3.27	3.38	3.32	3.41	3.29
スポーツ	3.48	3.57	3.42	3.47	3.47



重要度	R1	R2	R3	R4	R5
出会い・結婚	3.73	3.82	3.74	3.86	3.91
子育て	4.35	4.38	4.27	4.36	4.42
保健・医療	4.38	4.40	4.36	4.39	4.49
社会福祉	4.25	4.25	4.20	4.31	4.30
社会保障	4.10	4.23	4.14	4.23	4.29
スポーツ	3.52	3.52	3.42	3.43	3.47



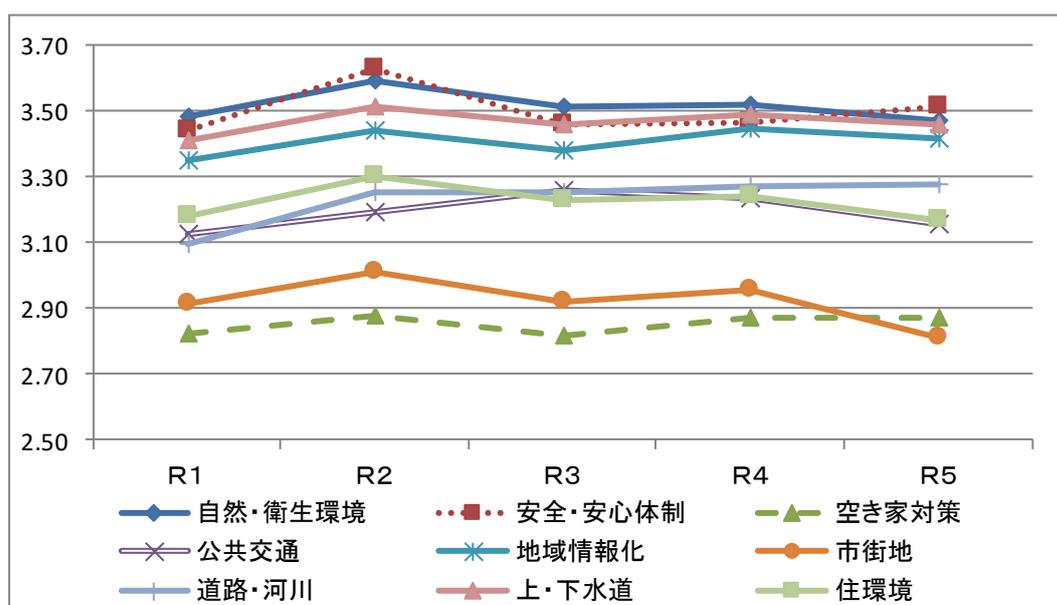
要望度	R1	R2	R3	R4	R5
出会い・結婚	0.80	0.82	0.76	0.94	1.03
子育て	0.88	0.87	0.81	0.76	0.94
保健・医療	0.81	0.76	0.75	0.68	0.79
社会福祉	0.99	0.89	0.90	0.89	0.99
社会保障	0.83	0.85	0.82	0.82	1.00
スポーツ	0.04	-0.05	0.00	-0.04	0.00



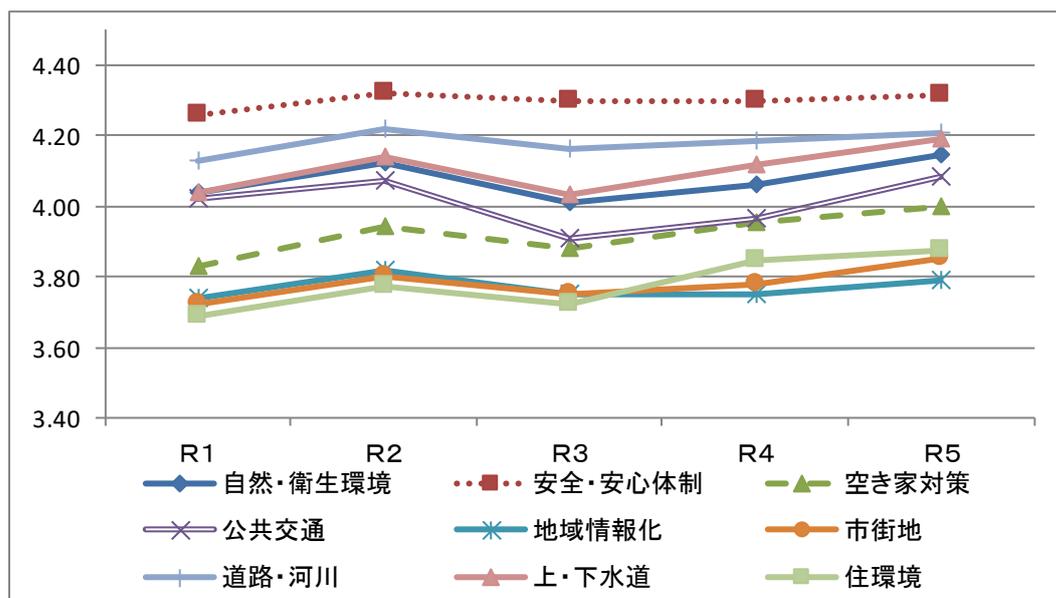
Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

満足度は今年度「市街地」が大きく低下しているほか、「公共交通」と「住環境」の低下幅も大きくなっている。重要度は令和3年度以降上昇傾向にあり、今年度は全ての項目で上昇している。要望度も重要度と同様に、令和3年度から全体的に上昇傾向で推移しているが、「安全・安心体制」「地域情報化」「道路・河川」は横ばいとなっている。

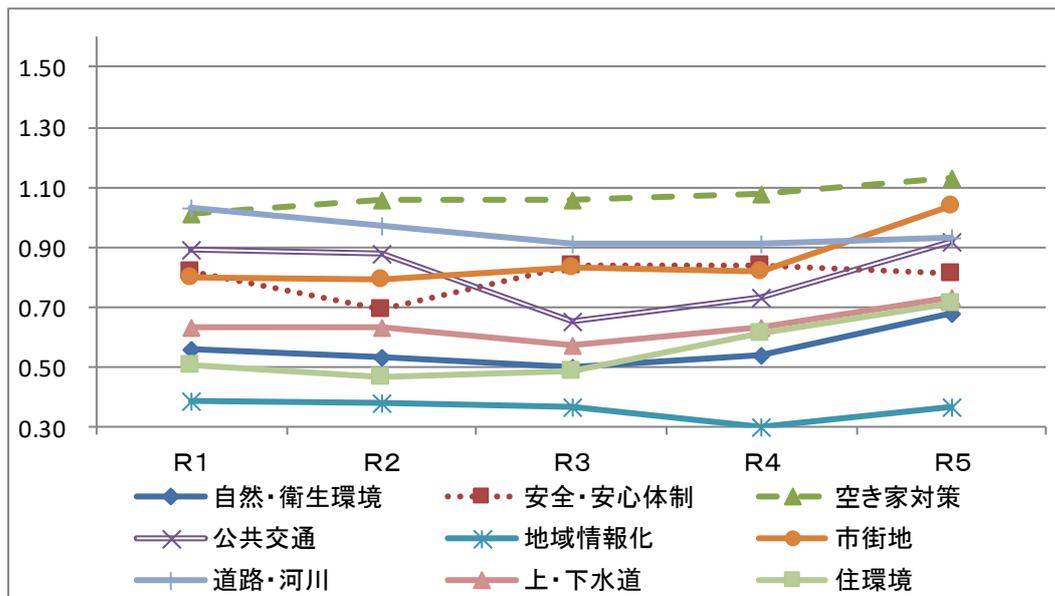
満足度	R1	R2	R3	R4	R5
自然・衛生環境	3.48	3.59	3.51	3.52	3.47
安全・安心体制	3.44	3.63	3.46	3.46	3.51
空き家対策	2.82	2.88	2.82	2.87	2.87
公共交通	3.13	3.19	3.26	3.23	3.16
地域情報化	3.35	3.44	3.38	3.45	3.42
市街地	2.92	3.01	2.92	2.96	2.81
道路・河川	3.10	3.25	3.25	3.27	3.28
上・下水道	3.41	3.51	3.46	3.49	3.46
住環境	3.18	3.30	3.23	3.24	3.17



重要度	R1	R2	R3	R4	R5
自然・衛生環境	4.04	4.12	4.01	4.06	4.15
安全・安心体制	4.26	4.32	4.30	4.30	4.32
空き家対策	3.83	3.94	3.88	3.95	4.00
公共交通	4.02	4.07	3.91	3.96	4.08
地域情報化	3.74	3.82	3.75	3.75	3.79
市街地	3.72	3.80	3.75	3.78	3.85
道路・河川	4.13	4.22	4.16	4.18	4.21
上・下水道	4.04	4.14	4.03	4.12	4.19
住環境	3.69	3.77	3.72	3.85	3.88



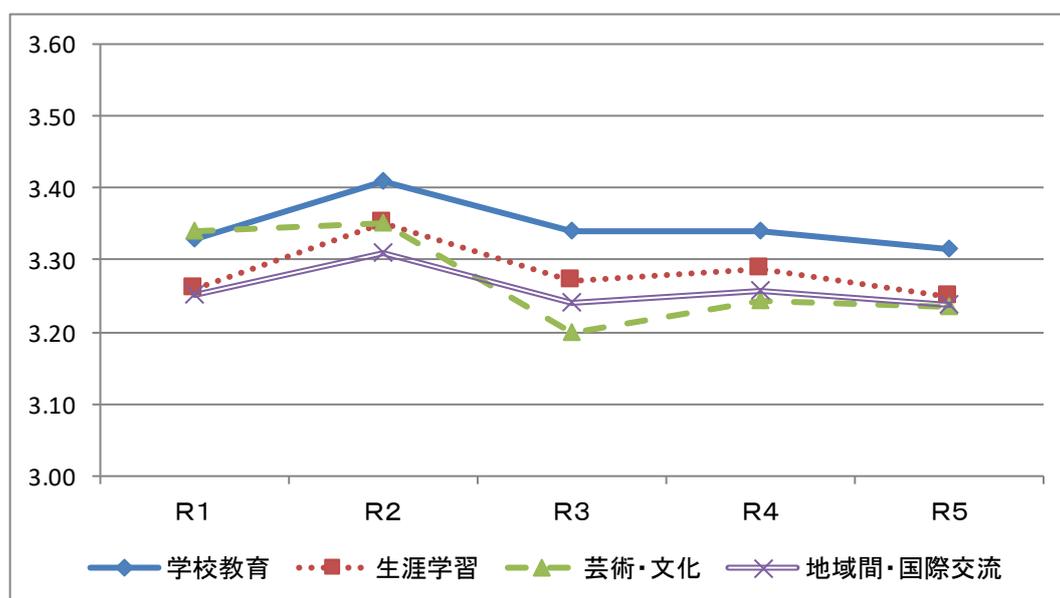
要望度	R1	R2	R3	R4	R5
自然・衛生環境	0.56	0.53	0.50	0.54	0.68
安全・安心体制	0.82	0.69	0.84	0.84	0.81
空き家対策	1.01	1.06	1.06	1.08	1.13
公共交通	0.89	0.88	0.65	0.73	0.92
地域情報化	0.39	0.38	0.37	0.30	0.37
市街地	0.80	0.79	0.83	0.82	1.04
道路・河川	1.03	0.97	0.91	0.91	0.93
上・下水道	0.63	0.63	0.57	0.63	0.73
住環境	0.51	0.47	0.49	0.61	0.71



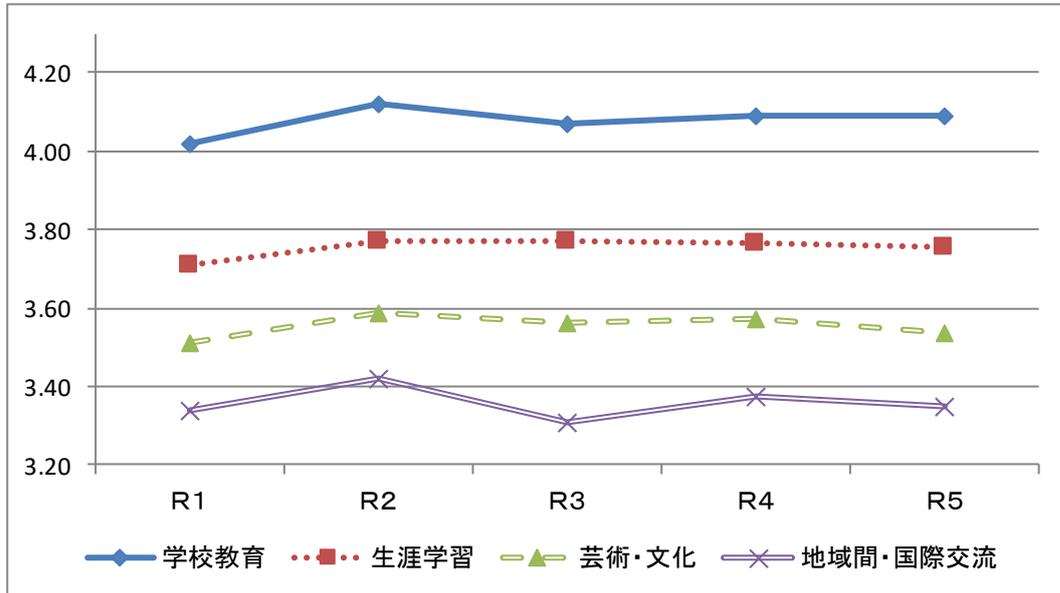
IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、それ以降は概ね横ばいで推移している。重要度は令和2年度に全ての項目が上昇したものの、令和元年度から見るとほぼ横ばいとなっている。要望度は「学校教育」が毎年度上昇しており、「生涯学習」も上昇傾向で推移している。「芸術・文化」は令和3年度を境に上昇傾向から低下傾向へ転じており、「地域間・国際交流」は横ばいとなっている。また、「地域間・国際交流」は他の項目に比べて低い水準で、「学校教育」は高い水準で推移している。

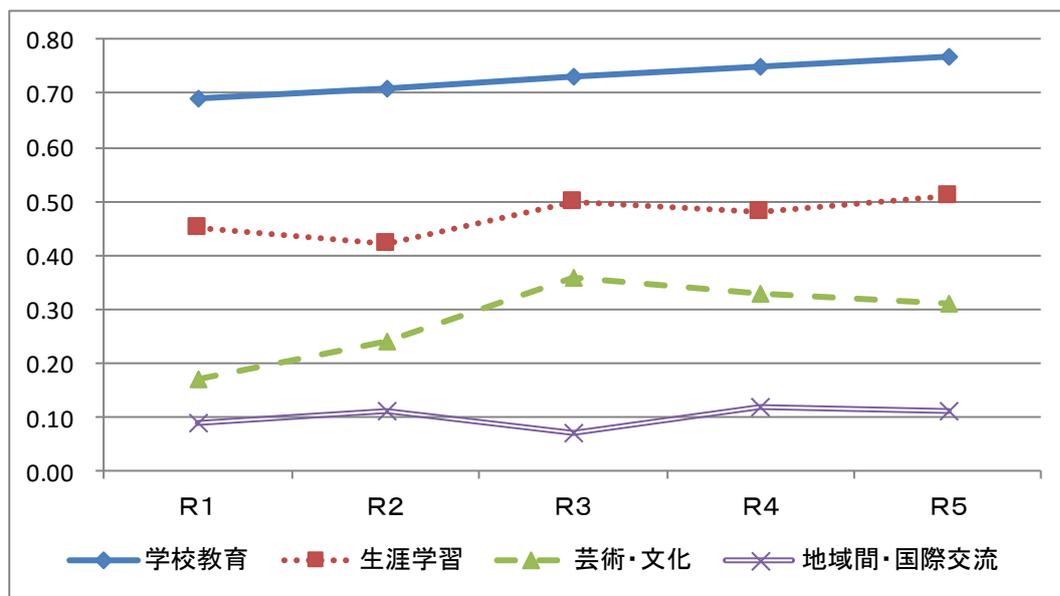
満足度	R1	R2	R3	R4	R5
学校教育	3.33	3.41	3.34	3.34	3.32
生涯学習	3.26	3.35	3.27	3.29	3.25
芸術・文化	3.34	3.35	3.20	3.24	3.23
地域間・国際交流	3.25	3.31	3.24	3.26	3.24



重要度	R1	R2	R3	R4	R5
学校教育	4.02	4.12	4.07	4.09	4.09
生涯学習	3.71	3.77	3.77	3.77	3.76
芸術・文化	3.51	3.59	3.56	3.57	3.54
地域間・国際交流	3.34	3.42	3.31	3.38	3.35



要望度	R1	R2	R3	R4	R5
学校教育	0.69	0.71	0.73	0.75	0.77
生涯学習	0.45	0.42	0.50	0.48	0.51
芸術・文化	0.17	0.24	0.36	0.33	0.31
地域間・国際交流	0.09	0.11	0.07	0.12	0.11

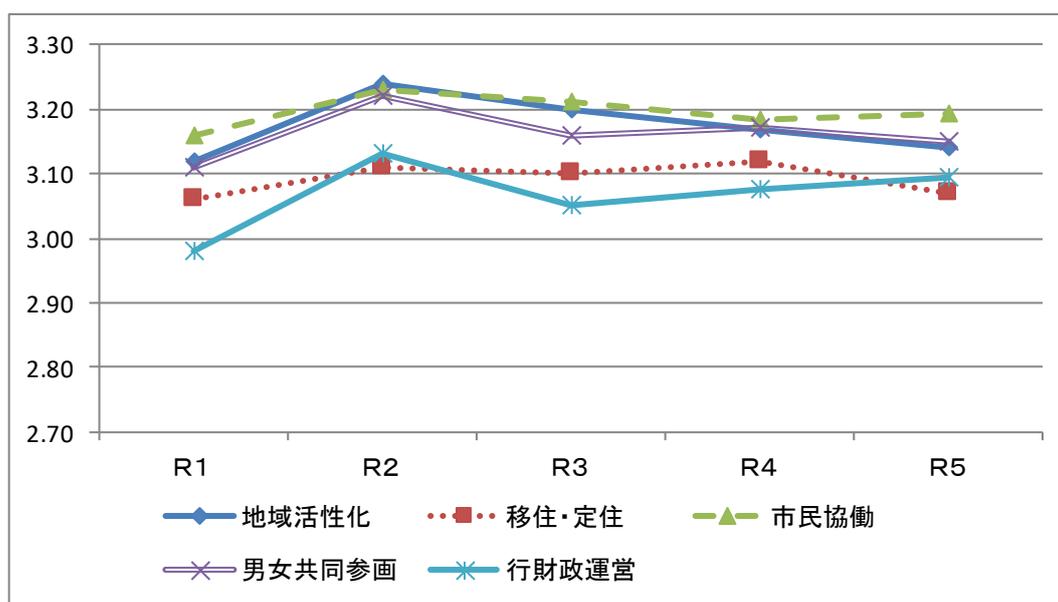


V 時代に合った地域を創ります！

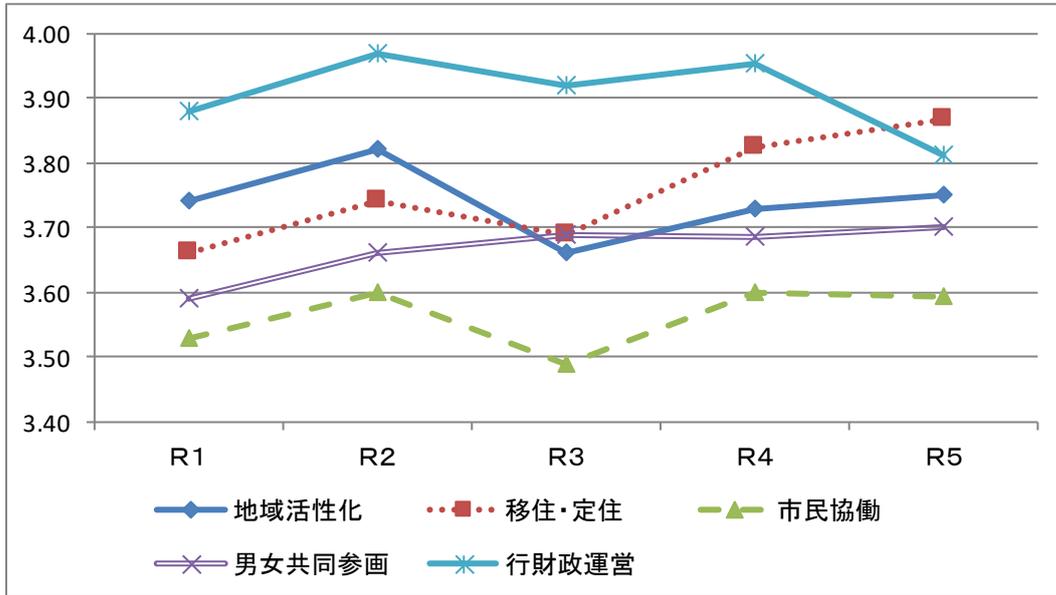
～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は令和2年度に全ての項目で上昇した後、令和3年度に再び低下した。その後は「地域活性化」のみ低下傾向となっており、その他の項目はほぼ横ばいとなっている。重要度は「男女共同参画」が令和元年度から上昇傾向となっており、その他の項目は令和3年度に低下した後、昨年度は再び上昇したものの、今年度は「行財政運営」のみ大きく低下している。要望度は「地域活性化」「市民協働」が令和3年度まで低下傾向で推移し、その後上昇傾向に転じている。「移住・定住」「男女共同参画」は令和元年度から上昇傾向となっており、「行財政運営」は今年度重要度が低下したことに伴い、要望度も低下している。

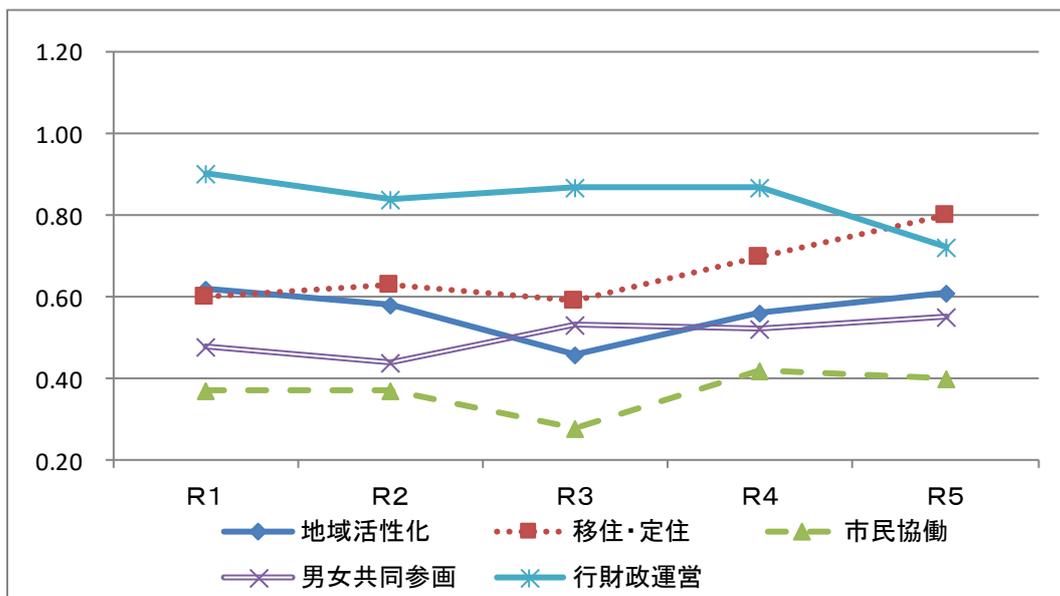
満足度	R1	R2	R3	R4	R5
地域活性化	3.12	3.24	3.20	3.17	3.14
移住・定住	3.06	3.11	3.10	3.12	3.07
市民協働	3.16	3.23	3.21	3.18	3.19
男女共同参画	3.11	3.22	3.16	3.17	3.15
行財政運営	2.98	3.13	3.05	3.08	3.09



重要度	R1	R2	R3	R4	R5
地域活性化	3.74	3.82	3.66	3.73	3.75
移住・定住	3.66	3.74	3.69	3.82	3.87
市民協働	3.53	3.60	3.49	3.60	3.59
男女共同参画	3.59	3.66	3.69	3.69	3.70
行財政運営	3.88	3.97	3.92	3.95	3.81



要望度	R1	R2	R3	R4	R5
地域活性化	0.62	0.58	0.46	0.56	0.61
移住・定住	0.60	0.63	0.59	0.70	0.80
市民協働	0.37	0.37	0.28	0.42	0.40
男女共同参画	0.48	0.44	0.53	0.52	0.55
行財政運営	0.90	0.84	0.87	0.87	0.72



大仙市の住みやすさについて

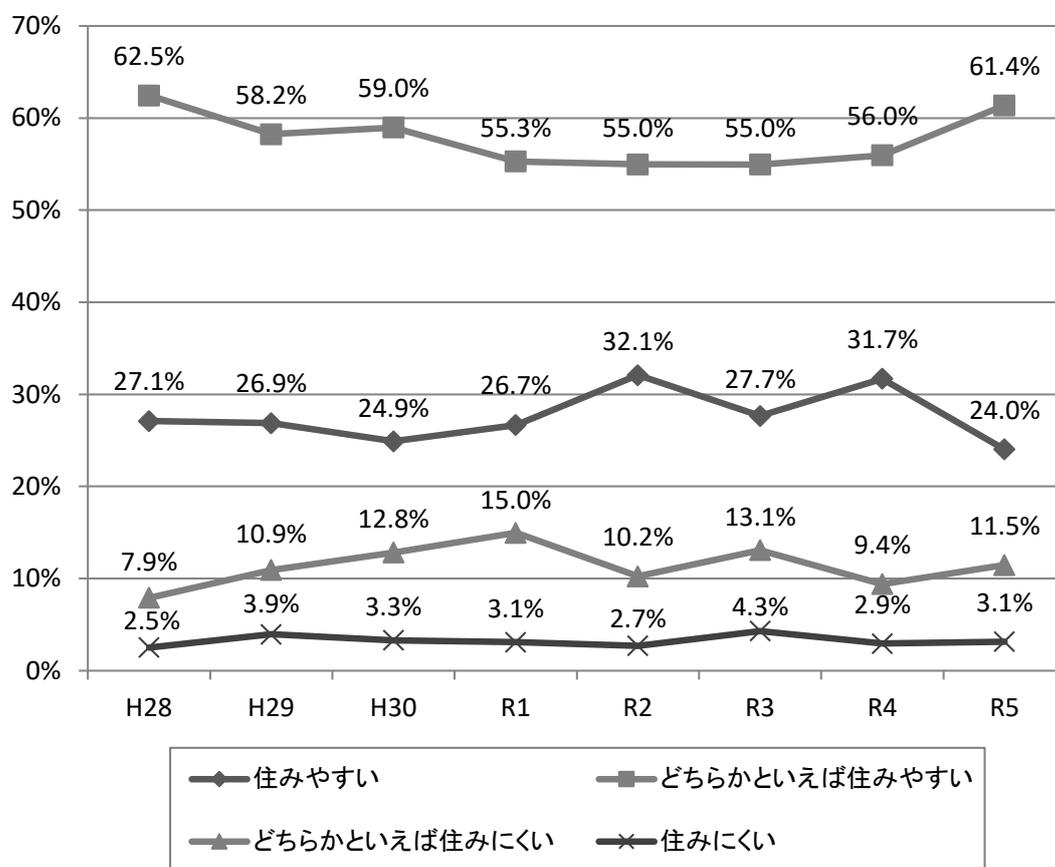
「大仙市は住みやすいか」について

「住みやすい」は昨年度から大きく低下し、過去8年間で最も低い数値となったものの、「どちらかといえば住みやすい」は昨年度から上昇し、過去8年間で2番目に高い数値となっている。住みにくいに関する項目は横ばいで推移しているものの、昨年度と比較すると割合が若干上昇している。

大仙市は住みやすいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
住みやすい	27.1%	26.9%	24.9%	26.7%	32.1%	27.7%	31.7%	24.0%
どちらかといえば	62.5%	58.2%	59.0%	55.2%	55.0%	55.0%	56.0%	61.4%
住みやすい	(89.6%)	(85.1%)	(83.9%)	(81.9%)	(87.1%)	(82.7%)	(87.7%)	(85.4%)
どちらかといえば	7.9%	10.9%	12.8%	15.0%	10.2%	13.1%	9.4%	11.5%
住みにくい								
住みにくい	2.5%	3.9%	3.3%	3.1%	2.7%	4.3%	2.9%	3.1%

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※経年比較のため、H28, H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



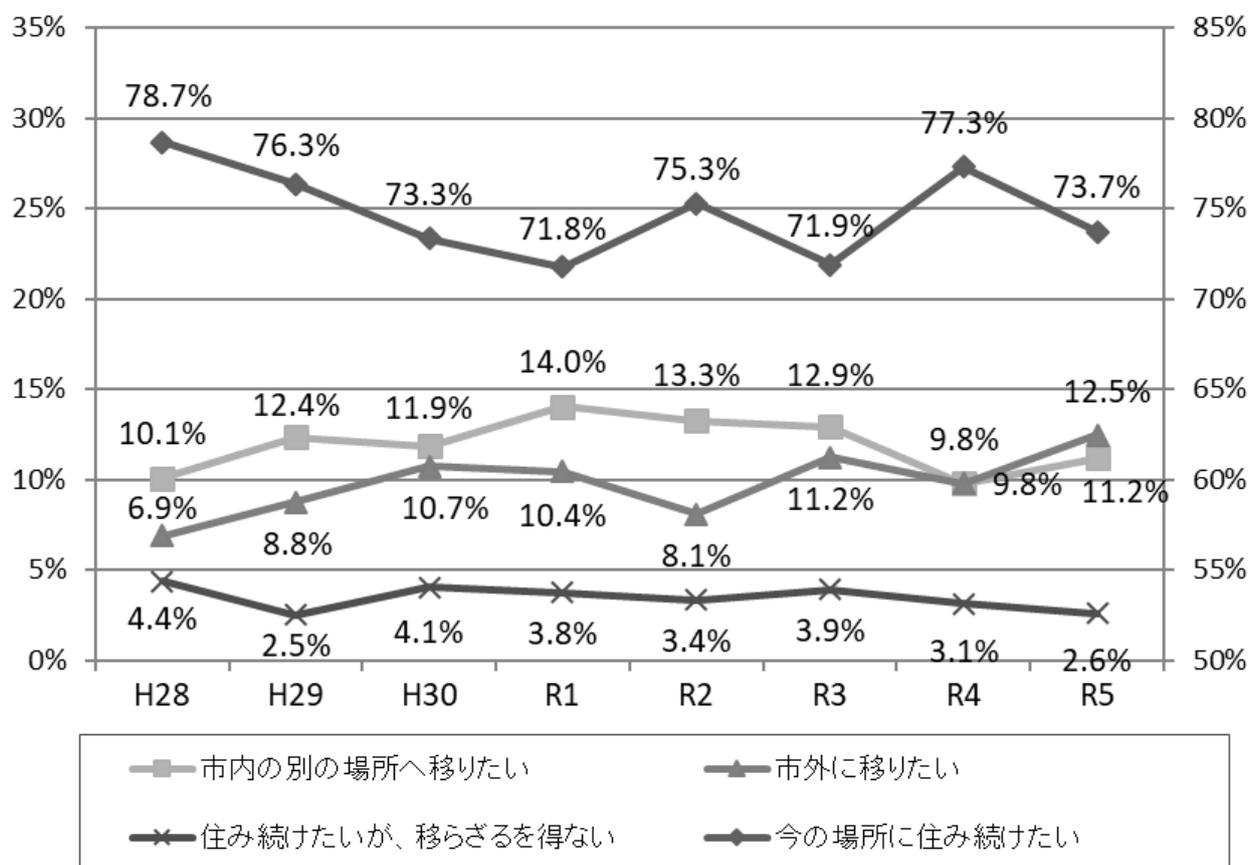
「大仙市に住み続けたいか」について

「今の場所に住み続けたい」は昨年度大幅に上昇したが、今年度は低下している。「市内の別の場所へ移りたい」は令和元年度以降、低下傾向で推移していたものの、今年度は上昇している。「市外に移りたい」は、上昇傾向で推移しており、昨年度は低下したものの、今年度は再び上昇し、過去8年間でも最も高い数値となっている。「住み続けたいが、移らざるを得ない」は横ばいで推移している。

大仙市に住み続けたいか	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
今の場所に住み続けたい	78.7%	76.3%	73.3%	71.8%	75.2%	71.9%	77.3%	73.7%
市内の別の場所へ移りたい	10.1%	12.4%	11.9%	14.0%	13.3%	12.9%	9.8%	11.2%
市外に移りたい	(88.8%)	(88.7%)	(85.2%)	(85.8%)	(88.5%)	(84.8%)	(87.1%)	(84.9%)
住み続けたいが、移らざるを得ない	4.4%	2.5%	4.1%	3.8%	3.4%	3.9%	3.1%	2.6%

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※経年比較のため、H28、H29 調査における割合は無回答を除いた数で求め直した



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価

今年度の個別事業評価については、市民全体を対象に、2つの施策・事業に対する評価・意見を伺うこととし、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同様である（P4～7を参照）。

3.1.1 SDGsについて

（企画部総合政策課）

◆ 調査目的： SDGsは、世界が直面する様々な問題を世界中のあらゆる人々が協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」で、17の目標（ゴール）の達成に向け、私たち一人ひとりが「自分のこと」として考え、行動していくことが求められている。

こうしたことを踏まえ、市では、市民の皆さまにSDGsへの理解を深めていただきながら、市全体で取組を進めていくため、市広報やホームページなどを通じた積極的な情報発信に加え、令和4年5月に選定された「SDGs未来都市」として、SDGsを原動力とした持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

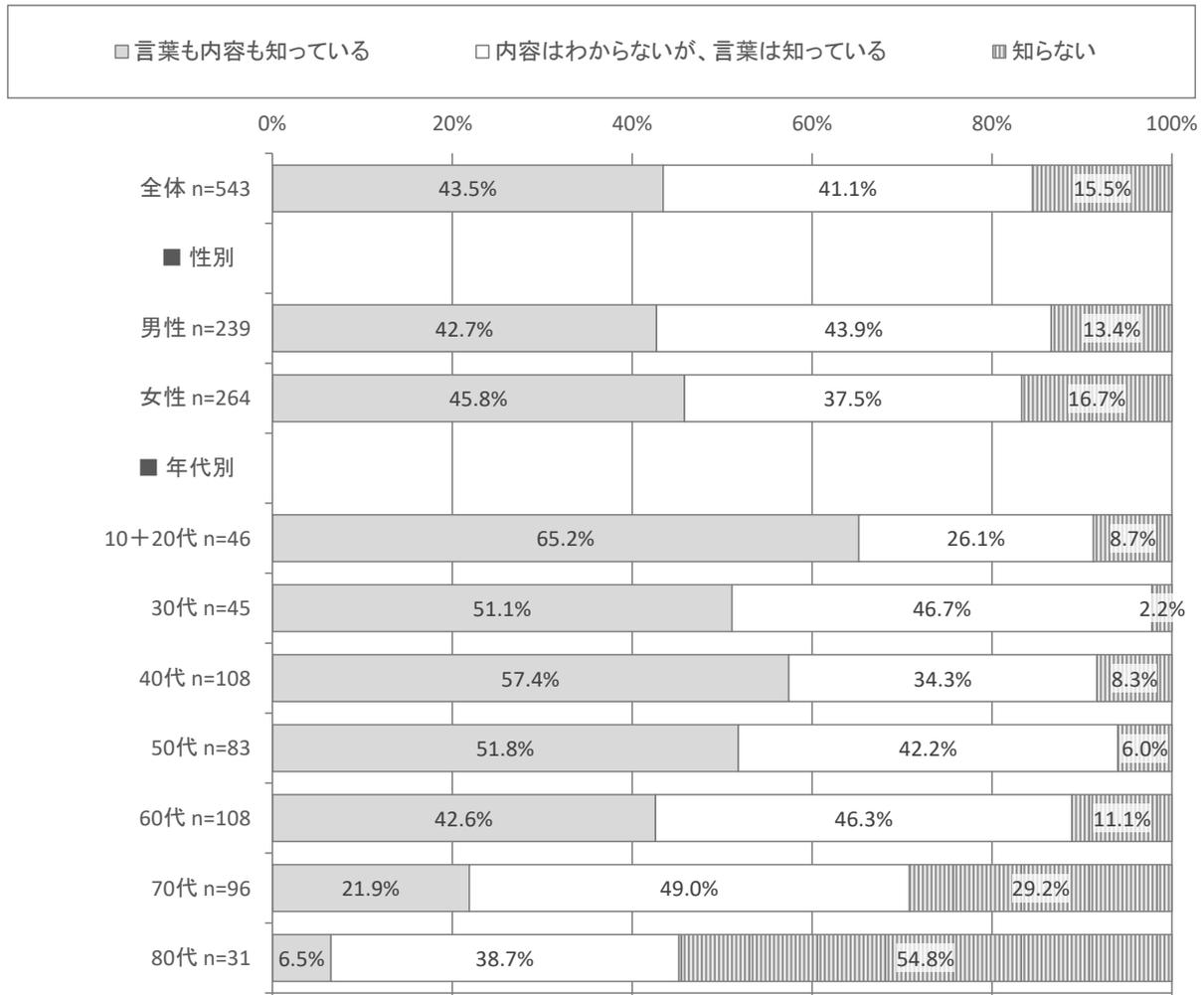
本調査では、市民の皆さまのSDGsに関する認知度や取組状況を伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とする。

また、17の目標のうち、日本での取組に深刻な課題があるとされる「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、男女共同参画についての認知度やお考えなども伺い、取組を推進していくための参考とする。

【問1】あなたは、SDGsという言葉を知っていますか。

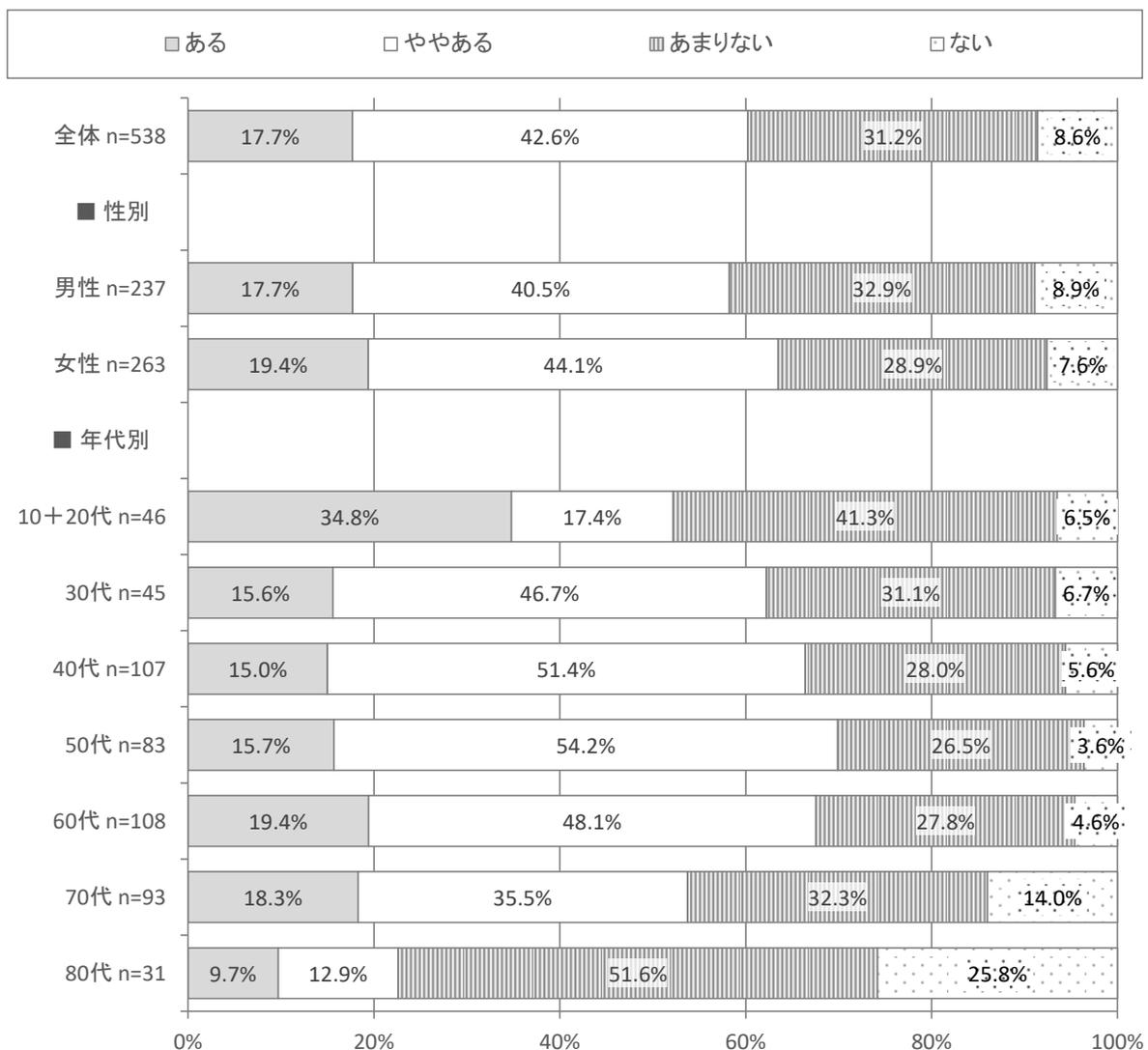
- 全体では「言葉も内容も知っている」（以下、「知っている」）「内容はわからないが、言葉は知っている」（以下、「言葉は知っている」）を合わせた割合は84.6%となっており、8割以上の方がSDGsを認知している状況にある。
- 性別で見ると、「知っている」は女性が男性を上回っている一方で、「言葉は知っている」は男性がやや高くなっており、「知っている」「言葉は知っている」を合わせた割合は男性が86.6%と、女性の83.3%を3.3ポイント上回っている。
- 年代別で見ると、50代以下では「知っている」「言葉は知っている」を合わせた割合が9割を上回っており、60代でも88.9%と約9割の方がSDGsを認知している。一方で、70代以上では「知らない」の割合が他の年代を大きく上回っており、70代で29.2%、80代で54.8%と、80代では半数以上の方がSDGsという言葉を知らないという結果になっている。

3. 1. 1 個別事業評価「SDGsについて」



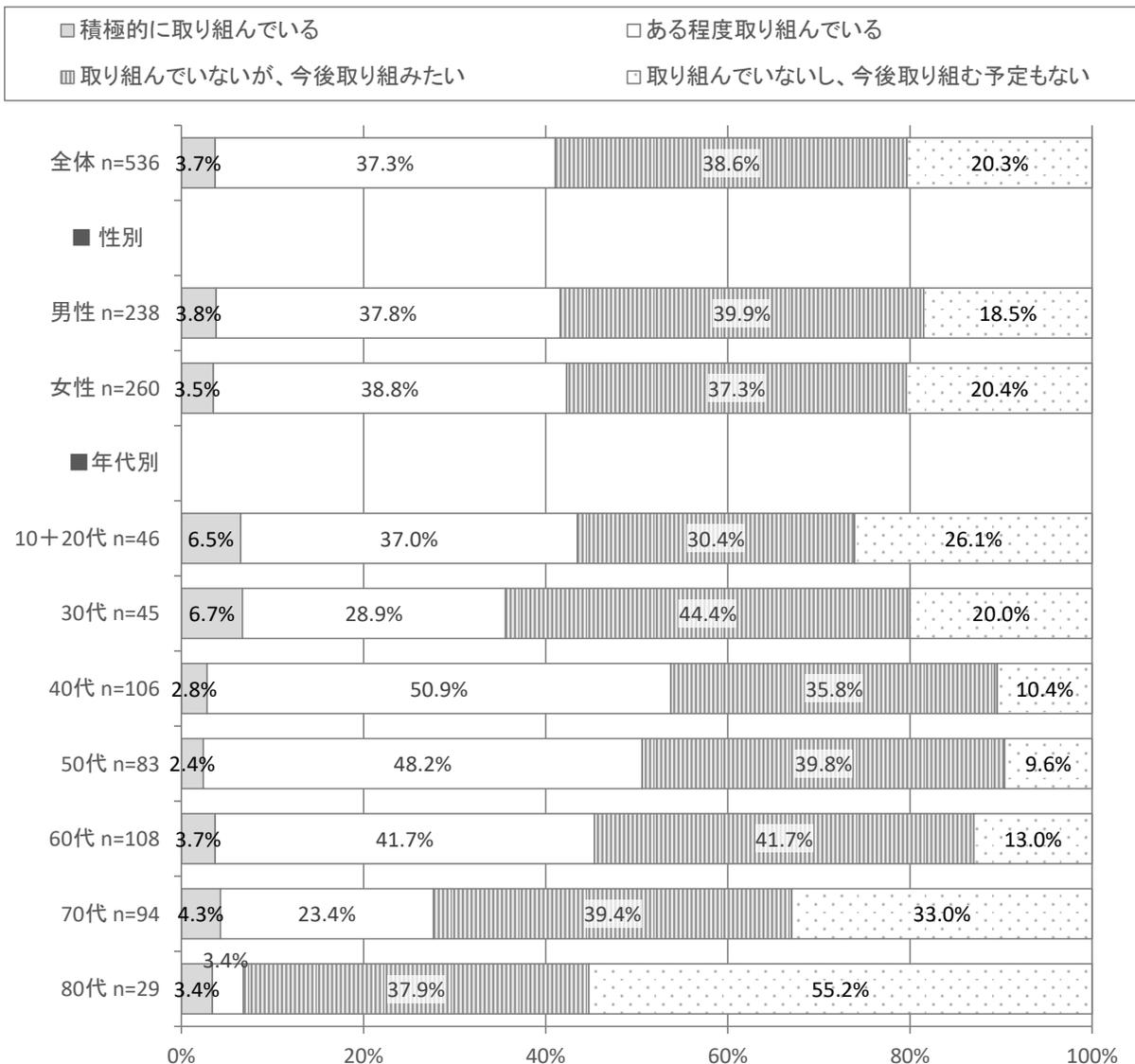
【問2】あなたはSDGsについて関心がありますか。

- 全体では、「ある」「ややある」を合わせた割合は60.3%となっており、6割以上の方が程度を問わず関心があると回答している。
- 性別で見ると、「ある」「ややある」を合わせた割合は男性の58.2%に対し、女性は5.3ポイント高い63.5%となっている。
- 年代別で見ると、「ある」「ややある」を合わせた割合は、30代から60代で6割を上回っており、最も高い50代で69.9%となっている。「ある」の割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で34.8%となっており、2番目に高い60代の19.4%よりも15.4ポイント高くなっているものの、「ややある」が80代に次いで2番目に低く、「ある」「ややある」を合わせた割合も2番目に低くなっている。また、50代を境に年代が上がる、または下がるにつれて関心度が低下する傾向にあり、問1の認知度同様、70代以上で顕著となっている。



【問3】あなたはSDGsを意識して、日常で何らかの取組を行っていますか。

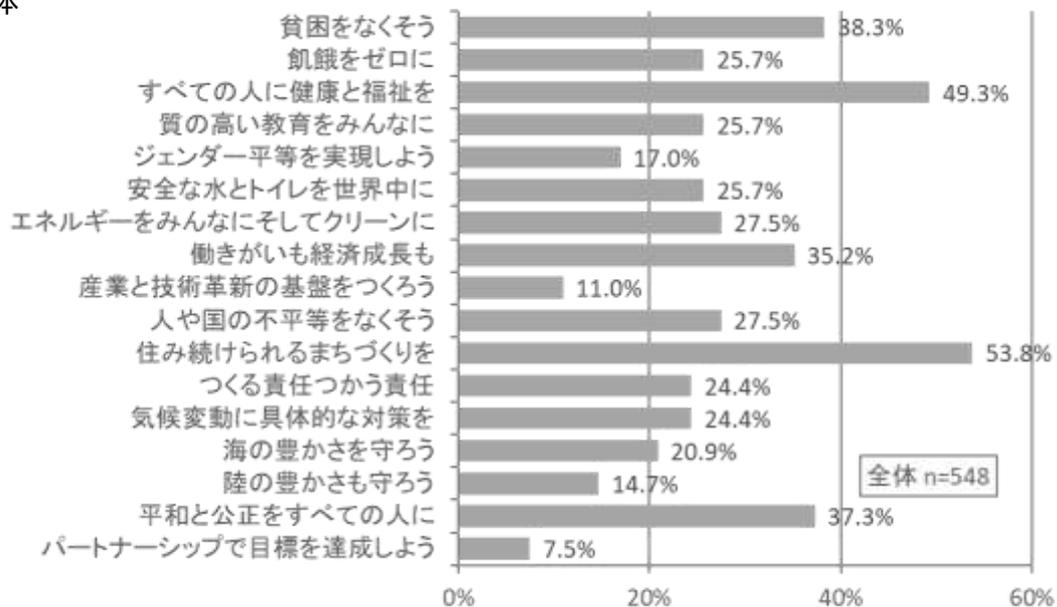
- 全体では、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせた割合が41.0%、「取り組んでいないが、今後取り組みたい」が38.6%となっており、約8割の方が取り組む意欲があると回答している。
- 性別で見ると、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」「取り組んでいないが、今後取り組みたい」を合わせた取り組む意欲のある方の割合は、男性が81.5%、女性が79.6%となっており、ほぼ同じ割合となっている。
- 同様に、取り組む意欲のある方の割合を年代別で見ると、40代から60代で比較的高くなっており、50代では9割を上回っている。なお、50代を境に年代が上がる、または下がるにつれて取り組む意欲のある方の割合は低下しており、問1の認知度、問2の関心度同様、70代以上で顕著となっている。



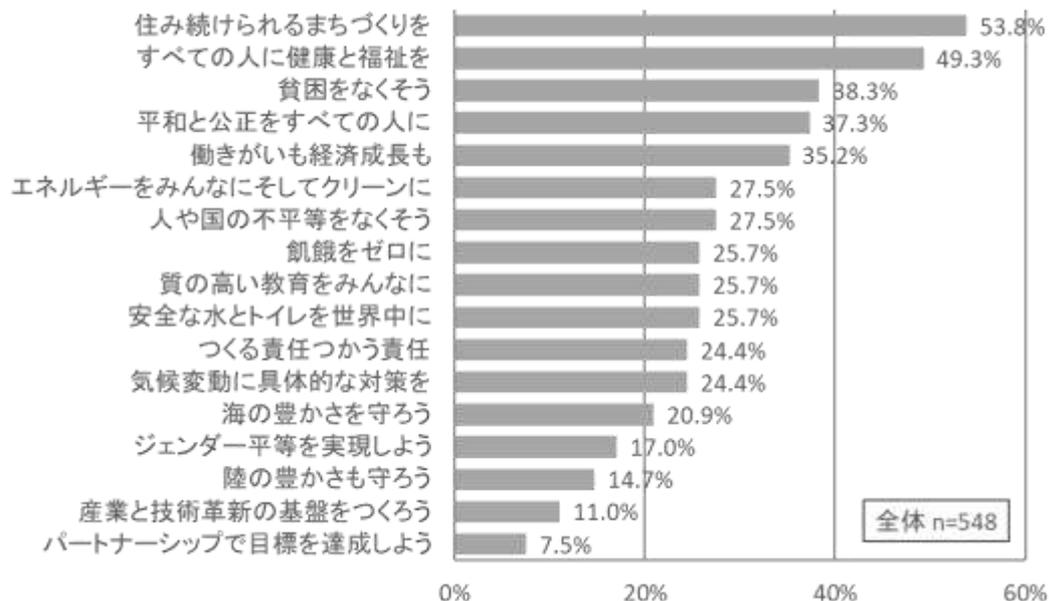
【問4】SDGsの17の目標のうち、「取り組んでいる」、または「取り組みたい」と考えている目標は何ですか。（複数回答可）

- 全体では、割合が高い順に「住み続けられるまちづくりを」が53.8%、「すべての人に健康と福祉を」が49.3%、「貧困をなくそう」が38.3%となっている。一方で、低い順に見ると「パートナーシップで目標を達成しよう」が7.5%、「産業と技術革新の基盤をつくろう」が11.0%、「陸の豊かさも守ろう」が14.7%となっている。
- 年代別で見ると、10代から70代で「住み続けられるまちづくりを」が最も高くなっており、80代でも同率で2番目に高くなっている。30代(同率)と80代では「すべての人に健康と福祉を」が最も高くなっており、80代では70.8%と全ての年代において最も高い割合となっているほか、50代以上でも5割を上回っている。また、40代以下で「働きがいも経済成長も」、10代と20代を合わせた年代、70代以上で「貧困をなくそう」、50代と70代以上で「平和と公正をすべての人に」が4割以上となっている。

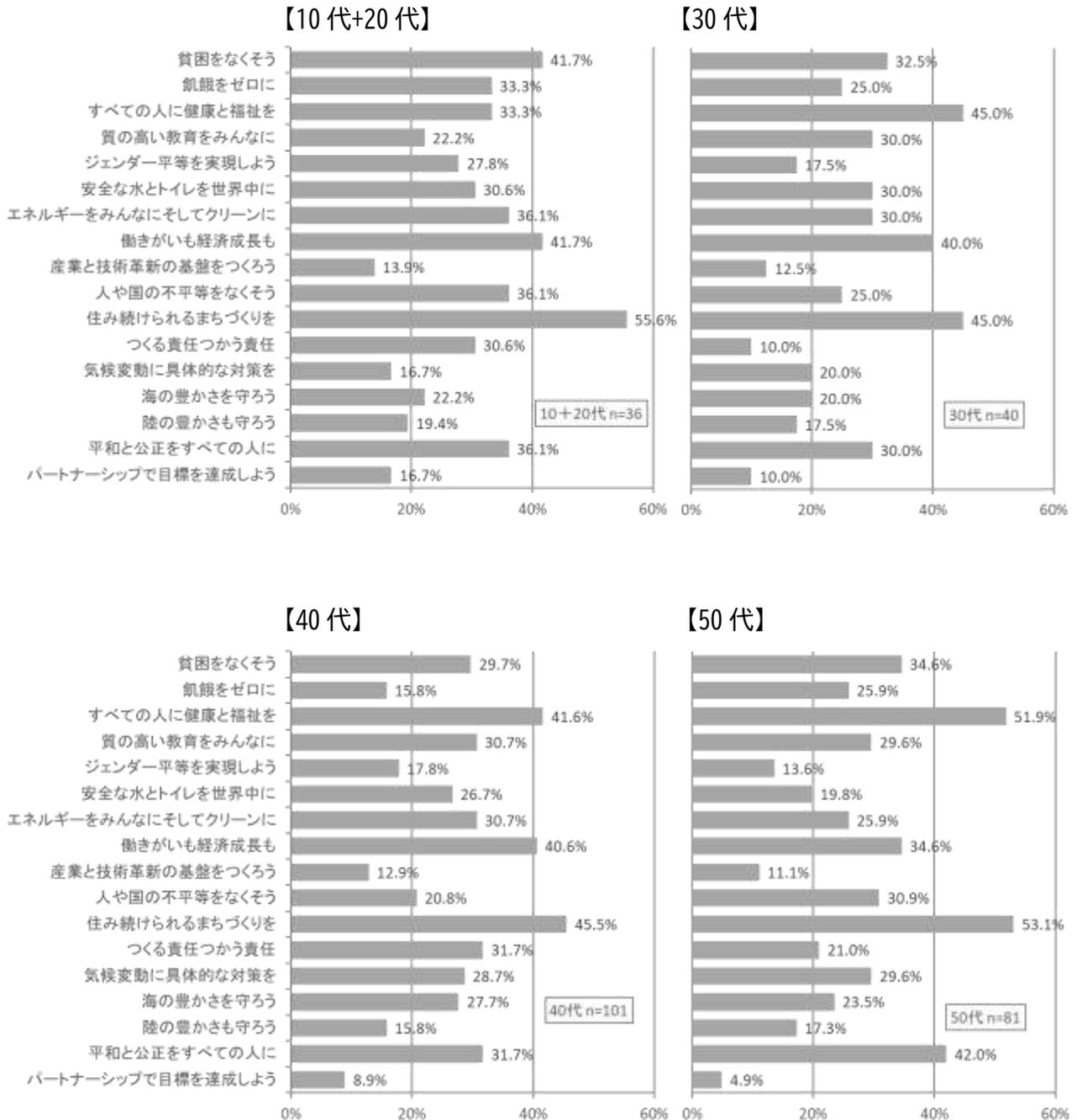
■全体



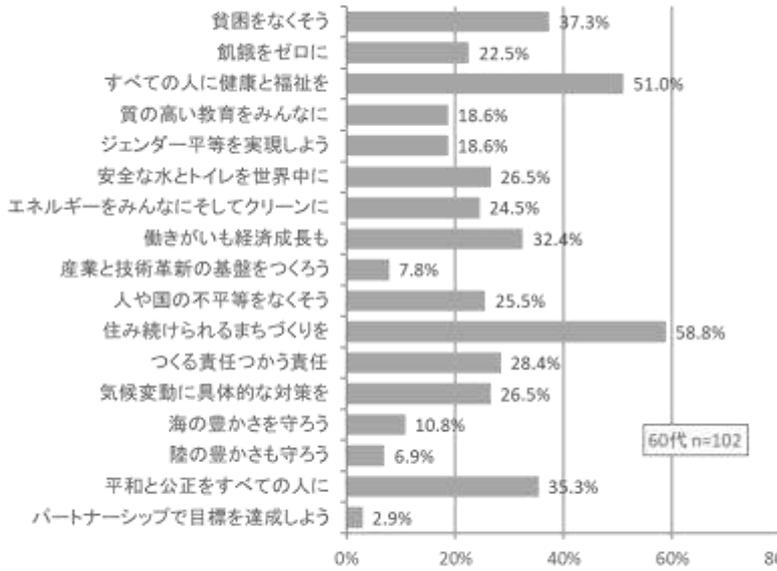
※割合順



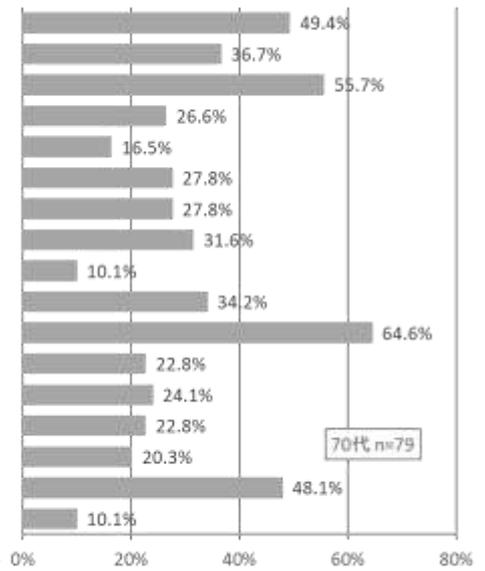
■年代別



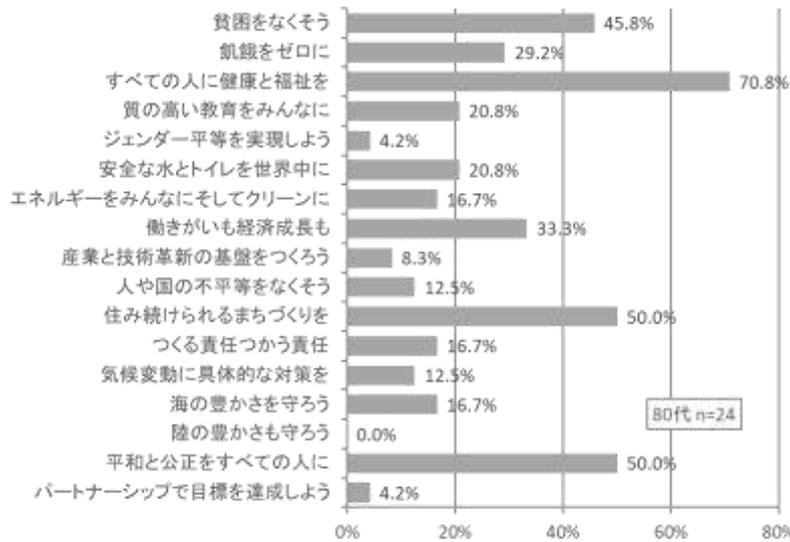
【60代】



【70代】



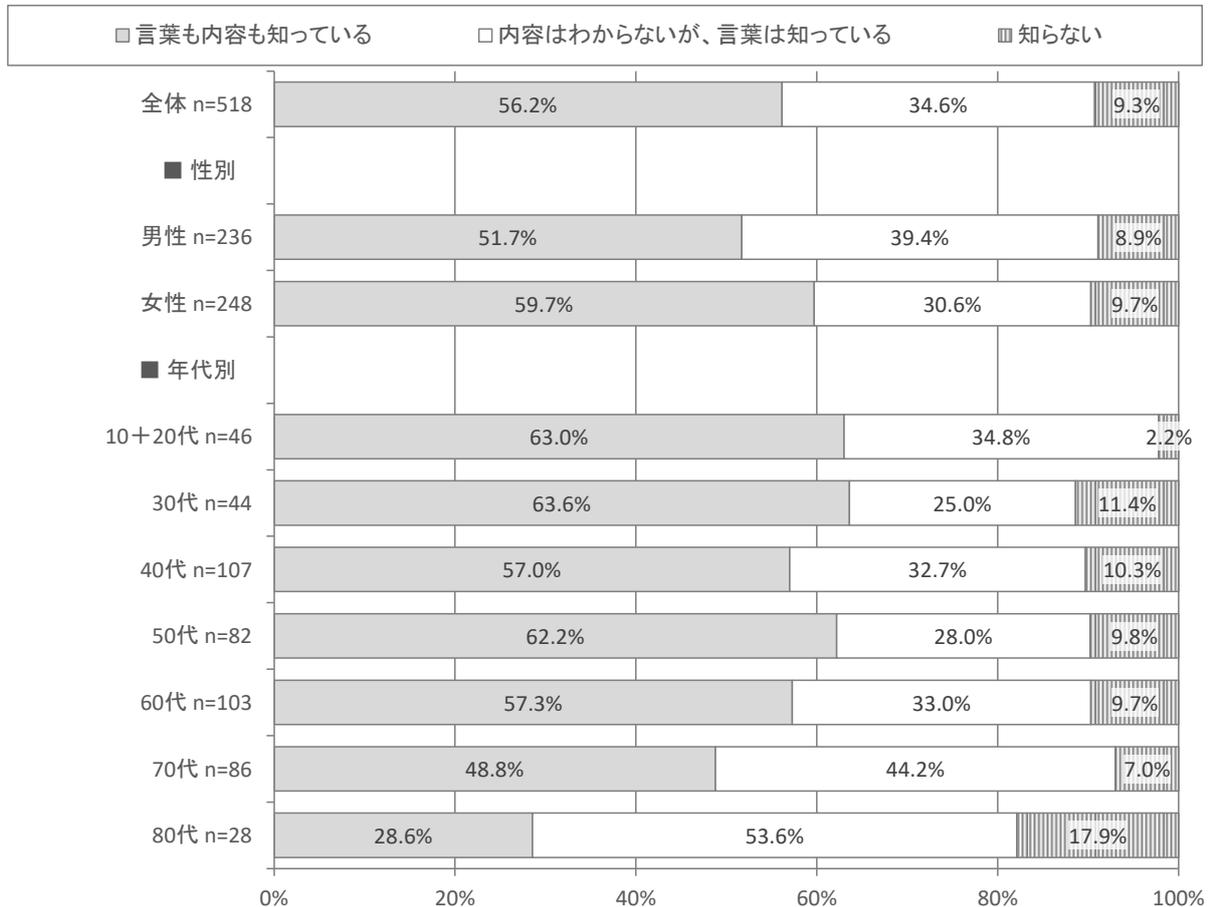
【80代】



【問5】あなたは男女共同参画に関する次の言葉を知っていますか。

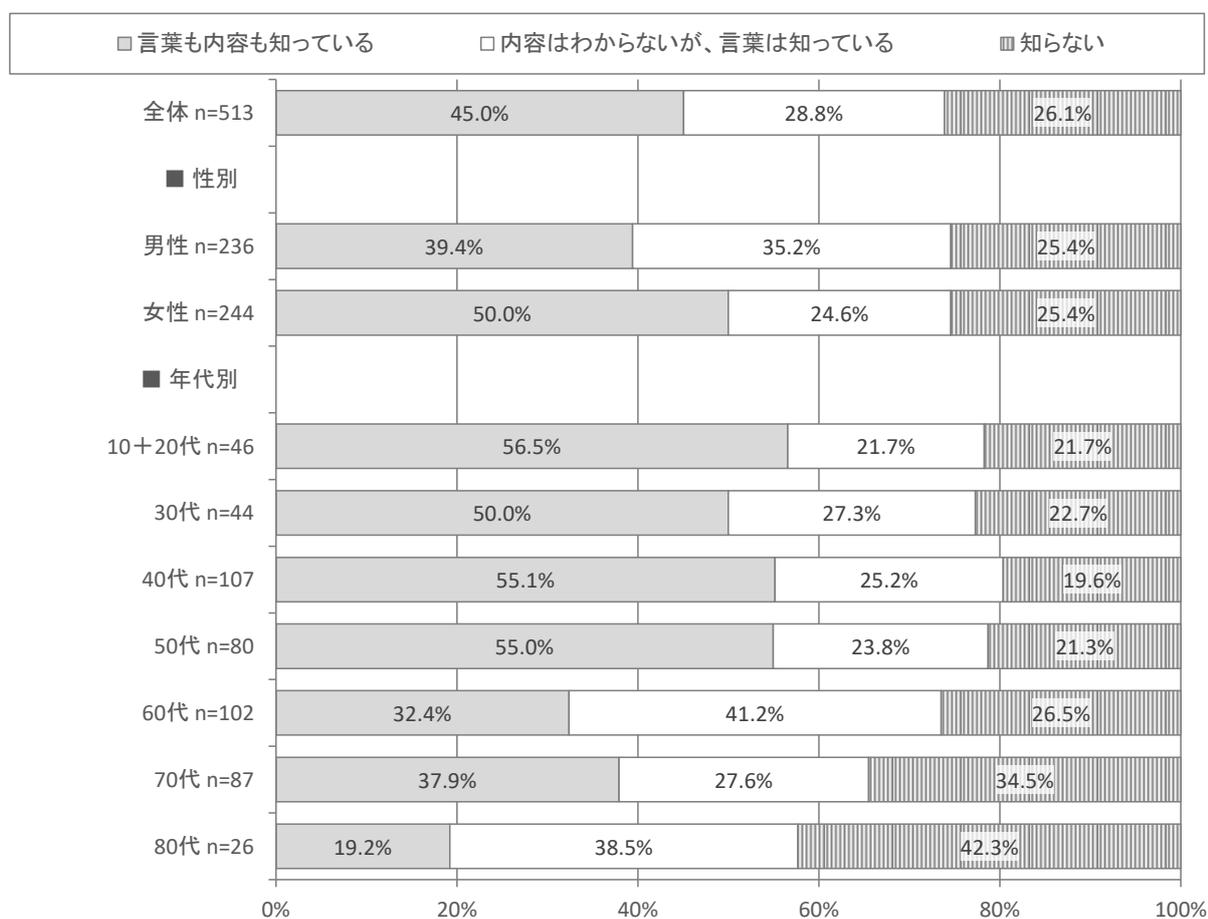
■男女共同参画社会

- 全体では、「言葉も内容も知っている」（以下、「知っている」）「内容はわからないが、言葉は知っている」（以下、「言葉は知っている」）を合わせた割合が90.8%で、9割を上回っている。
- 性別で見ると、「知っている」は女性が、「言葉は知っている」は男性が高くなっているものの、2つを合わせた割合は男性が91.1%、女性が90.3%でほぼ差異はない。
- 年代別で見ると、「知っている」と「言葉は知っている」を合わせた割合は、年代によって構成に違いがあるものの、10代と20代では97.8%とほぼ全ての人認知しているという結果となっており、30代から70代でも9割前後となっている。一方で、80代では「知らない」の割合が17.9%と他の年代に比べやや高くなっている。



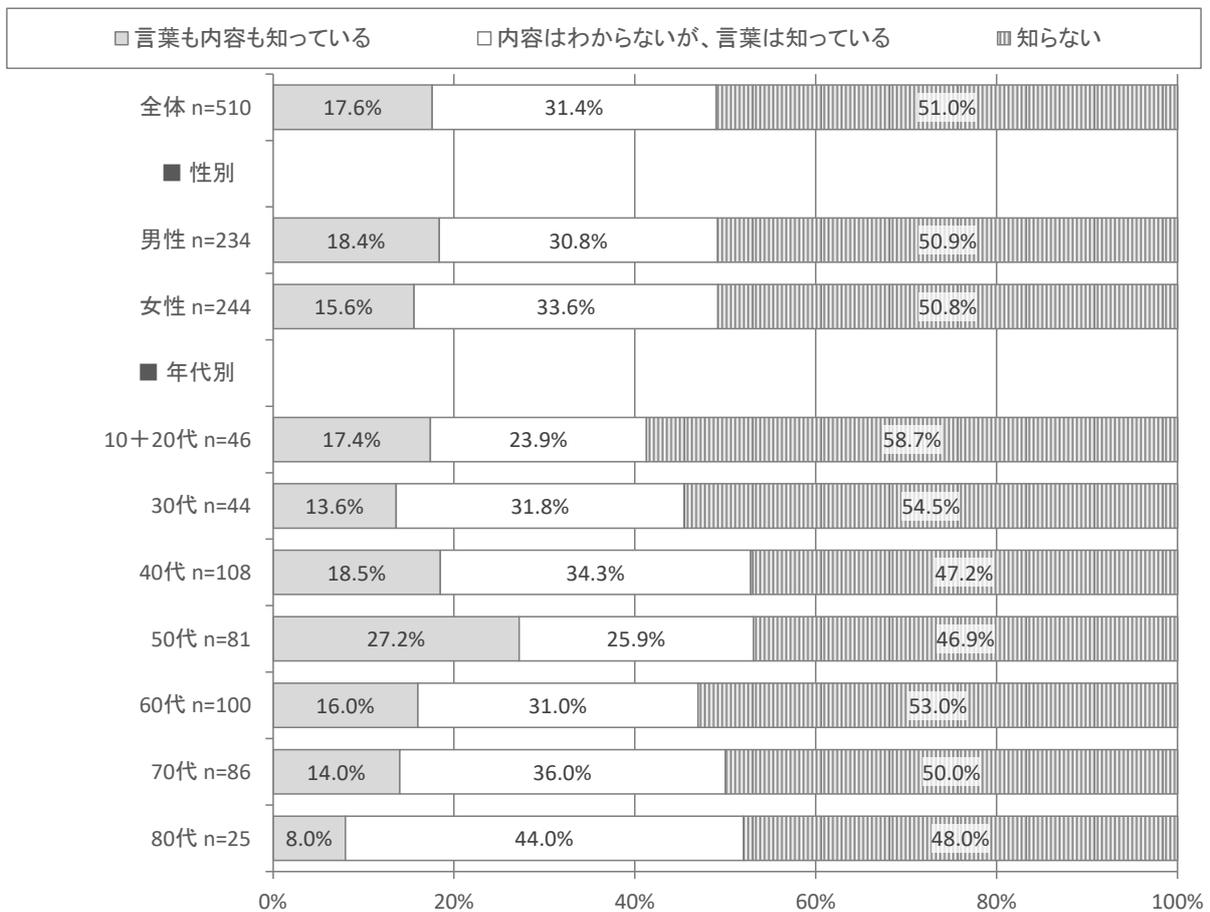
■ワーク・ライフ・バランス

- 全体では、「知っている」「言葉は知っている」を合わせた割合は73.8%で7割を上回っている。
- 性別で見ると、「男女共同参画社会」同様、「知っている」は女性が、「言葉は知っている」は男性が高くなっているものの、2つを合わせた割合は男女ともに74.6%で同じ割合となっている。
- 年代別で見ると、50代以下では「知っている」「言葉は知っている」「知らない」割合にほぼ差はないが、60代を境に年齢が上がるにつれて「知らない」の割合が高くなっており、80代では4割を上回っている。



■ポジティブ・アクション

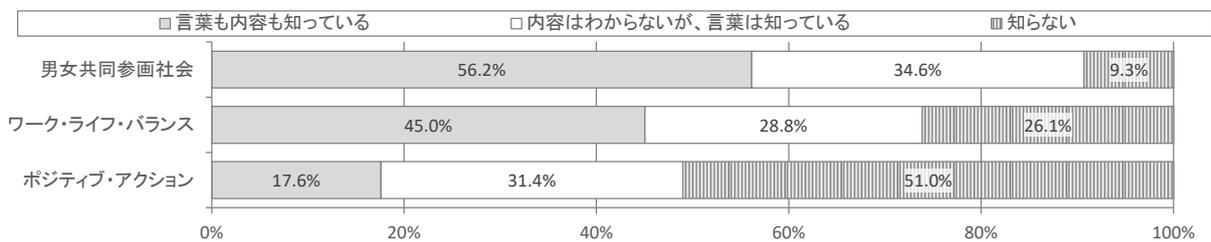
- 全体では、「知らない」が51.0%となっており、半数を超える方が「知らない」という結果になっている。
- 性別で見ると、「知っている」は男性が、「言葉は知っている」は女性がやや高くなっているものの、全体と同様、男女ともに約半数の方が「知らない」という結果になっている。
- 年代別で見ると、「知っている」は50代が27.2%で最も高く、「言葉は知っている」は80代が44.0%で最も高くなっている。2つを合わせた割合は40代、50代、70代以上で5割以上となっており、それ以外の年代では半数以上の方が「知らない」という結果になっている。



■『男女共同参画社会』『ワーク・ライフ・バランス』『ポジティブ・アクション』の単語別における認知度の比較

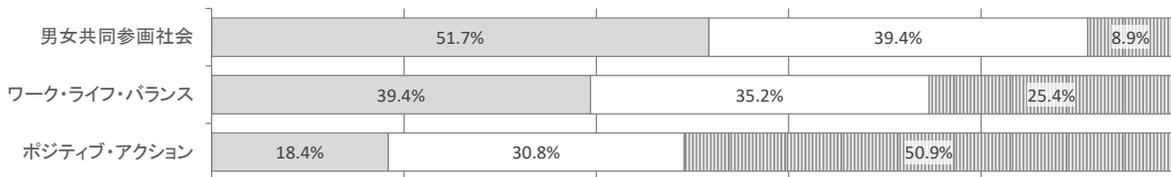
- 全体では『男女共同参画社会』の認知度が最も高く、『ポジティブ・アクション』が最も低くなっている。
- 性別で見ると全体と同様の傾向となっている。
- 年代別で見ると全体や性別と同様の傾向となっているが、『男女共同参画社会』と『ワーク・ライフ・バランス』については、若年層の認知度が比較的高くなっているのに対し、『ポジティブ・アクション』は年代に関わらず認知度が低い傾向にある。

■全体

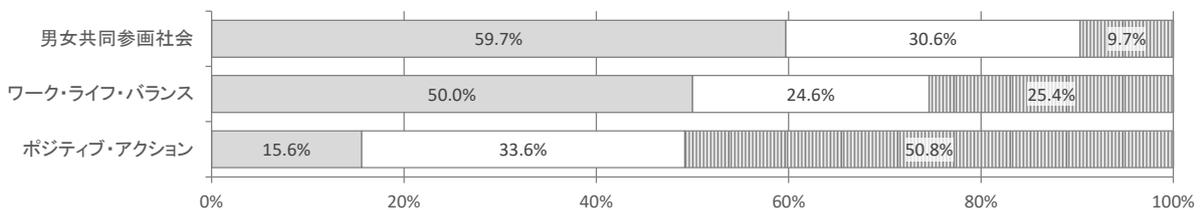


■性別

【男性】

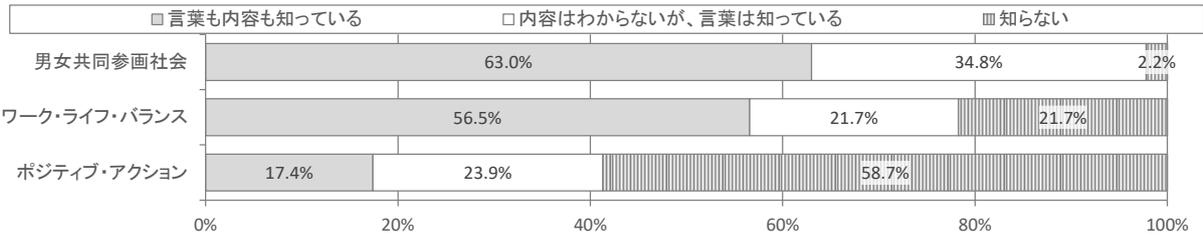


【女性】

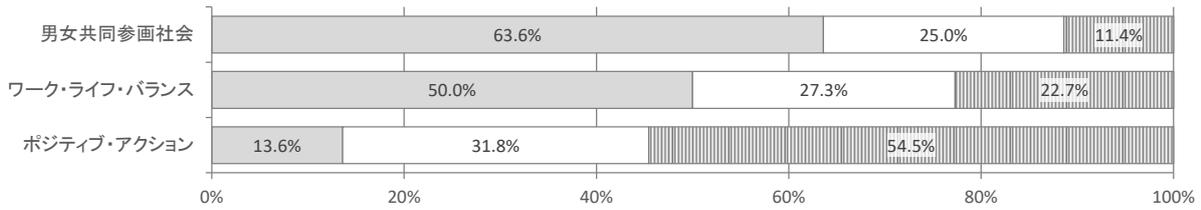


■年代別

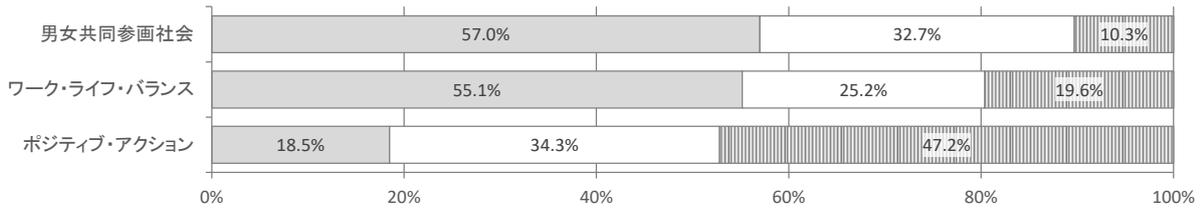
【10代+20代】



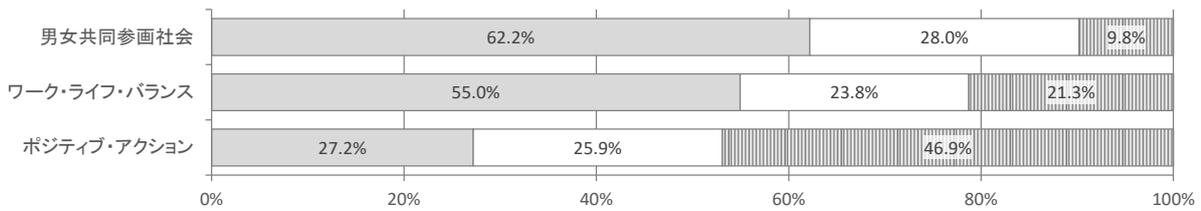
【30代】



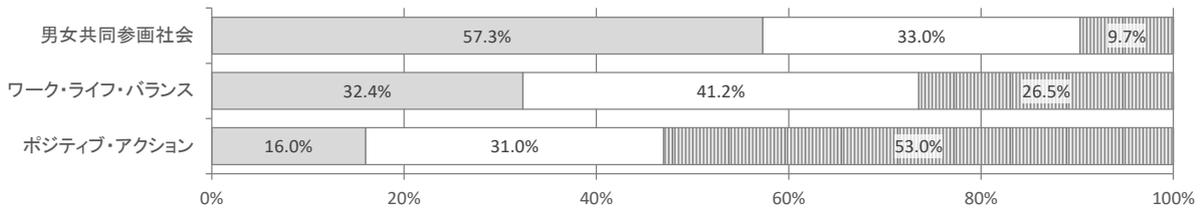
【40代】



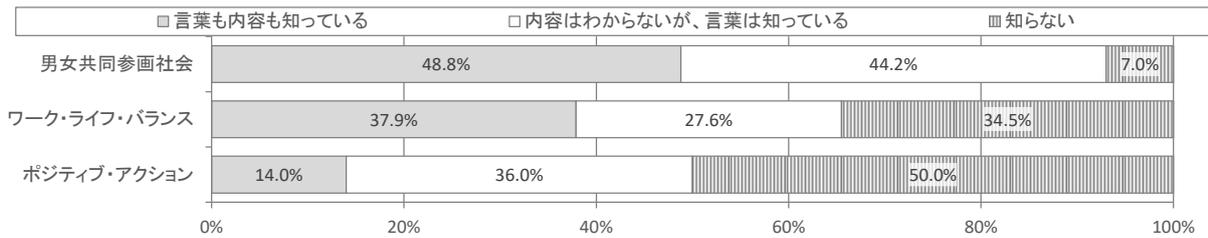
【50代】



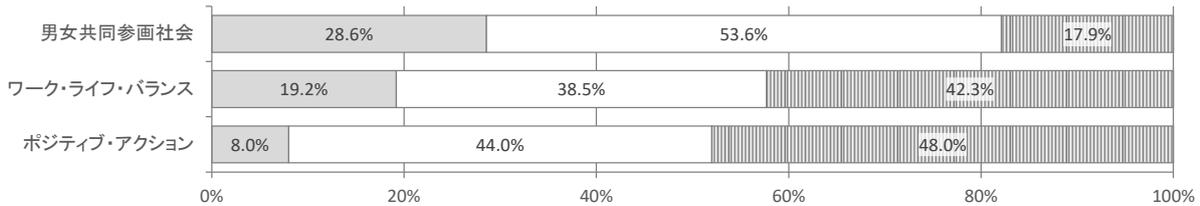
【60代】



【70代】



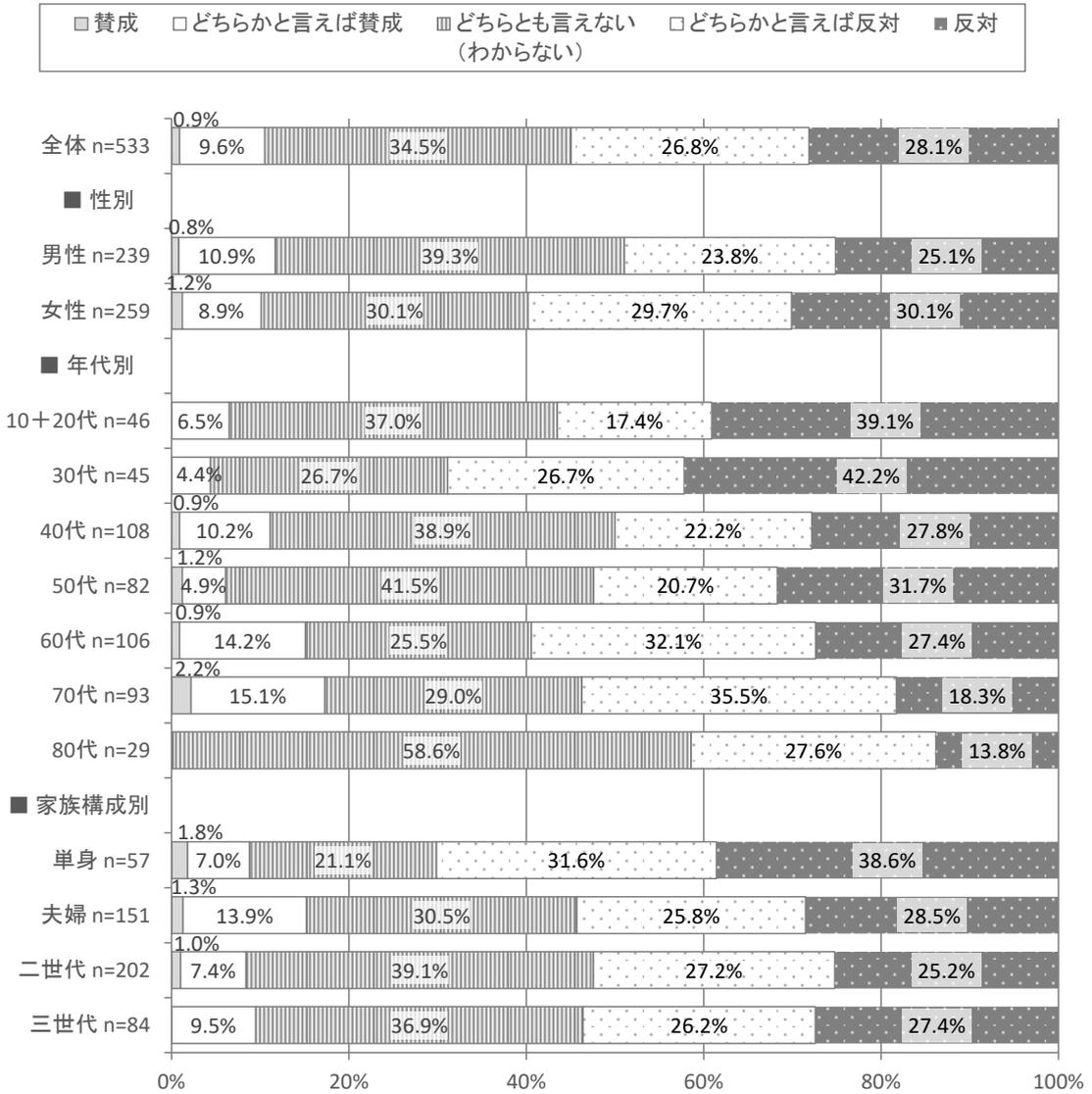
【80代】



【問6】あなたは「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。

- 全体では、「どちらとも言えない（わからない）」が34.5%で最も高いが、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると54.9%で、程度を問わず反対の割合は5割を上回っている。一方で、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は10.5%にとどまっている。
- 性別で見ると、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は、男性が48.9%、女性が59.8%で女性が10.9ポイント高くなっている。一方で、「どちらかと言えば賛成」「どちらとも言えない（わからない）」は男性がやや高くなっているものの、概ね同じ割合となっている。
- 年代別で見ると、30代以下では「反対」が最も高く、約4割の方が「反対」と回答している一方で、70代以上では「反対」の割合が2割以下となっており、差が見られる。40代、50代、80代では「どちらとも言えない（わからない）」、60代と70代では「どちらかといえば反対」が最も高くなっているが、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせると、70代以下では5割を上回っている。なお、80代のみ「どちらとも言えない（わからない）」が58.6%で5割を上回っており、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合よりも高くなっている。
「賛成」は40代から70代のみで見られるが、最も高い70代でも2.2%と低い傾向にあり、「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合は、70代が最も高く、17.3%となっている。また、40代、60代、70代では、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が1割を上回っている。
- 家族構成別で見ると、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は単身世帯が最も高く、7割を上回っている。その他の世帯については、概ね同じような傾向となっているが、夫婦世帯では、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が1割を上回っている。

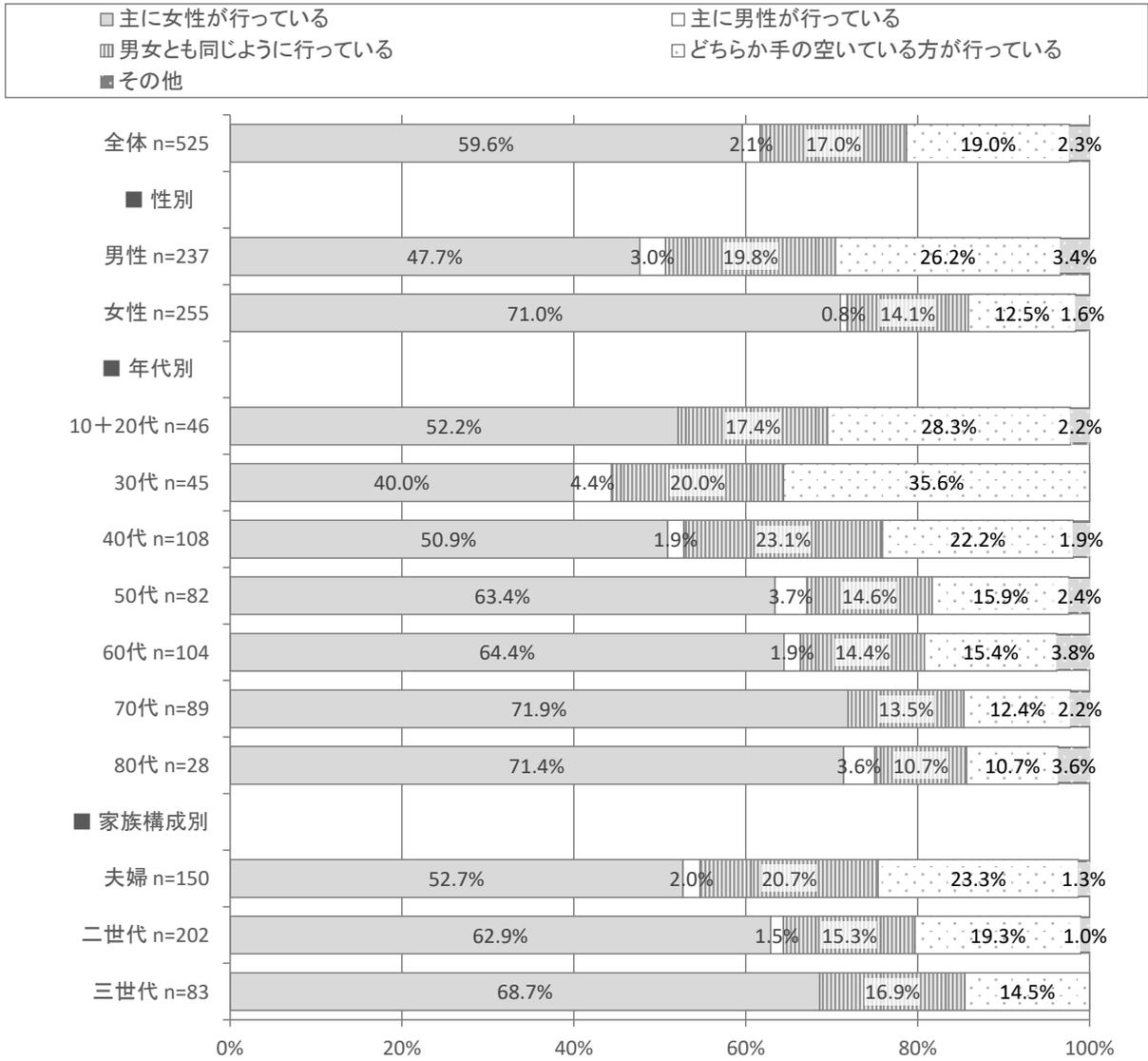
3. 1. 1 個別事業評価「SDGsについて」



【問7】あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。

- 全体では、「主に女性が行っている」（以下、「主に女性」）が59.6%で最も高く、約6割の方が主に女性が行っていると回答している。次いで「どちらか手の空いている方が行っている」（以下、「手の空いている方」）が19.0%、「男女とも同じように行っている」（以下、「男女同じ」）が17.0%となっており、場面に応じた分担を含め、36.0%の方が性別にかかわらず分担していると回答している。一方で、「主に男性が行っている」（以下、「主に男性」）は2.1%で最も低くなっている。
- 性別で見ると、男性、女性ともに「主に女性」が最も高くなっており、男性47.7%、女性71.0%で女性が23.3ポイント高くなっている。また、「男女同じ」「手の空いている方」を合わせた割合は男性が46.0%、女性が26.6%で男性が19.4ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、「主に女性」が全ての年代で4割以上となっており、最も高くなっている。また、「手の空いている方」「男女同じ」を合わせた割合は40代以下で4割を上回っており、30代が55.6%で最も高く、全ての年代の中で唯一「主に女性」を上回っている。なお、性別に関わらず家事等を行っている割合は、年代が上がるにつれて低下する傾向にあり、逆に、「主に女性」の割合は上昇する傾向が見られる。
- 家族構成別で見ると、全家族構成で「主に女性」が5割を超えて最も高くなっており、世代が増えるにつれ、高くなる傾向にある。最も高い三世代世帯では68.7%となっている。一方、「男女同じ」「どちらか手の空いている方」を合わせた割合は世代が増えるにつれ、低くなる傾向にあり、夫婦世帯で44.0%となっている。
なお、単身世帯は必然的に世帯主が家事等を行うことになるため比較から除いている。

3. 1. 1 個別事業評価「SDGsについて」



◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1のSDGsの認知度については、15.5%の方がSDGsという言葉を知らないと回答しており、50代を境に年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向が見られ、80代では54.8%となっている。また、全体の認知度が84.6%となっているのに対し、問2の結果であるSDGsへの関心度は60.3%にとどまっており、特に10代と20代でその差が大きく、問1で「知らない」と回答した方の割合が比較的高かった70代以上のみならず、「知らない」と回答した方が約1割しかいなかった60代以下においても、関心度においては「あまりない」「ない」と回答した方が3割を上回っている。

以上のことから、若い方向けにSDGsの認知度と関心度のギャップを埋めるべく、関心を持っていただけるような取組を実施するとともに、高齢の方については、まずはSDGsを知ってもらうためのきっかけとなる効果的な情報発信等を行っていく。

- 問3のSDGsへの取組状況については、「積極的に取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせた割合が41.0%、「取り組んでいないが、今後取り組みたい」が38.6%となっており、取り組む意欲のある方は79.6%となっている。年代別に見ると、40代から60代では取り組む意欲のある方は約9割となっている一方で、「取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答した、取り組む意欲がない方は、50代を境に年代が上がる、または下がるにつれて割合が高くなり、70代で33.0%、80代では55.2%と、特に70代以上ではその傾向が顕著となっている。

また、全ての年代で「取り組んでいないが、今後取り組みたい」と回答した方が3割を上回っていることから、このような方々にSDGsを意識した取組を促す環境づくりと、取り組む意欲がない方の意識改革を促すきっかけづくりの両面から取組を進めていく。

- 問4のSDGs17の目標については、目標によって取組度に差が生じており、自身にとって身近でないものほど割合が低くなっているものと推察される。こうした目標ごとの差を埋めていくことも、SDGsを推進するうえで重要な視点であることから、広報やホームページを通じ、それぞれの目標を身近な行動に置き換え、具体的な取組を示すなど、啓発に努めてきたところであり、今年度は、取組が見える化する「SDGs取組宣言プロジェクト」を展開している。SDGsがより身近なものとして理解が深まり、主体的な行動につながるよう、引き続き、こうした環境づくりを進めていく。

- 問5の男女共同参画に関する言葉の認知度については、言葉によって認知度や理解度に差があり、一定以上の認知度がある『男女共同参画社会』や『ワーク・ライフ・バランス』については、男性より女性の理解度が高く、年代が上がるにつれて認知度が低下する傾向にあるが、全体の認知度があまり高くなかった『ポジティブ・アクション』については、性別や年代に関わらず認知度、理解度とも低くなっている。

以上のことから、男女共同参画に関する言葉や考え方に対する認知度向上に加え、男性を中心に理解促進に向けた普及啓発に努める。

- 問6の「男性は仕事、女性は家庭」という考え方については、「反対」や「どちらかと言えば反対」と回答した方の割合が高かったが、約3割の方が「どちらとも言えない（わからない）」と回答しており、少ないながらも「賛成」や「どちらかと言えば賛成」と回答した方もいた。問7の家庭での家事等の分担状況については、「主に女性」が約6割を占めており、依然として女性が家事等の担い手となっていることが示唆されている。

また、男女で認識の違いが見られ、「主に女性」は女性が高く、「男女とも同じように行っている」「どちらかの手の空いている方が行っている」を合わせた割合は男性が高くなっている。一方、30代と40代では、「男女とも同じように行っている」「どちらかの手の空いている方が行っている」を合わせた割合が4割を上回っており、特に30代では、55.6%と半数以上の方が性別に関わらず家事等を行っていると回答するなど、男女共同参画の意識が着実に浸透してきていることが伺える。

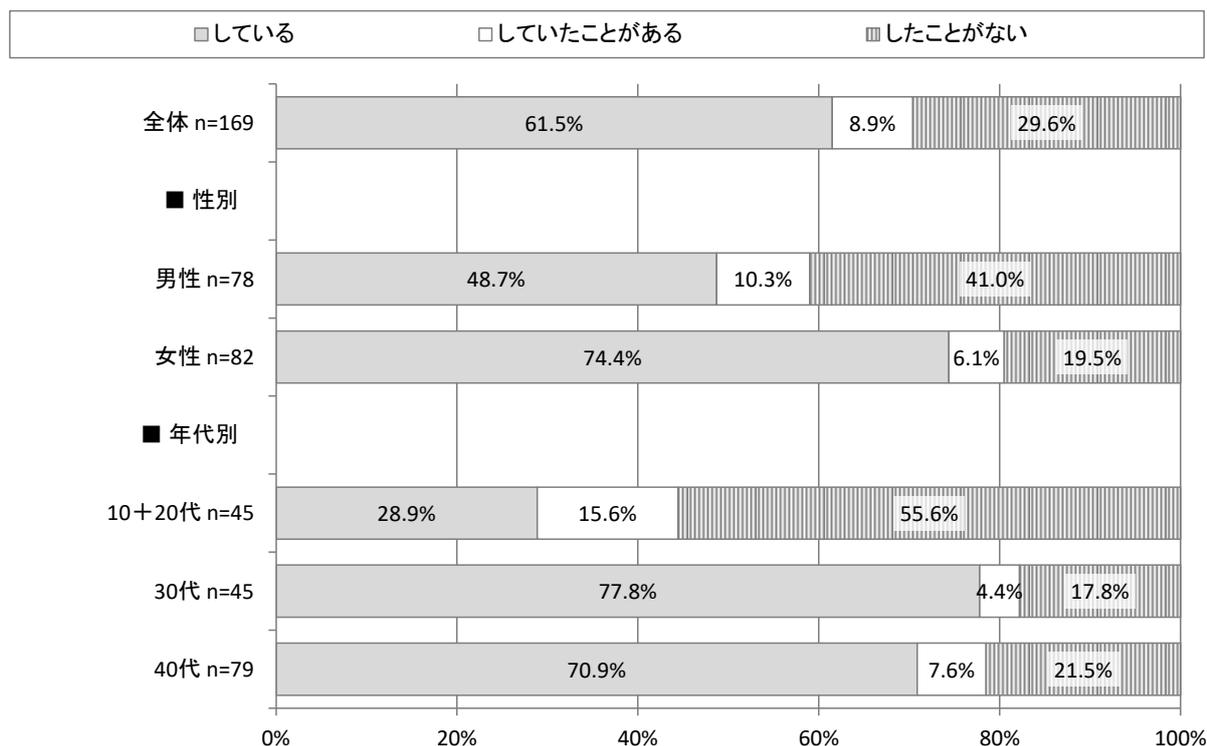
家庭環境によって分担の仕方が異なることは当然であるが、こうした意識がさらに浸透するよう、家庭や職場におけるジェンダーの平等意識の定着や、男性が家事や育児等に取り組みやすい環境づくりをより一層促進していく。

3.1.2 出会い・結婚について(40代以下の方が対象) (企画部総合政策課)

- ◆ 調査目的：現在、我が国において喫緊の課題となっている人口減少・少子化について、政府は「次元の異なる少子化対策」を掲げ、集中的に取り組むこととしている。
- 市でも、結婚や出産・子育ては個人の自由な意思に基づくものであることを大前提に、結婚を希望される方や、子育て世帯への支援強化に取り組んでいる。
- 本調査では、市民の皆さまから出会い・結婚に関するご意見等を伺い、今後、出会い・結婚を希望される方への支援をさらに充実させるための参考とする。

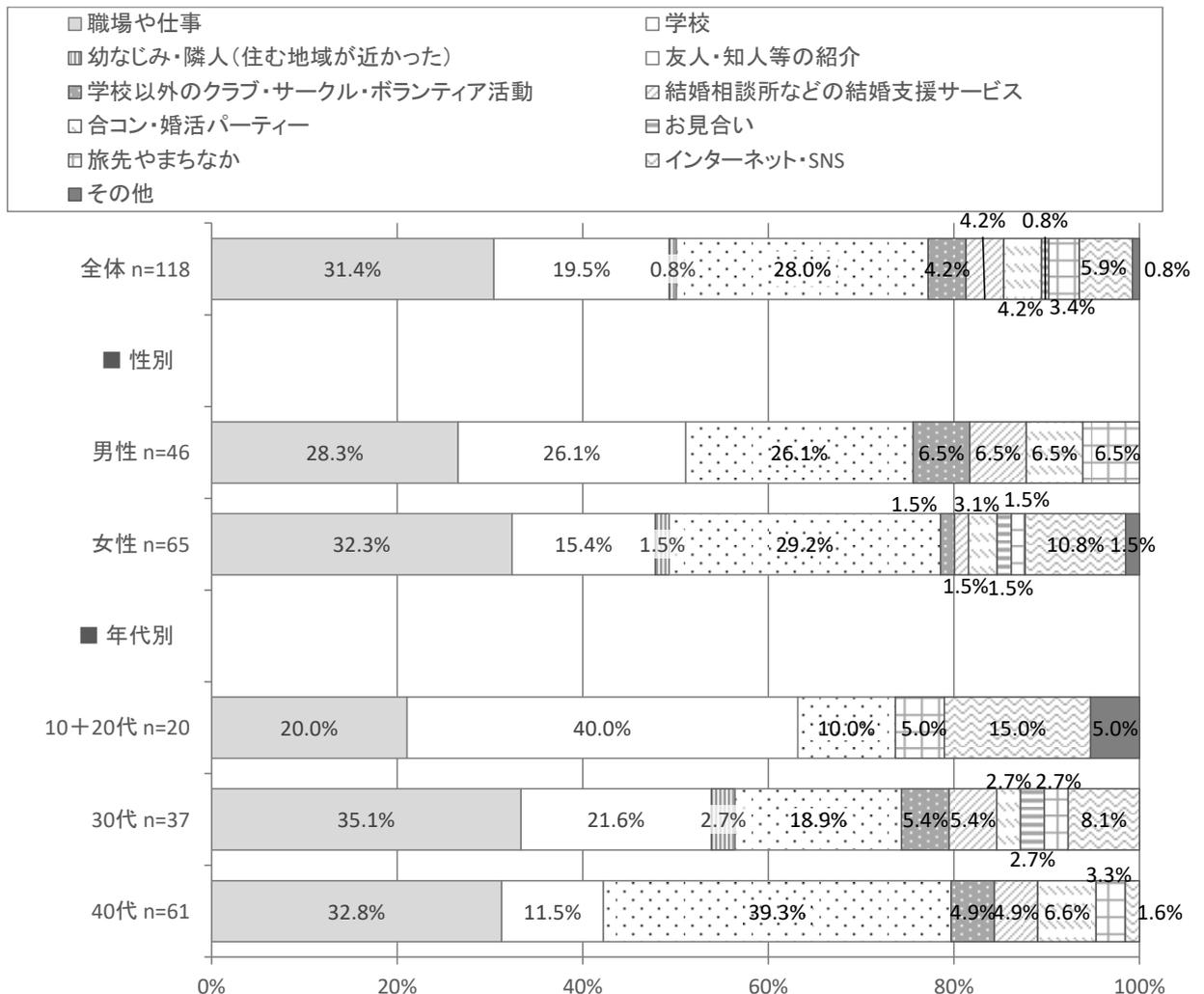
【問1】あなたは、結婚（事実婚含む）または交際していますか。

- 全体では「している」が61.5%、「していたことがある」が8.9%、「したことがない」が29.6%となっており、結婚または交際経験がある方は約7割となっている。
- 性別で見ると、「している」「していたことがある」を合わせた割合は男性が、59.0%、女性が80.5%となっており、女性が21.5ポイント上回っている。
- 年代別で見ると、「している」「していたことがある」を合わせた割合は10代と20代を合わせた年代が44.5%、30代が82.2%、40代が78.5%となっている。



【問2】直近の結婚（交際）相手の方との出会いのきっかけは何ですか。
 （問1で「1. している」「2. していたことがある」と回答した方）

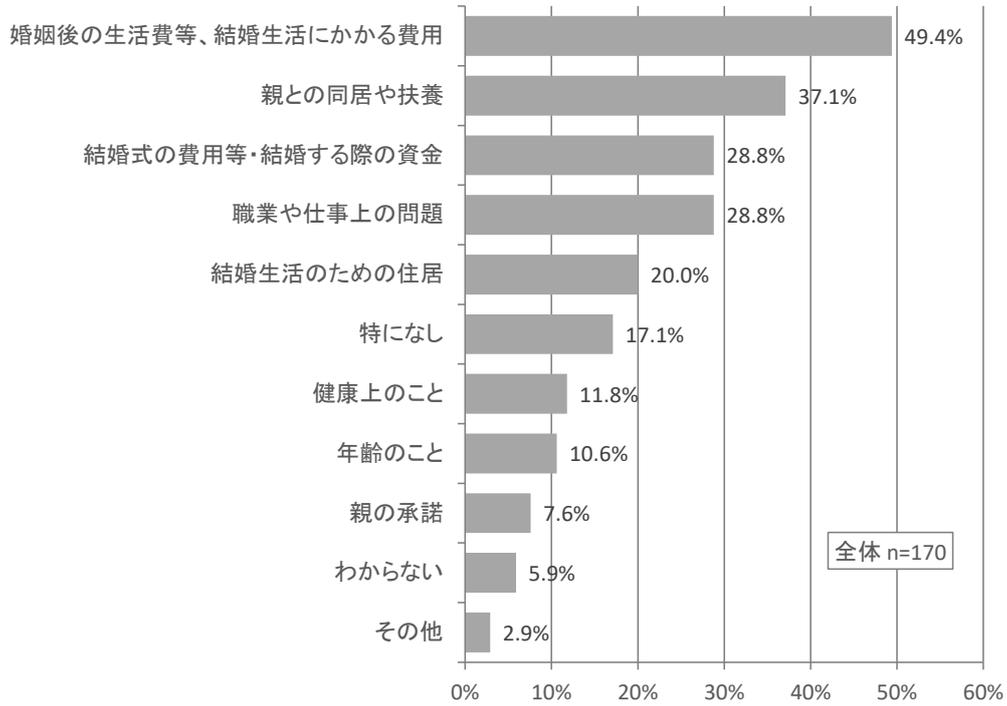
- 全体では、「職場や仕事」の割合が31.4%で最も高く、次いで「友人・知人等の紹介」が28.0%、「学校」が19.5%となっている。また、近年増加している「インターネット・SNS」は5.9%で4番目に高くなっている。その他の項目は全て5%を下回っている。
- 性別で見ると、割合の差はあるものの、男性、女性ともに上位3項目は全体と同様だが、「学校」は男性26.1%、女性15.4%で男性が10.7ポイント高くなっている。また、割合は大きくないものの「学校以外のクラブ・サークル・ボランティア活動」「結婚相談所などの結婚支援サービス」「合コン・婚活パーティー」「旅先やまちなか」の4項目については男性が女性を上回っており、差違が生じている。なお、「インターネット・SNS」と回答した方は全員女性となっている。
- 年代別で見ると、10代と20代を合わせた年代では「学校」が40.0%、30代では「職場や仕事」が35.1%、40代では「友人・知人等の紹介」が39.3%でそれぞれ最も高くなっている。なお、「学校」は年代が下がるにつれて、「友人・知人等の紹介」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「インターネット・SNS」も年代が下がるにつれて割合が高くなっており、10代と20代を合わせた年代では15.0%で3番目に高く、30代では8.1%で4番目に高くなっている。



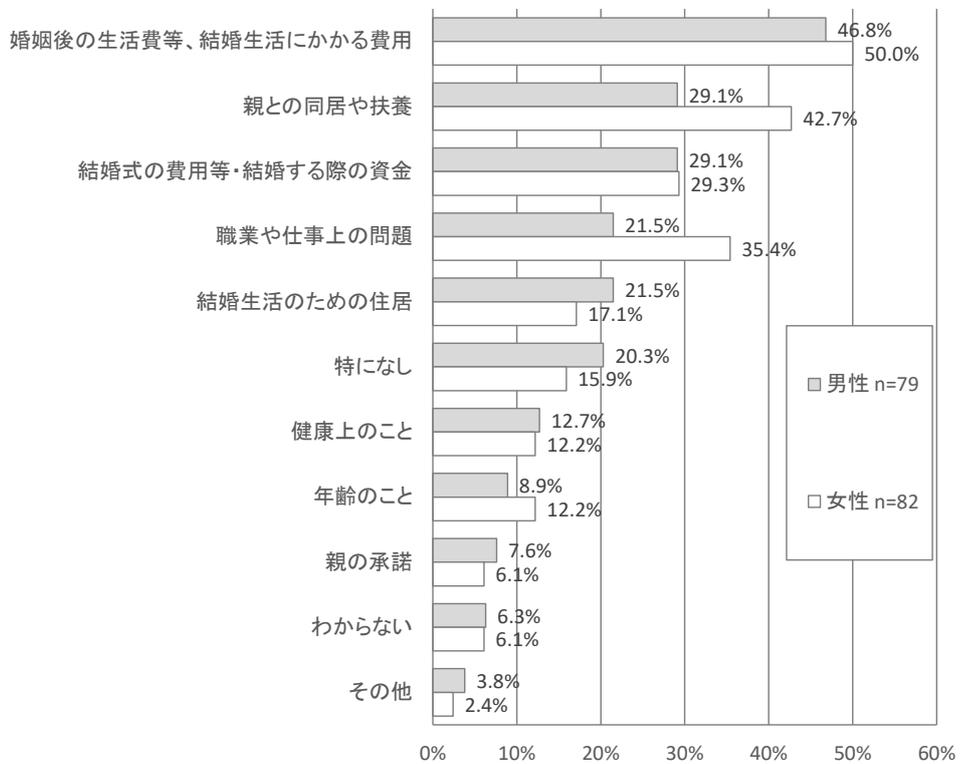
【問3】結婚にあたって障害となるもの、または、障害となると考えられるものは何ですか。
(複数回答可)

- 全体では、「婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用」が49.4%で最も高く、次いで「親との同居や扶養」が37.1%、「結婚式の費用等・結婚する際の資金」と「職業や仕事上の問題」が同率の28.8%となっている。
- 性別で見ると、男女とも「婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用」の割合が最も高く、男女とも上位項目は全体と同じ傾向が伺えるが、「親との同居や扶養」と「職業や仕事上の問題」については、女性が男性を大きく上回る一方で、「結婚生活のための住居」「特になし」は男性が高くなっているなど、性別による差異が確認できる。
- 年代別で見ると、概ね全体と同じ傾向が伺えるものの、10代と20代では「親との同居や扶養」が、40代で「結婚式の費用等・結婚する際の資金」が他の年代に比べて大幅に低くなっている。また、30代では、「結婚生活のための住居」が、40代では「特になし」「健康上のこと」「年齢のこと」が、10代では「わからない」が他の年代より高い割合となっている。
- 結婚または交際経験別で見ると、すべての属性で「婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用」の割合が最も高く、「している」「していたことがある」層では「親との同居や扶養」「職業や仕事上の問題」が、「ない」層では「結婚式の費用等・結婚する際の資金」「職業や仕事上の問題」が続いている。他の属性と比べると、「している」層では「親との同居や扶養」「親の承諾」が他の属性よりも高く、同様に「していた」層では「職業や仕事上の問題」「健康上のこと」が高くなっている。また、「ない」層では、「親との同居や扶養」が他の属性を大きく下回っている一方で、「結婚式の費用等・結婚する際の資金」「わからない」が高くなっている。

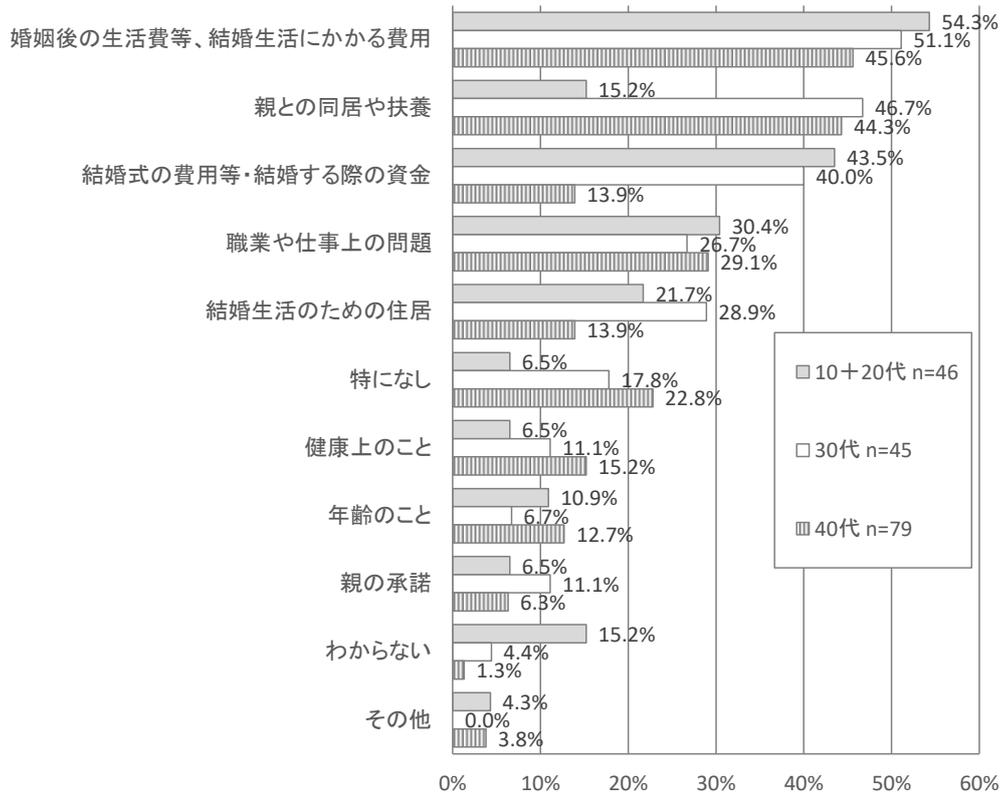
■全体



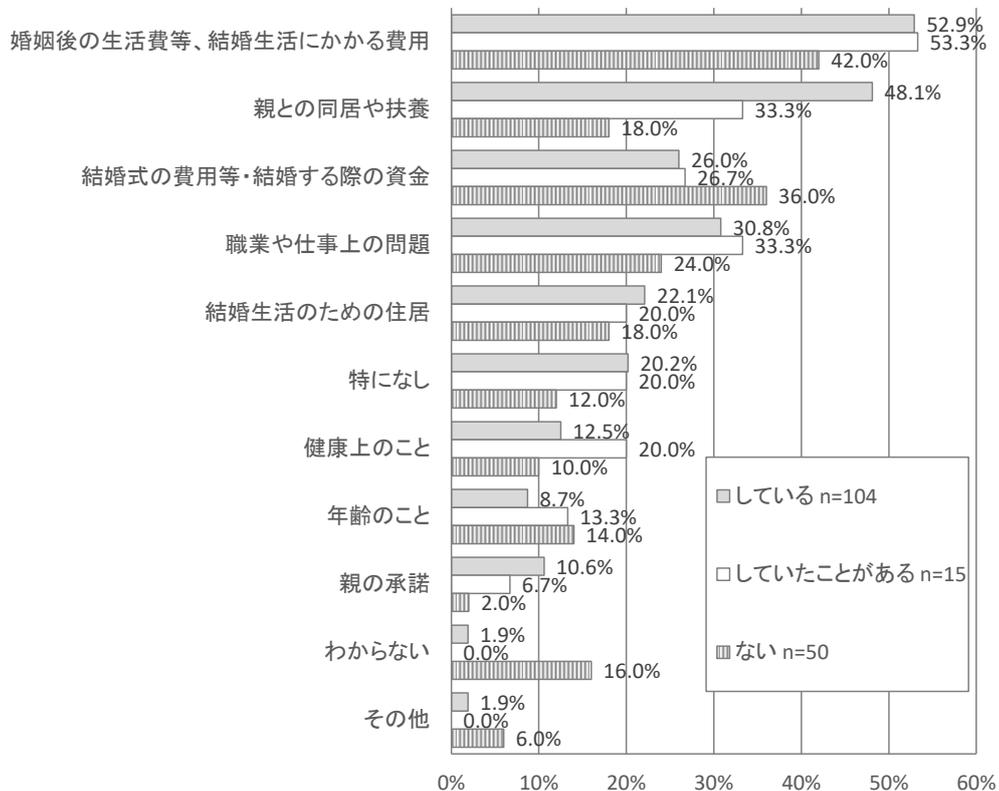
■性別



年代別



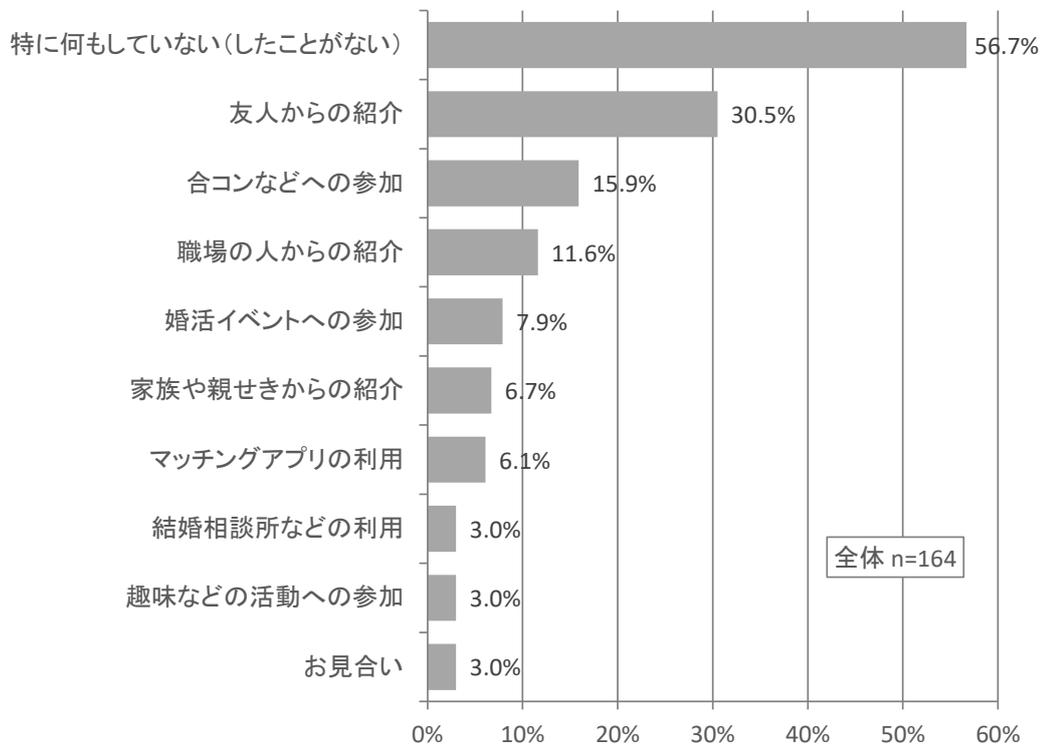
結婚または交際経験別



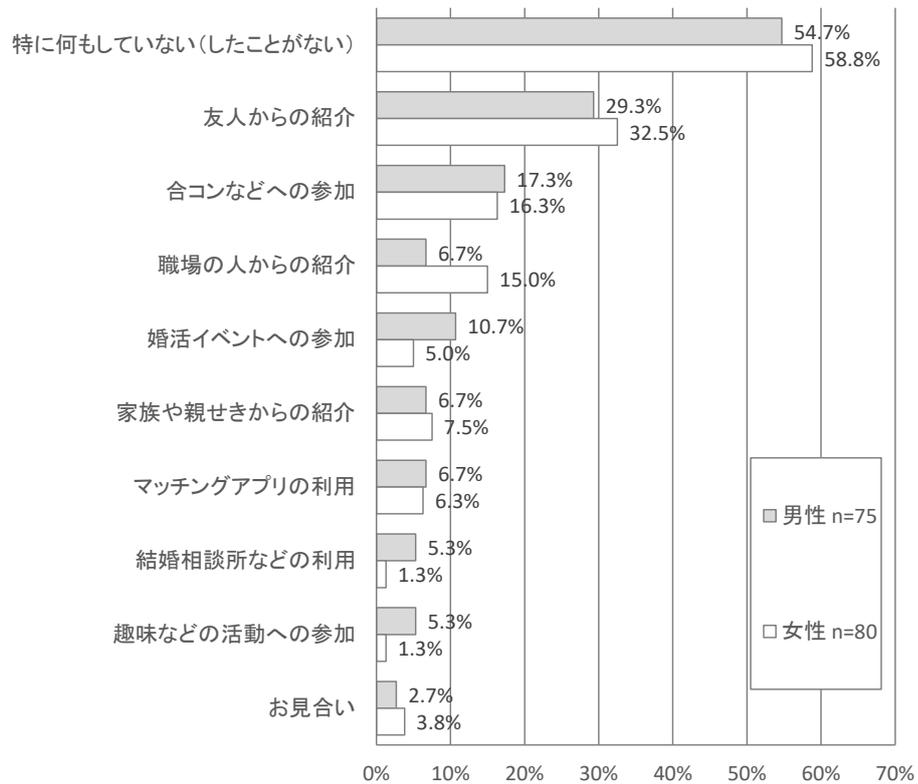
【問4】これまでやってきたことのある婚活はありますか。（複数回答可）

- 全体では、「特に何もしていない（したことがない）」が56.7%で最も高く、「友人からの紹介」が30.5%、「合コンなどへの参加」が15.9%と続いている。
- 性別で見ると、上位3項目は全体と同様であるが、「特に何もしていない（したことがない）」「友人からの紹介」「職場の人からの紹介」「家族や親せきからの紹介」は、男性に比べて女性がやや高くなっている。反対に、「合コンなどへの参加」「婚活イベントへの参加」「結婚相談所などの利用」「趣味などの活動への参加」は男性が高くなっている。
- 年代別で見ると、10代と20代では「特に何もしていない（したことがない）」が75.0%、「マッチングアプリの利用」が11.4%と他の年代よりも高く、同様に40代では「友人」や「職場の人」「家族や親せき」からの紹介が高くなっている。
- 結婚または交際経験別で見ると、「している」層では「友人からの紹介」「合コンなどへの参加」「職場の人からの紹介」「婚活イベントへの参加」について他の属性より高く、同様に「していたことがある」層では、「結婚相談所などの利用」「趣味などの活動への参加」が高くなっている。

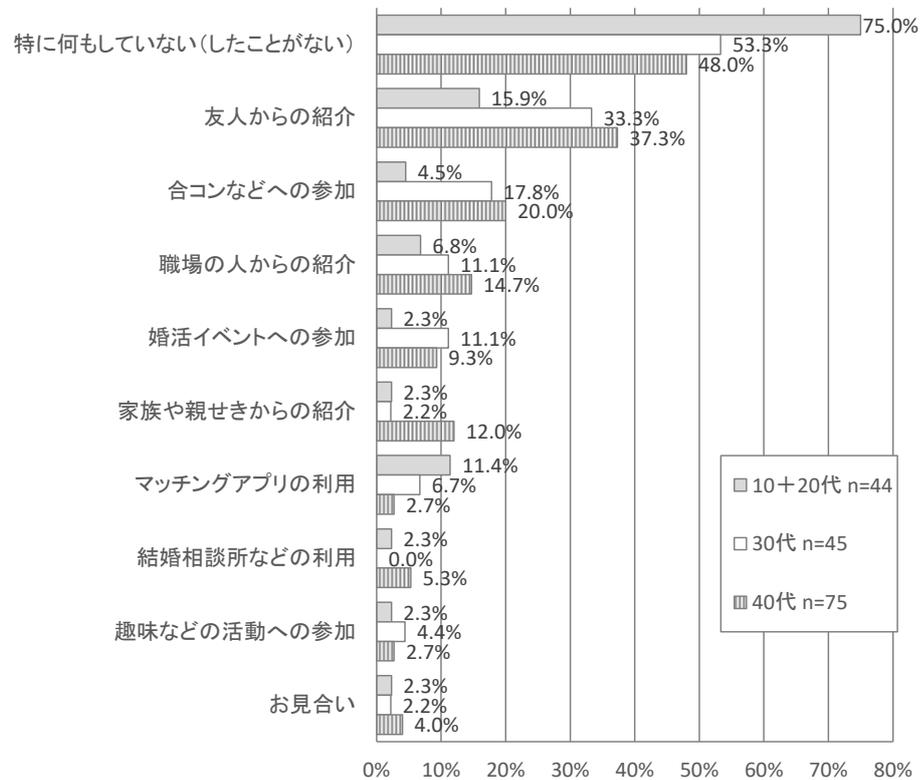
■全体



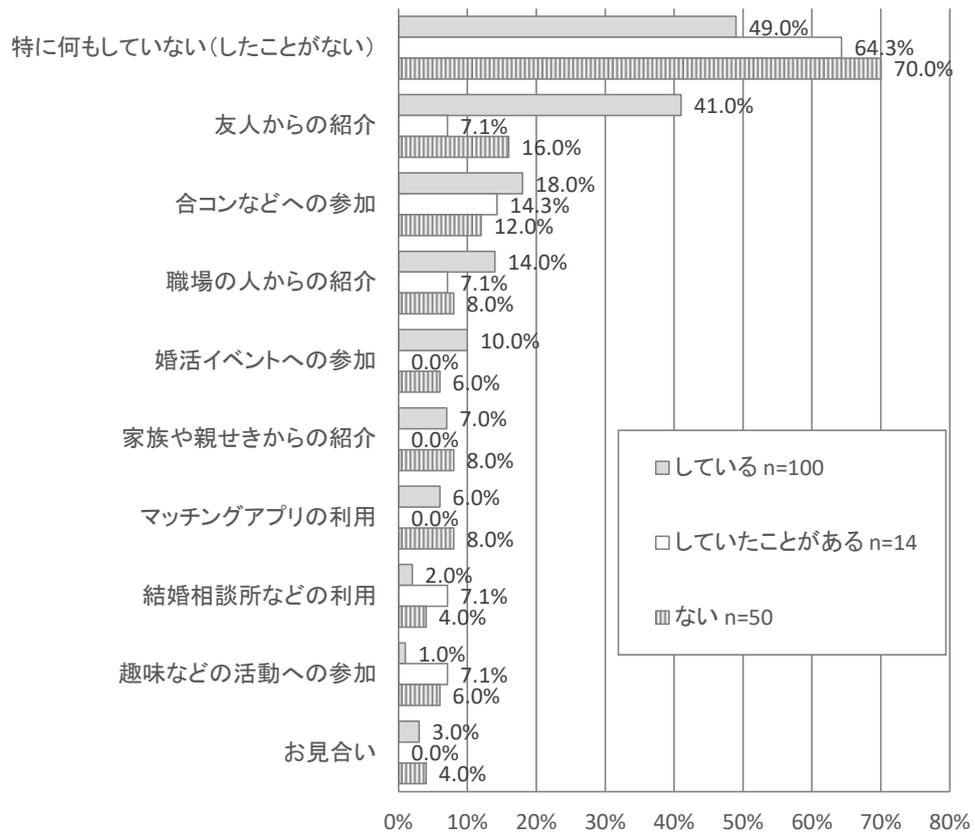
■性別



■年代別



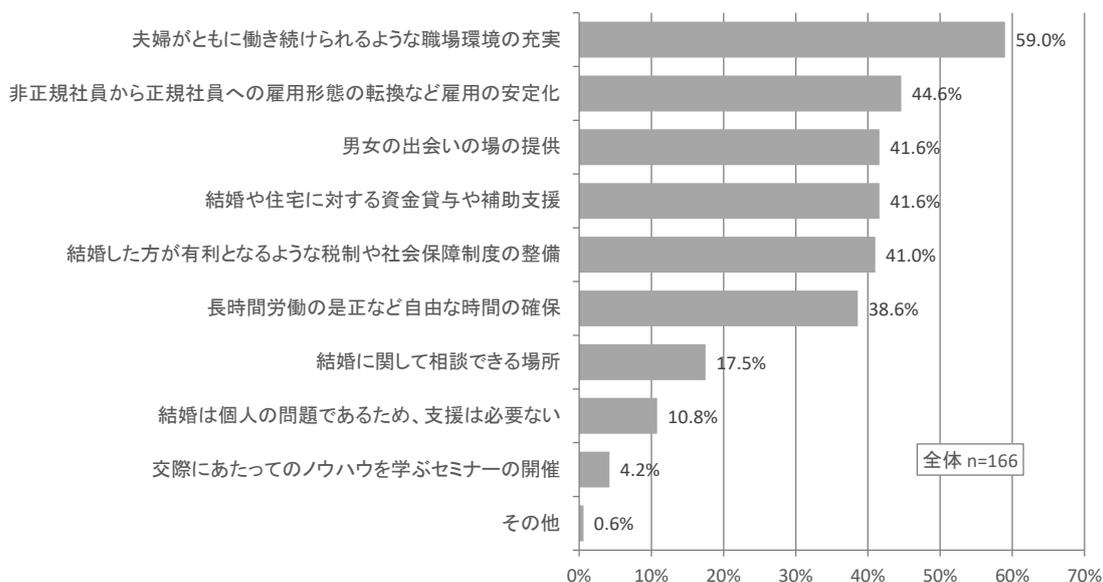
■結婚または交際経験別



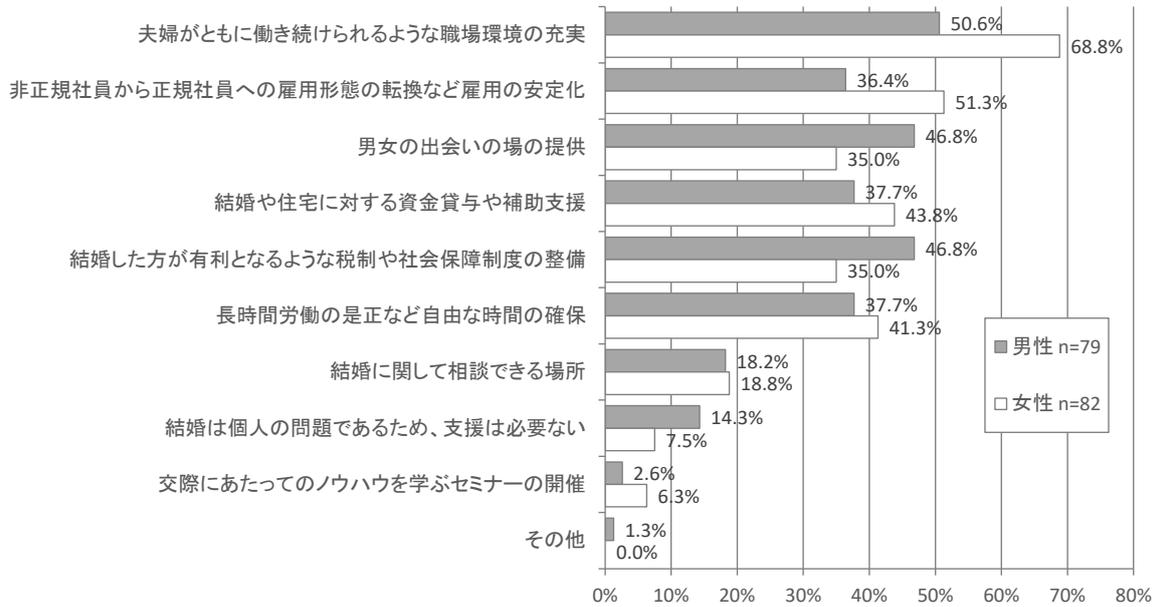
【問5】 出会い・結婚に関する支援で必要だと思うものは何ですか。（複数回答可）

- 全体では、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が59.0%で最も高く、次いで「非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化」が44.6%、「男女の出会いの場の提供」と「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が同率で41.6%となっている。また、「結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない」は10.8%となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が最も高くなっているが、男性の50.6%に対し、女性は68.8%と、18.2ポイント高くなっており、「非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化」「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」「長時間労働の是正など自由な時間の確保」でも、女性が男性を上回っている。一方で、「男女の出会いの場の提供」「結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備」「結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない」については、男性が女性を上回っている。
- 年代別で見ると、10代と20代、30代では「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が、40代では「非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化」が最も高くなっている。他の年代と比較すると、10代と20代では、「長時間労働の是正など自由な時間の確保」が、30代では「結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備」が、40代では「結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない」がそれぞれ高くなっている。
- 結婚または交際経験別で見ると、すべての属性で「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が最も高くなっている。他の属性と比較すると、「している」層では「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」「結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備」が、「していたことがある層」では「男女の出会いの場の提供」が、「ない」層では「長時間労働の是正など自由な時間の確保」が他の属性より高くなっている。

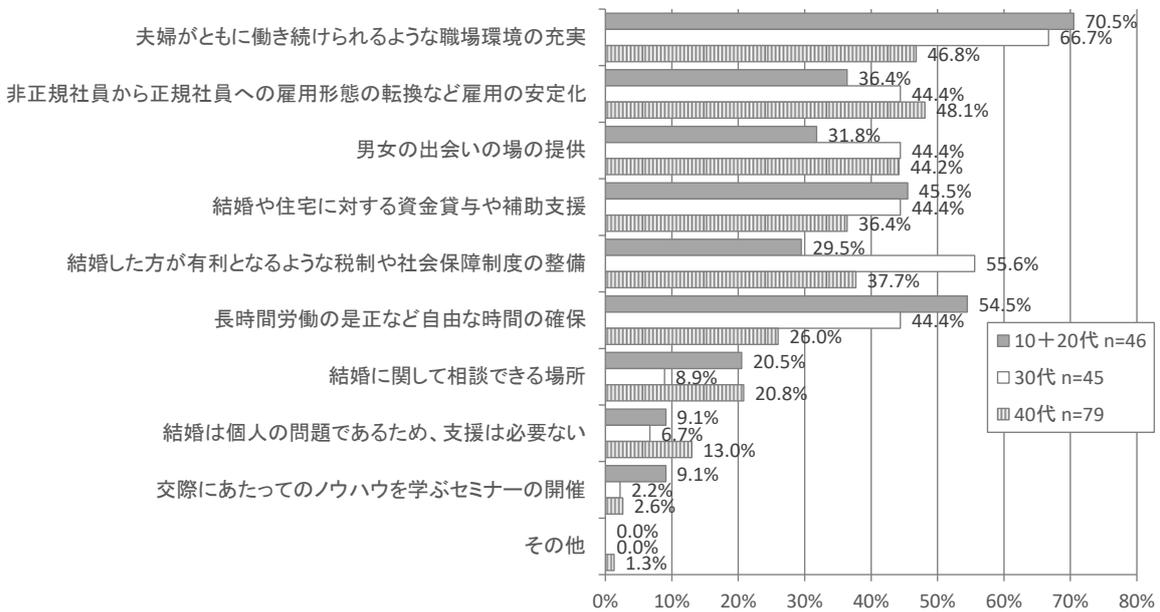
■全体



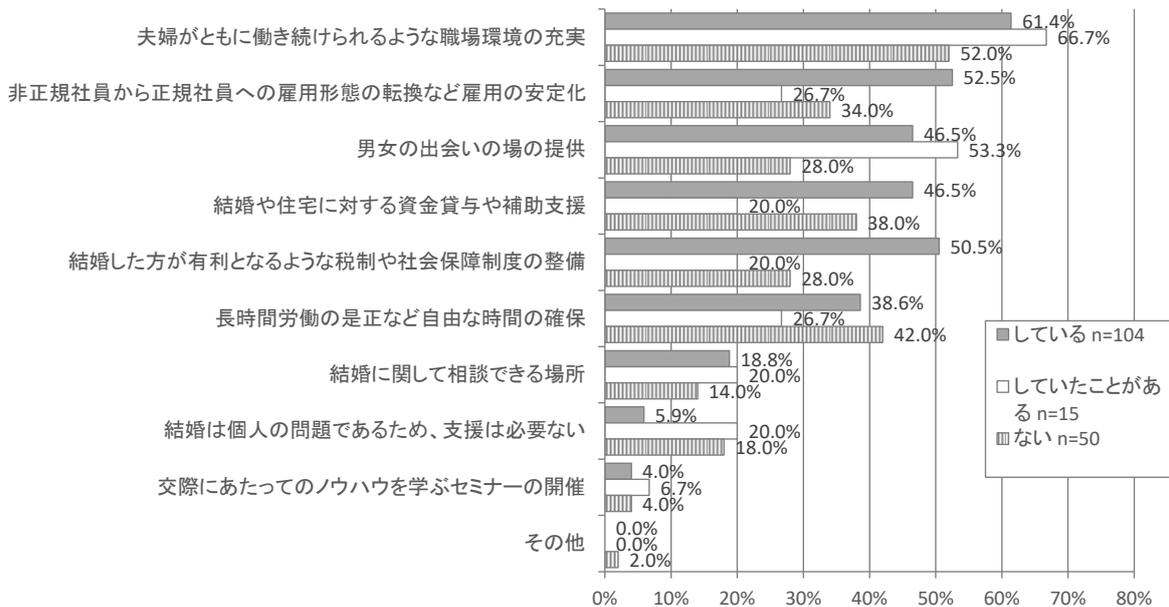
■性別



■年代別



■結婚または交際経験別



◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 結婚相手または交際相手との出会いのきっかけについて、全体では「職場や仕事」「友人・知人等の紹介」「学校」の上位3項目で約8割を占めているが、その一方で、年代別に見ると、若い年代ほど「インターネット・SNS」の割合が高くなっており、10代と20代で15.0%となっている。コロナ禍をきっかけに大きく変化する個人の価値観や、デジタル化の急速な進展などを踏まえれば、こうした出会いのニーズがますます高まっていくことが見込まれることから、AIマッチングを提供するあきた結婚支援センターへの登録料助成をはじめ、出会いの場の変化にあわせて支援内容の充実を検討していく。
- 結婚にあたり障害となる、あるいは障害となると考えられるものを伺ったところ、「婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用」が属性を問わず最も多く挙げられており、「結婚式の費用等・結婚する際の資金」「結婚生活のための住居」も上位となっている。また、出会い・結婚に関して必要な支援として、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が上位に挙げられるなど、結婚資金や結婚後の生活にかかる費用、住居の確保などに対するニーズが高い。現在実施している結婚新生活支援事業は、新婚世帯の新生活を応援するため、新居の取得費用や賃貸物件の家賃等を支援するもので、住居の確保に加え、支援を通じ間接的に結婚に伴う経済的負担の軽減につながるものであり、事業の周知を図りながら継続して実施していく。
- 出会い・結婚に関して必要な支援として、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が最も高く、次いで「非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化」が挙げられているほか、「長時間労働の是正など自由な時間の確保」も高い割合となっている。これらの項目は女性の割合が高く、特に上位2項目では男性を大幅に上回っている。これまでも職場環境の充実や雇用の安定化等に取り組んできたところであり、人口減少に伴う労働市場の変化を踏まえつつ、「こども未来戦略方針」をはじめとした国の各種施策と連携しながら、家事や子育て等と仕事の両立や、就労環境の充実を促進していく。

4 自由意見

令和5年度「市民による市政評価」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 農林水産業について

- 日本の農林業も国際分業論化の中で自給率が低下し、スマート農業の推進によって、大型機械の導入と、低コスト農業の選択を余儀無くされた農家は、除草剤等を頼る結果となり、安全な食糧を安定的に供給（確保）することの心配や、大型機械による山の取り崩し（国土保全）、自然環境保護、農業の多面的役割等の視点を大切に、日本型農業を基盤とした田園交流都市を築いてください。（80代以上／男性／南外）

(2) 商工業について

- 商業を現状より少しでも活性化するような取り組みに期待したい。地域企業が元気になることで、賃金アップ・雇用充実につながる。（40代／男性／大曲）
- 大曲の商業活性化に不安を感じる。若い人達がどんどん県外に流出しているため、大曲イオンの中の専門店が行く度に空き店舗になっているのが非常に寂しい。中仙イオンのようにいづれなるのではと思う。どうかつぶれず残して欲しい。商業の活性化に力を注いで欲しい。若者が大曲で有意義に働く場所がありますようように。（50代／女性／大曲）
- 我々庶民には未来は考えられなく明日をどう生きるかです。せっかく自然あふれる大仙市、若い人達が安心して働ける大きな工場や施設を増やしてほしい。年収も良くなれば結婚する人も増えると思うし子どもも増えます。そのためにはショッピングモールやレジャー施設を増やして若者が県外に行かないように、給料も良い、休みもある大企業の県内への勧誘が大切だと思う。空き家と土地が増えるだけです。休みもない、お金もない、物価が高く、花火だけじゃ若い人は皆県外に出て行ってしまい年寄りだけが残って大変な未来になります。SDGsや結婚なんだかんだの前にもっと若者から中高年が働ける場をつくってもらいたい。そうすればニートや引きこもりがもっと減ると思う。変なこと（自殺や他殺）を考える人もいなくなると思う。（40代／男性／神岡）
- 企業誘致することにもっともっと力を入れてください。（30代／男性／中仙）
- 若者が勤めたいと思えるような企業を増やしていただきたいと思っています。（50代／男性／大曲）

- いつかTVで賞味期限短い商品（たくさんの種類）を販売する激安店を放送されていました（県外です）。大仙市でもものを大事にするという意味で、そのような店があったらいいなと皆で話しています。神岡地区と西仙北地区間の国道13号沿いに大型店があればいいなという意見が多々あります。（60代／女性／西仙北）
- 大曲駅花火通りの閑散とした状態をどのように考えているか。（70代／女性／仙北）
- 駅前の商店街や商業施設の活性化。学生が放課後などに利用できる飲食店や商業施設がさらに多くなればいいと思います。（10代／女性／大曲）
- 地域のつながりは強いと思うが、昔からある法人の考えが正しいという雰囲気を感じることもある。様々な企業を誘致することでより良いサービスや質の向上につながり、大仙市が活性化されると思う。今まで競争相手の少なかった分野を見つけ、誘致したりする事で活性化されると感じる。（40代／女性／大曲）

(3) 花火産業構想について

- 花火会場付近に住んでいるため、花火の前後は不便な面が多いが、住民に対しては通行証を配るだけで全くと言っていいほど配慮がない。6階のビルを建てることに関しても全く説明がないまま進んでいる。市は花火事業に力を入れすぎていて市民のことを考えていないと思う。（40代／女性／大曲）
- 花火師の方々の宿泊施設建設について、もっとしっかりとした説明が市民に伝わるよう、商工会議所だけでなく市役所も関わるべきだったのでは。（70代／男性／仙北）
- 花火大会の実行委（商議所）に不満。栈敷の値段が高すぎる。5人・6人家族が座れる（旧A・C席）がない。市民を無視してツアー客優先、金儲けに走っている。花火産業は大切だが、花火大会からは市は手を引くべき。市民の税金を使わないでほしい。これまでいろいろ協力し、県外の友人にPRしてきたがもうやめます。今年が花火大会衰退の初年度になりそう。渋滞、騒音、ゴミ迷惑、別でやってほしい。（60代／男性／大曲）
- 花火に力を入れすぎではありませんか。（30代／男性／仙北）
- 老若男女が住みよい魅力ある大仙市になるようお願いしたい。たしかに花火は大仙市のシンボルではあるがあまりにも予算が多過ぎるのでは。もっと使い道を考えてもらいたいです。（60代／男性／太田）
- 花火の街をうたっているし、楽しみにしている。ただ、「ん？何の花火？」と思うこともあり、ホームページなどで教えてもらえたらなと思う。（70代／女性／神岡）
- 花火事業、飲食業以外の業種の方々にも目を向けていただきたいです。（50代／女性／大曲）
- 大曲と言えば花火の街なのですが有料席の値段が高すぎて気軽に友達や親戚を呼ぶことができなくなり残念です。観光を花火に頼りすぎです。（50代／女性／大曲）
- チケット代の高騰やら、景観を損ねる宿泊施設等、営利と利潤の追求に走らず、市民のための花火大会という視点を忘れないでほしい。（40代／女性／大曲）

- 大曲の花火に力を入れすぎではないか。商工会議所の事業かも知れないが市長が大会委員長？になっているから意見を聞いて欲しい。ちょっと前までの花火競技大会から変わり過ぎた。席が高価すぎる。今は観光客の為の花火になり大仙市民のことを考えていないと思う。改善してほしい。（70代／女性／仙北）
- 大曲の花火について商工会議所主催とはいえ、あまりにも栈敷料金が高い。これでは、県外の人が来られない。（60代／女性／大曲）
- 大仙市に移住して約10年ほどになる子育て世帯のものです。大仙市は都会とは言えませんが、病院、スーパー、ドラックストアなどは充実しており、生活する上で困ることは特にありません。大仙市には高等学校以降の高等教育機関がなく、進学を希望する場合は秋田市や県外への進学がメインになっていると思います。大仙市には大曲の花火という全国に誇れるメインコンテンツがあります。花火を見せる（大曲の花火）、花火を知る（はなび・アム）、花火を造る（地場を含む各企業）、そして、花火を創るといった研究機関を創設して、花火を創るから見せるまで一貫した場所にしてみてはいかがでしょうか。大学などの研究機関があることによって、花火の学術相談やカンファレンス開催などにより、学術がもっと身近になると思います。（40代／女性／大曲）
- 花火産業ばかりに力を注いでいる。市街地にもその恩恵があると思えない。（40代／男性／太田）

(4) 観光について

- 花火以外の観光資源を開発してもらいたい。（参考：横手焼きそば、かまくら、田沢湖の温泉など）花火に頼りすぎている。（40代／男性／大曲）
- 花火だけに頼らない観光産業も考えてもみてはいかがでしょうか。（60代／男性／仙北）
- 白岩温泉利用できるようお願いいたします。（80代以上／男性／協和）
- 観光は花火がメインだがそれ以外は無いかと感じる。秋田県全体に言えることだが、県外の人が魅力を感じたり、インバウンドに力を入れて県内、大仙市でお金を使ってもらえるような取り組みに対しての意欲が薄いと思う。北海道や東京等のように観光地の交通整備が進んでいないため空港から大曲に来る場合等非常に来にくい。（40代／女性／大曲）
- 大曲は花火の街として有名だが花火以外の魅力が薄い。発信力も低い。花火だけで満足しているような感じを受ける。北海道や東京などの大都市観光地のように県外の人が来たいと思えるような、秋田に来てお金を観光客が使ってくれるような取り組みが必要だと感じる。（40代／女性／大曲）

(5) 雇用・就労について

- 県外の大学に進学しているものです。Aターンを希望しているのですが、中々求人が無いため困っています。もっとAターンへの支援をしていただきたいです。（PT学生です）
（20代／女性／太田）
- 大仙市の多種多様な雇用の促進を望む。大手企業の誘致。（40代／無回答／中仙）
- 生まれ育った子どもたちが若者となり、大仙市へ戻って生活できるようなまちづくりを進めてほしい。30代、40代などの若者が就職面接に大勢いるのを目にしました。雇用安定のために市ができることを真剣に考え、進めてほしい。（60代／男性／協和）

出会い・結婚・子育て分野

(1) 出会い・結婚について

- 出会いの場がなく、ネットで出会ってしまうと県外への移住の原因ともなるので、場を設けたら良いと思う。企業を発達させ、若者の定住を促すのが大切。（10代／女性／太田）
- 結婚する人の数が少なくなっているの、子どもの数も減っています。とてもさみしく思います。家族を持つと思う環境づくりをして欲しいと思います。（60代／女性／南外）
- 日本全国で未婚者がたくさんおられます。若者達に良縁が、幸福が一日でも早く来る日を望みます。（70代／女性／西仙北）
- 少子化に拍車がかかっている今、出生数が少なすぎて危機感を覚えます。他の自治体で移住→出生数の増加という成功例もメディアで取り上げられ、注目されているニュースを目にしました。これを参考に人口増を切に願います。これが実現すると他の問題点も解消できるのではと思いますが、なかなか大変なことですね。（40代／女性／大曲）
- 若者が結婚しやすく暮らしやすいまちづくりをお願いします（20代／男性／大曲）

(2) 子育てについて

- 子どもの人数が多いと小学校入学後の学童の負担額が増えてしまうので保育園の時と違い不安になります。また、長期休みで学童を利用する際、毎日お弁当をもって行きますが、朝は時間に追われるので、軽食的なフードサービス（定額）などがあれば嬉しいなど考えたことがありました。難しいこととは思いますがご提案だけさせていただきます。（30代／女性／仙北）
- 放課後児童クラブですが、1～2年生の人数が多くなり高学年での利用ができません。夫婦世帯で働いていく上で子どもが安心して過ごせる場所があれば良いと思います。仕事をやめざるをえない人もいます。少子化といいますが子どもが少なくなった分、支援もなくなっているように思います。（50代／女性／仙北）

- 美郷町などは毎月各家庭に無料で商品券が送られてくるという話を聞きました。大仙市でもこのような政策があってもよいのではないかなと思います。物価が上がり、買物もしづらくなってきているので。せめて子育て世帯でも配布していただけたらありがたいなと思います。（30代／女性／仙北）
- 子どもの有無に関係のない妻の就職活動、特に、子どもがいることでパート・アルバイトの不採用が多く散見されるため、子どもの預かりや施設の増設にもっと力を入れた方が良いのでは。また、旦那の職業（収入など）によって保育園等の優先順位が決められるのはおかしいと思う。もっとその過程の状況を見極めて判断すべき。（20代／男性／大曲）
- いつも市政のためにご尽力いただきありがとうございます。自分が子育て世帯だからということもありますが、子育て・出産支援に今よりも少し力を入れていただけると助かります。妊娠期～出産まで多額のお金がかかることはもちろん、物価高の中でも子どもの“食”だけは質を落とすたくない、子どもは消耗品が多いなど、産まれてからもお金はたくさんかかります。もう少しだけでも金銭的余裕があれば、親の心のゆとりにも繋がると思います。未来ある大仙のかわいい子ども達のためによろしく願いいたします。（20代／女性／大曲）
- 学校の給食費の無償化をお願いしたい。（40代／女性／大曲）
- 子どもへ手厚い補助が欲しい。70歳まで働かなくてはならない時代になりつつあるので賃金不足が心配なので補助するシステムがあって良いのでは。（60代／男性／協和）
- 子育てに関しては年度途中の入所が可能になると職場復帰がしやすいと思うが法人の考えもあり難しいのでしょうか。秋田市は年度途中の入園予約ができるので利用者側に立って進めていると感じるので大仙市も検討してほしいです。（40代／女性／大曲）
- 最近結婚して、家を建てたいと思っています。若者の定着や人口減少を問題視されてる割には、結婚後の金銭面の支援、子育て支援や家を建てる時の補助金が少なすぎると思います。大仙市への移住者だけでなく、大仙市で生まれ育った人たちのことをもう少し考えてほしいです。給料が上がらない中の物価高騰、光熱費の増加など、給料がほぼ生活費にあたる中で、子育てもするとなるとお金が足りなくなりますので、よろしく願いいたします。（20代／男性／大曲）
- 2人の子育て中です。先日2人目が生まれ、1年の育休に入りました。その間、上の子の保育時間が強制で短時間になることに納得いきません。我が家の場合、自分以外の他の家族が4時半に仕事が終わるそのまま迎えに行ける状況なのに、短時間になったせいで4時にわざわざ産まれたばかりの子を連れて毎日迎えに行かなければいけません。それぞれ家庭に事情があると思います。結局保育料を払うのはそれぞれの家庭です。短時間を望む人は申請すればいいし、何も全員が短時間にならなくても。赤ちゃんを連れての送迎で大変なんです。お金を払えば標準のままでもいいのではと思います。（20代／女性／仙北）

- 子育て世代です。子ども2人いますが、保育園の給食費など大仙市が助成してくださって助かっています。小学生からの給食費も半額でもいいので助成など考えて欲しいです。子どもが三歳児検診で弱視の疑いで受診し視力矯正眼鏡をつくりました。他の市では健康保険などの助成以外でも助成金が出るということです（横手市）。検診で早くに治療ができるのはとても安心できますが、眼鏡の購入などの助成も検討してもらいたいです。きっとこの検診で弱視疑いのお子様が発見されやすくなります。少しでも大仙市の子ども達が健康であって欲しいのでよろしくお願いします。（30代/女性/大曲）
- 子育てに関しては保育園の途中入所が難しいと聞かすが、市外での取り組みのように保育園入所の予約制度を取り入れられると子育てしながら働くことがスムーズに進むように感じる。保育園の途中入所ができないため、仕事復帰を先延ばしにしている家庭も多く、利用者よりも大きな法人の考えを優先しているように感じる。子育てに寄り添っているのか利用者側を大切にしているのか、行政が力を発揮し、子育て環境が良くなるための働きかけを望む。秋田市では途中入所の予約ができると聞いたことがあり、秋田市の保育園側は受け入れている。大仙市は利用者の想いに寄り添い対応していくことは難しいのでしょうか。（40代/女性/大曲）
- こども園に勤めています。今の子育て支援は、子どもだけでなく親も支援していかなければならないことが多いと感じます。親になりきれない親が多く、子どもの質が落ちるのは当然で、保育士の負担は増えるばかりです。子どもの数は減っていても、手のかかる子どもは増えています。今までと同じ人数配置では十分対応しきれません。昔とは違うのにいつまで基準を変えないのか。ニュースで取り上げられる痛ましい事件は他人事とは思えません。幼児期の成長は人としての基盤ができる大切な時期です。教師と同じ、それ以上の給与でもおかしくないと思います。仕事内容に対しての今の給与が低すぎると思うので、どうか質上げもお願いしたいです。そしてとにかく物価高騰に困っています。節約にも限界があります。切に何とかして欲しいです。給付金でも、プレミアム商品券とかでもいいです。家計を助けてください。（40代/女性/仙北）

健康福祉、スポーツ分野

(1) 社会福祉について

- うちでは障がいを持った子ども2人を育てています。7人家族ですが、金銭的に厳しいです。なのに支援を打ち切られて、先が見えなくなりました。もう少し金銭的支援、障がい者支援を充実させていただきたい。（30代/女性/大曲）
- 燃料費や物価の高騰、6月からは電気料金の値上げなど高齢世帯や年金生活の方々にはさらに負担がかかって大変だと思うので支援があるといいのではないのでしょうか。（50代/女性/大曲）
- 支援などの充実。（40代/男性/西仙北）

(2) 社会保障について

- ワーキングプアを無くしてほしい（60代／女性／大曲）
- よく非課税世帯に給付金を支給されていますが、こちらは働かないと生活が苦しいのでフルタイム勤務をしています。そして税金も納めています。毎回毎回非課税世帯ばかり。必死に働いてるのが馬鹿馬鹿しくなります。このようなアンケートはただ答えさせるだけではなく、何かちょっとしたお礼などを用意したほうがいいかと思います。ただ回答、非常に面倒くさいです。（20代／女性／仙北）
- 子ども二人を扶養にしていると国民健康保険税が高くて大変過ぎです。なんとかなりませんか。（50代／男性／中仙）

(3) スポーツについて

- スポーツ施設(特に野球場)の整備、修繕、改修は必須だと思います。人工芝多目的グラウンドの必要性について大きく疑問を感じています(建設に不満はありませんが、規模が中途半端。実際にスポーツをされている方ならわかると思います。)。現在ある施設の整備や修繕を後回しにしていることが疑問です。公園に関しても、今の現状で子育てしやすいか、活用などアンケートにすることすらどうかと思います。（40代／男性／大曲）

環境・安全分野

(1) 自然・環境衛生について

- 花火以外のまちづくりにも注目していただきたい。総合運動公園、人の集まるような公園。（80代以上／男性／大曲）
- 大仙市のごみ袋に氏名を記入するのはどうかと思う。個人情報がどうのこうのいわれている中で大仙市としてどう思っているのか。（50代／女性／協和）
- 仙北市角館にあるごみ処理施設を大仙市民が利用できるように早く取り組んで欲しい。花館にあるごみ処理施設に運ぶのは遠く不便である。（60代／男性／中仙）

(2) 安全・安心体制について

- 流雪溝設置のお願い。当地域は大曲中通町に位置し、北は住宅、向いは月極駐車場である。南は店舗で区間約130メートルの区域にある。住宅は東側に7軒（うちビル1軒、トランクルーム1軒）西側7軒（うちビル2軒）、他は空き地である。住人は全部で14人中12人（86%）が高齢者である。冬期間除雪車が作業を終わった後、各人の家の前の排雪作業がはじまる。朝4時に起き約30メートル先の流雪溝までダンプに雪を積み排雪に努

めている。数年前から一部の住人が個々に除雪車の所有者に委託、お金（年金）を支払い、排雪をしてもらっている。このような実情をご賢察の上、是非とも流雪溝の設置をお願いする。（80代以上／女性／大曲）

- 今の時代、墓じまいという現実が起きている。また、最初から墓がない家もある。親が亡くなった後、市で合同葬・永代供養をしてくれるところがあれば安心する。（お寺でなく）樹木葬でも良い。若い人が、または子どもが親の死亡時、お金をあまりかけられない時代になっているので、市で考えてほしい。墓のない市民が親の死後これからどうしたらよいか。大仙市は高齢者ばかりです。（60代／女性／大曲）
- 富士見町よねや方面から幸町へ渡る踏切があります。冬場は不使用状態で夏場も交互通行で大変不便なので改善をお願いしたい。（30代／男性／大曲）
- 【街灯について】いつも気になっているのですが、信号のある個所では街灯が高い所、それより低い所と2か所もついてとても明るいのに、住宅街では暗い所が多い。このアンバランスを歯がゆく感じています。また、街灯が明るいうちから点灯されている所や朝明るくなくてもいつまでもついている所がある。街灯が点灯されていない所がある。（歩いて気がついてても所在地を説明できない）。上記のことを市役所の方に話をしましたら「街灯は業者に委託しているので、その業者が負担するので、市は関係ないから気にしないでいいのよ」と言われてびっくりしました。子育ての時、子どもたちには電気・水道・電話・ガス等は大切に使っていないとお金を出しても使えない時もあるからとうるさく言っておりました。市役所は人数がたくさんいることでしょうかから、自分の部署じゃないから関係ないと言わずに、気付いた方が、担当部署に連絡するのが当たり前になってほしいです。（80代以上／女性／大曲）
- 交通、通信、アミューズメント等便利になる一方、詐欺、犯罪が増えると思います。見守りをもう少し強化してもらいたいです。（50代／男性／大曲）
- 市は良くやっているといます。今春、道路の白線引きが遅れているようです。危ないです。（60代／男性／大曲）
- 毎年思うのですが、春になると、道路の白線が見えづらく小学校の子ども達や、自転車通学の中学生など、とても心配しております。地域の宝ですから、安心して通学させたいと思っております。予算など、いろいろあると思いますが、ご一考願いたいと思います。（70代／男性／太田）
- 夜の街を明るく、街灯を隅々までつけてほしい。（70代／女性／協和）
- 子どもが学校に通う手段として、スクールバスを運営していただきとても助かっていますが、バス停～家までの距離が短いにもかかわらず、「電灯」が無きすぎて夜真っ黒（夕方も）。何百mしかないけど、途中お墓があったり、草むらだったりといつも子どもたちが怖がって帰ってきます。走って帰ってくるほど。電灯とバス停の乗降位置を考えてほしいです。（40代／女性／中仙）
- 冬場の除排雪について、高齢者宅前にどっかりと雪のかたまりを置いて行かれるのは困る。（80代以上／男性／大曲）

- 大曲地域の冬の除雪、積雪が多くなるにつれて道路が狭くなり通行が大変です。道路幅の狭い所をデータベース化して、ローダーでの除雪でなくロータリーによる排雪をお願いしたいです。狭い状態になってからするのではなく、事前に実施してほしいです。(60代／男性／仙北)

(3) 空き家対策について

- 秋田県、大仙市の身近をみると、空き家、若者の流出が目立つこの頃です。若者が流出しないように職を与える手段はないものか考えなければと思います。住みやすいこの地に多くの若者が集える工夫、残りたいと思う環境づくりを私たち老人も考えたいと思います。(70代／男性／神岡)
- いろいろ設問がありましたが、市が何をしてくれているのかあまり届いていない印象です(メディア離れから知ろうとしていないのも事実ですが)。空き家が多いので、空き家の制度に取り組んでくれているのはとても良いと思います。(30代／女性／神岡)

都市基盤分野

(1) 公共交通について

- いつになったら水洗トイレになるのか。車が絶対に必要かつ高齢化、免許返納なんて無理があるのではと思う。必要な所ほど交通の便もない。冬場の除雪の補助の必要性。(60代／女性／南外)
- タクシー券も5,000円じゃ店にいったら戻って来られません。みんな中途半端です。(40代／男性／神岡)
- 高齢化が進む中で車の免許返納後の対応(例えば買物バスの無料化など、行政からのサポート)。(60代／女性／中仙)
- 仙北地区には商店が無く老人世帯では買い物難民になりそうなので週一回でも良いので買い物バスか安心してできる移動販売車を出してもらいたい。(70代／女性／仙北)
- 公共交通機関を充実させてほしい。バス廃止路線増えているので都営バスみたいな低料金で利用できる仕組み。(50代／男性／大曲)
- 今回このような機会をいただいたので、個人的に改善すべきだと思う点を述べさせていただきます。市内循環バスの運行について、毎朝、大曲厚生医療センターのバス停横を通るのですが、あまり利用者がいないようにみえます。また、花火通り商店街の学生の自転車通学の量が多く、危険な場面を目にすることが多々あります。そのため、通勤・通学時間帯に3台ほどのバスが運行しているのを見るのですが、そのうちの何台かを通学用にしてみてはいかがでしょうか。(10代／女性／大曲)

(2) 地域情報化について

- スマホなどを持っていない情報弱者にも配慮して広報・公報を行ってほしい。（70代／男性／大曲）
- 天候に左右されず、子どもたちがのびのびと遊べるパークがあるとうれしいです。施設内は、アクティブエリアや想像遊びエリアなど多くの遊具を使いながら様々な遊びを体験できるつくりのパーク。（50代／女性／大曲）

(3) 市街地について

- 支所、銀行、郵便局、介護施設、スーパーが歩いていける場所にしていかないと、これから車の免許を返却した高齢者は困る時代が来ると思う。西仙北地域ですが、もっと道路を歩きやすくするなど考えるべきだと思います。大仙市も万歩計を配布していますが、由利本荘市などのようにウォーキングロードを整備するなど考えてほしい。（60代／女性／西仙北）
- 郊外にモールができ過ぎて自家用車が無ければ買い物ができない。（70代／女性／仙北）

(4) 道路・河川について

- 自転車にもやさしい道路を、凸凹、ひび割れ、砂利、ネジ、釘、ガラス、橋のつなぎ目など、パンクの原因で困ってます。（男性／大曲）
- 南外と神岡を結んでいる嶽見橋ですが、トラック等大型車が来れば、すれ違いできないくらい狭いのでなんとかしてほしいです。（20代／男性／大曲）
- 横手市と大仙市間の国道の片側2車線化を検討して働きかけてほしい。（50代／男性／大曲）

(5) 上・下水道について

- 下水道やデジタル放送料等に地域差があり、不平等な状態（60代／男性／西仙北）
- 生活に欠かせない水。水道料金（上下水道）が高いと感じているのは私だけでしょうか。都会（東京？）は安いと聞かされたことがあります。もう少し、少しだけでも料金下がらないでしょうか。（50代／女性／大曲）

(6) 住環境、公園、緑地について

- 子どもが安心して遊べる公園の整備、街路樹の伐採など、もっと街をきれいに整えてほしいと思います。荒れた環境からはいい人間も物も育たないと思います。（50代／女性／大曲）

- こんなに土地があるのに人々が集まる公園が少ない。大佐沢公園は子どもを連れていくには熊が心配。(60代/女性/西仙北)
- 公園など遊具がボロボロなところ、故障したまま寂れているところが多く、子どもと一緒に遊びに行くのがっかりすることがあります。児童館などももう少し小学生も遊びに行きやすいような形にしてほしい。(40代/女性/大曲)
- ・公園はあっても雑草が生い茂っていて遊べない所が多いので整備してほしい。
 ・川原で水遊びができるように整備してほしい。
 ・市街地に木が無いのであまり自然の豊かさを感じない、植えてほしい。
 ・駅前商店街に活気が無く街全体が寂れた雰囲気になっているのが残念、花火などで遠方から来た人にとってはイメージが悪い。
 ・小学校の給食が同じメニューばかりで多様性がゼロなので、米食にこだわらず世界の料理や各地の料理を出してほしい。(30代/女性/大曲)

教育・交流分野

(1) 学校教育について

- 現在学校給食で麺類のメニューが出ていません。色々な理由があることは分かりますが、子どもたちが給食を楽しめない理由になりつつあります。大仙市外の業者に依頼する等、何らかの早めの対応をしてほしいと思います。(40代/女性/協和)
- 小中学校の規模が地域によって差があり過ぎる。活動の制限につながると思う。適切な統廃合を迅速に進めてもらいたい。放課後児童クラブに確実に入れるようにしてもらいたい。企業を誘致し、安定した雇用を生み出してほしい。花火大会が高い金額を払わないと会場で観覧できなくなり、悲しい。(40代/女性/大曲)
- 太田地域は学童数が少なく小学校が分散されているが、合併しないのは何故なのか。アンケートは取らせているが反映されていない。要は市政に不満だらけ。子育て支援にはやや満足している。(40代/男性/太田)

(2) 生涯学習について

- 突然アンケートが届き、少し驚きました。以前、息子の成人式について質問メールをして回答メールをいただいた際には、お世話になりありがとうございました。結局参加できませんでしたが、皆さんに配った成人式資料(式進行等のプログラム?)も不参加でも、記念品タオル等あれば嬉しく思いました。本人にインターネット動画は見せましたがあまり興味を示しませんでした。(50代/女性/神岡)
- よく図書館を利用しますが駐車場が少なく、本も中途半端なため、利用しにくく感じています。手軽に遊びに行き活用できるような図書館がほしいです。(40代/女性/大曲)

(3) 芸術・文化について

- 市主催の大型美術展をやってほしい。そして専用の照明のついた展示場もほしい。これによって文化の大仙市がPRできる。また学芸員がアイデアをしぼって活動できる環境もほしい。（空如の繰り返しではだめ。）（70代／男性／中仙）

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

(1) 地域活性化について

- 大仙市に住み14年になります。新しくもなく、古くもない町内会・町内は丁度良い距離感がとても住みやすいです。（60代／女性／中仙）
- 若い人が住みたいと思える市にしてもらいたい。（都市として発展）国際教養大のような学校を誘致してほしい。若い人が働きたいと思える仕事（最先端のIT企業）を誘致してほしい。大仙市のメインストリートである中通商店街を復活してもらいたい。（現在はイオン1強となり中通はシャッター街となっている。）（40代／男性／大曲）
- 市内と市外の格差があるように思う。（80代以上／男性／西仙北）
- 時代は繰り返すと言われているが、現代は99%幸福時代。何の大きな苦難もない。今後何か起きれば天と地の分かれ目に出合うことになる。平和ボケしている若い人に活力と信念をもって生きていてほしい。自分たちの幸せの為にも。（70代／男性／協和）

(2) 移住・定住について

- 農業では特産物を作る。移住のためには光回線などを事前に完備しておく。新しい事業のために優秀な人材を副業などで雇う。住めば良い市であることのPR（60代／男性／神岡）
- 若い方達を大仙市に定住させる方策を考えてほしい。①職場の創出②住居の提供③レクリエーション施設の充実。この三点を向上させる政策を実現してほしい。（70代／男性／協和）

(3) 市民協働について

- きめ細やかに意見を聴きたいというお気持ちは十分伝わってまいりましたが、少々（私には）難しすぎて何回かに分けて答えました。普段の勉強不足、関心の低さを恥じております。よりよい大仙市を心から願うものの一人です。よくなって欲しいです。本当によろしくをお願いします。総じて多くの分野でサービス・支援に慣れきっての傾向がみられ、自立も重要であることを認識すべきと考えるこのごろ。子どもから老人までもう少し自立の心を大切に。（70代／女性／大曲）

(4) 行財政運営について

- 土日祝しか休めない人が役所に用があっても閉まっていますよね。そういう所がそもそもニーズに合っていないと思うし、公務員の皆様に対する不満につながっていると思います。どうして公共サービスに曜日による穴が空くのか疑問です。（40代／男性／協和）
- 1,000人にアンケートとったところで市政に反映できるような濃い回答が得られるとは思わないが、役所の各支所の人数が減っていく中でどうやって市民にサービスできるのか。高齢者にやさしい市政づくり、花火産業だけに寄りかかりすぎず、子どもや若者に好かれる市に期待します。（70代／女性／中仙）
- 全世代が、老いも若きも将来に希望をもてる大曲になればいいかと常に思います。戦略的に縮み、皆が安心して笑顔でいられたら良い。（40代／女性／大曲）
- 行政サービスを利用した際、大変親切、親身になって相談に乗っていただきありがとうございました。もっと早く相談していればよかったですと思いました。これからもお世話になりますがどうかよろしくをお願いします。安心して暮らせます。ありがとうございます。（40代／女性／大曲）
- 市役所管轄の業務を民間の窓口に戻さないでほしい。支所をつくるなら情報や業務などの連携を行ってほしい。はなび・アムの研修室利用についてもっとアピールしてほしい。（20代／女性／大曲）
- 今回このようなアンケートの機会をいただきありがとうございます。大仙市は市民の声を大事にしているところだと思うのもっと好きになりました。願わくば市長選や市議選の選挙がある時にだけでなく、普段から選挙の大事さが市民に伝わって投票率が全国でもトップクラスになっていくと民意に沿った市政になってくるのではないかと。私も次回は市議選に立候補しようと思いました。（40代／男性／大曲）
- 市職員（年をとっている方）ですが、横柄すぎる。私たちは税金を支払っています。（30代／男性／中仙）
- 生活スペースや生活スタイルに寄り添ったサービスがあれば良いと思います。（40代／男性／南外）
- タバコの問題はショックでした。先頭にたつ行政職員、まずは身内でしっかり正す姿勢を見せてほしい。（60代／男性／仙北）

- 事務の仕事をしておりますが12月に郵送でいただく償却資産申告書の種類別明細書、増加資産及び減少資産、緑色と赤色の用紙を毎年手書きで作成しております。正直、件数が多い年は手書きが面倒と感じています。特に、減少資産に関しては同封されている用紙、すでに申請している種類別明細書が用紙ではなく、データ（エクセル形式）でダウンロードできたら便利だろうな。減少資産の申告件数が多い年は、エクセルの機能、行削除を利用し、申告に必要な項目だけを残してプリントするというやり方ができたら。専用ソフトはそのソフトの操作を覚えなくてはならないので、エクセル形式でデータがあったらと。次回、申告の際は、勤め先の特殊な事情により、かなりの減少資産がありそう。（50代／女性／大曲）
- 旧8市町村が合併し広範囲を抱える大仙市であるが、中心部の大曲地域に偏ることなく、他の地域へも満遍のないサービスや事業運営、そして利便性確保のための取り組みを視野に、市民の声を聴取反映しながら格差を無くし、また他の市町の動向をリサーチしながら、市としての活性化や新たな取り組みへ結び付けて欲しいと願います。（40代／男性／太田）
- 既存施設や新しい施設がつくられたりしているが規模が中途半端で初期費用は抑えられてもその後の集客効果が得られていない。目の前のお金にしか目がいかない議員が悪いのか市役所幹部が悪いのかもっと知恵を使ってほしい。（20代／女性／大曲）
- 市役所の老朽化について、たまに市役所を訪れますが築年数がかなり経過していると感じます。今後の建て替え計画の際には市役所を中心としたまちづくりを期待します。アクセスが良く、雪に強くて、お年寄りなどが来所しやすい場所・環境への建て替えを希望いたします。今回の市政評価アンケートでよりよい大仙市にする取り組みを初めて知りました。アンケート結果を解析して、市民の声として取りまとめて行くのは大変なご苦労と思います。しかし、このような取り組み続けていけば、大仙市は良くなっていくと思います。頑張ってください。（30代／男性／大曲）
- SNS全盛の時代、職員の喫煙問題で叩かれたのは残念ですが、その裏には、仕事の多さや大変さによるストレスはあると思います（職員数は減っていると思うので）。市民の目もより厳しくなっているので、やっているとは思いますが、職員のメンタルヘルスは重要になると思います。喫煙者の方にも少し（たばこ税に貢献してると思うので）優しい目で、確実にOKな喫煙所を確保し、お互いにいい気持ちでお仕事ができればいいなと思います。あと、議員数はもう少しコンパクト（半分位）でもいいかなと思います。普段から、子どもの学童など、職員の皆さんには多くの生活に関わることで色々お世話になっています。ありがとうございます。これからも、大仙市がよりよい方向へ進めばいいなと願っています。（40代／男性／西仙北）

(5) 人口減少・少子化について

- 税金が高い割に働く世代への何かしらの恩恵が足りないように感じます。高齢者が多いために高齢者にばかり恩恵があるように感じる。働いている世代は多いはずです。働き盛りの世代に優しい県でなければ若者離れは止まらないと思います。子どもを育てるのも結婚するのもお金は必要です。税金の使い道をもう少し考える必要があるかと思います。(30代/女性/大曲)
- 少子高齢化が進んでおります。前途明るい大仙市でありたいです。SDGsこれから大切なことと思います。沢山のことがらを考えさせられました。大仙市も地域が広いので大変だと思いますが、皆様で頑張っていきたいですね。(70代/女性/大曲)
- 人口減の対策、若い世代への援助(結婚)、市民からの声をいま一度検討材料としていただければと思います。市のアピール、大仙市大曲地域、花火は大切な基幹産業として知名度を高めていければと思います。花火ステッカー、見に来てくれた方に日本中へのアピールの1つにもなるのでは。商工会議所との連携としてどうでしょう。(60代/女性/大曲)
- 大仙市は街や道路が整備されており比較的きれいな街だと思う。除雪や排雪も秋田市に比べると満足できる。(40代/女性/大曲)
- 父子家庭、母子家庭への支援は沢山ありますが、両親がいる家庭でも生活に余裕がある家庭は多く無いと思います。父子家庭、母子家庭だけではなく、全ての市民に目を向けるべきだと思います(税金や雇用等も含む)。それが、改善されない限り少子化は進む一方だと思います。(30代/男性/大曲)

(6) デジタル化について

- 今後ますますデジタル化が進行すると思いますが、高齢者を対象に「無料」でスマホ、パソコン等の使い方を教える機会と場を設ける必要があると考えます。情報化社会で生活していくために提案します。(70代/男性/大曲)
- 高齢者に優しい市政。デジタルだけでなく申請の手軽さ(アナログ)。高齢者包括支援センターの窓口対応はとても分かりやすく親切丁寧で嬉しかったです。ありがとうございました。(60代/女性/大曲)
- 色々な面でデジタル化の重要性はわかりますが、高齢者のみの世帯では理解しがたいこと、ついていけないことも多くあります。そういった人達への配慮も忘れず親切な対応をお願いします。(70代/女性/西仙北)
- 若い人たちが生活しやすい地域になってほしいと思っています。そして、私たちもデジタル化についていけるようにスマホなどうまく使えるように努力しようと思っています。(60代/女性)
- 行政サービスのデジタル化になってもスマホをもっていないので前と変わらない。(70代/男性/協和)

- 市の情報発信や行政サービスがデジタル化すれば若い世代の人達は理解し利用できるが、私達の年代はスマホやパソコンの中の文章だけでは理解できないことがある。人に納得いくまで聞かないと理解できない人はどう対処すればいいのか困惑する。(60代/女性/西仙北)
- 「行かなくても済む『市役所』」という表現が気になりました。でしたら「市役所」いらぬんじゃないですか。「スムーズに手続きしやすく済む」の表現の方がよかったです。(50代/女性/大曲)
- 行政サービスのデジタル化を進めるのはいいことだと思いますが、高齢者がデジタルを使いこなすのは、大変な方もおられると思うので、サービスの低下にならないようにしていただきたいです。(60代/女性/南外)
- すべてをデジタル化にすることには大反対です。(60代/女性/大曲)

その他

(1) その他

- お仕事、お疲れ様です。このように市民の小さな声を直接聞いてくださる機会を与えてくださることに感謝いたします。市民が不安無く暮らすためにこれからも頑張ってください。(50代/男性/協和)
- 育児や介護などは状況によって違うため、ひとまとめでのアンケートはおかしいと思う。(40代/男性/中仙)
- 難問が山積し、今後増々厳しい状況が予想されますが、市民との協力のもと、少しでも前進されるよう、大変ご苦勞ですが頑張っていたきたいと願っております。(70代/男性/大曲)
- 大変内容のあるアンケートと思います。意見を取り上げ実現できるところから実施してほしいと思います。(60代/女性/協和)
- このようなアンケートがムダにならないようにしてください。(20代/女性/大曲)
- アンケートが長い(30代/男性/大曲)
- アンケートにとってどうするつもりですか。税金のムダです。質問が老若同じなのはおかしくないですか。(70代/男性/大曲)
- 知識がないので自分にとって興味のあるものは目を通すけれど、その他のものは、何がどうなっているのかわからないのです。アンケートの回答も自分にとってはどのように答えたら良いのかわかりません。市役所の方は一生懸命頑張っておられるのでしょうけれど、あまり関心のない事柄に関しては回答しようがありません。(60代/女性/西仙北)
- 設問が私には難しすぎて困ってしまいました。考えてもわからないことが多かったです。(60代/女性/神岡)

- 高齢のため、市政のことはよくわかりません。（60代／女性／大曲）
- 高齢者なのでよくわかりませんでした。すみません。（80代以上／女性／大曲）
- 用紙に無作為に選出したとありましたが、以前にも同じようなアンケート用紙が届きました。アンケートを反映させるようでありましたら同人ではなく選出していただきたいと思います。ご検討願います。アンケート用紙に名前記入しなくて良いとありますが、封筒に添付される番号で役所ではお分かりかと思えます。（70代／女性／協和）
- 年配の人にアンケートは無理だと思います。締切までに出さないとハガキが届いたのですが、強制だと思いました。（80代以上／女性／仙北）
- 普段あまり市政のことを考えることがなかったので、設問はとても難しかったです。（60代／女性／中仙）
- 土川字小杉山地区の基盤整備が終わるまで固定資産税を変えないでください。（70代／西仙北）
- アンケートでどちらともいえないに○印をつけたのはわからないからです。（70代／女性／大曲）
- 一度に回答するには設問が多過ぎる。市の取組に不満があるわけではありませんが、さほどの関心もありません。日々、普通に生活できているのは特に問題が無いことだと思います。（50代／女性／中仙）
- アンケートを強制するような書類の送付、文章はやめてください。（20代／女性／大曲）
- アンケートや無作為抽選系の人選に何度も自分が当たっているのも本当に無作為なのか疑わしい。（30代／男性／大曲）
- 以前にも、アンケートが来ました。無作為に選出したとありましたが、私は前にも提出してます。幅広く皆さんの意見を募った方が良いと思います。（70代／無回答／協和）

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和5年度市民による市政評価
ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」のもと、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する要望をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための基礎資料として活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

令和5年5月
大仙市長 老松博行

《回答にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、16歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。 ※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆ 次のどちらかの方法により、**6月9日(金)**までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。 ※回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

(1) URL

https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4391

(2) 二次元バーコード



【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.lg.jp

Ⅰ 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 いど えなら ないも	2 やや不 満	1 不 満	5 重要	4 やや重 要	3 いど えなら ないも	2 であ まり重 要	1 重要 では ない					
Ⅰ 魅力 ある 産業 振興 ・雇 用な どを 創 りま す！	①	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R3 322人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R3 193億9千万円
製造品出荷額等※1	H26 646億9千万円 → R3 959億6千万円
新規雇用創出数※2	H27～R3の累計 755人
新規誘致企業数	H27～R4の累計 12社
創業者数	H27～R3の累計 109人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R3 3億3千4百万円
観光入込客数※3	H26 263万1千人 → R3 117万9千人
Aターン就職者数※4	H27～R3の累計 520人

※1 製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及びくず・廃物の出荷額の合計

※2 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人数の合計

※3 コロナ禍の影響による大幅な減少

※4 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

設問項目		満足度					重要度									
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない					
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	①	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援など、男女の出会いの場づくりや住居取得等への支援などを通じ、地域全体で応援する取組を進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 2歳児からの保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

出会い・結婚・子育てに関する市民満足度	H27 3.10 → R4 3.26
不妊治療による出産数	H27～R3の累計 141件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R3 84人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R3 34箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → R3 39.1%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27 106人 → R4 188人
全国500歳野球大会参加チーム数	R4 32チーム
スポーツ合宿実施数※1	H27 15団体 → R4 13団体

※1 コロナ禍の影響による減少

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよ 安全・安心、まちを築きます！ 都市整備など	① 【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦ 【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧ 【上・下水道】 施設設備の定期的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨ 【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

自主防災組織の組織率 H26 67.5% → R4 91.6%

地域公共交通運行状況 地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R4利用実績 循環バス 12,581人 コミュニティバス 33,405人 乗合タクシー 11,814人

市ホームページ閲覧数 H26 64万9千人 → R4 288万8千人

都市計画道路整備率 H26 59.8% → R4 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数 H28～R4の累計 2,912件

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	① 【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R4 62人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R4 12人
学校のトイレ改修率（洋式化）	H27 73.0% → R3 87.3%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R4 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R3 28,487人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R4 184団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R4 13回
国内外交流自治体数	R4現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校間の交流。

※3 コロナ禍の影響による大幅な減少。

設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
V 時代 に合った 地域社会 の維持・ 協働、活 性化、行 政運営な ど	① 【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体のまちづくりを応援しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動への支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働のまちづくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和5年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数※1 H27 73件 → R4 67件

地域おこし協力隊員数 H27～R4の累計 8人

本市への移住者数※2 R2～R4の累計 1,112人

本市への移住相談件数 H28 42件 → R4 132件

市職員数 H27 992人 → R4 834人

ふるさと納税寄付額 H27 901万3千円 → R4 4億1千563万円

財政力指数※3 H27 0.342 → R3 0.335

将来負担比率※4 H27 136.9% → R3 93.8%

全会計市債現在高 H27 991億7千5百万円 → R3 829億3千万円

※1 コロナ禍の影響により、活用数が停滞。

※2 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市に居住する意思のある定住希望者

※3 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※4 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1

あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業の振興 |
| 9. 若者の起業促進 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用の安定と就労環境の充実 | 14. 外国人を含む観光誘客 |
| 15. その他() | |

問2

あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの充実 |
| 3. 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 4. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり |
| 5. 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 6. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の強化 | 12. ワーク・ライフ・バランスの実現 |
| 13. その他() | |

問3

あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくり | 2. こころの健康づくり |
| 3. 地域医療体制の充実・強化 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの充実 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の強化 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な運用 |
| 13. スポーツ活動の活性化 | 14. スポーツ環境の充実 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギーの導入 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保と活動の活発化 |
| 7. 地域防災体制の整備・強化 | 8. 水害対策設備の充実 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪設備の充実 |
| 11. 空き家の適正管理と利活用 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の取組 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | |
| 8. 住生活環境の充実 | 9. 住宅の耐震化率向上 |
| 10. 情報基盤の整備による地域情報化 | 11. 安全で安定した水道水の供給 |
| 12. 下水道施設の適正管理と更新 | 13. 下水道未普及地区の解消 |
| 14. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 4. 家庭教育の充実 |
| 5. 地域と連携したふるさと教育 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. デジタルを活用した学習環境の充実 | 8. 生涯学習の機会拡大・情報発信 |
| 9. 芸術、文化活動の振興 | 10. 文化財の保全と活用 |
| 11. 非核平和の啓発 | 12. 他自治体との連携・交流 |
| 13. 国際交流の促進 | |
| 14. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行財政運営分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加機会の拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動の促進 |
| 5. 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住の促進 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の形成 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供や公開の充実 | 12. 各種行政手続きのデジタル化 |
| 13. 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 14. 公文書の保存・公開 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。これまで、各種証明書の申請手続きのオンライン化やコンビニ交付サービス、発行手数料のキャッシュレス化などを進めてきたところであり、今年度はスポーツ施設のオンライン予約システムを導入する予定としています。

人口減少が進行する中であっても、持続可能で質の高い行政サービスを提供し続けていくために、あらゆる場面でのデジタル化が必須となっていることから、その推進にあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがその情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ)あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4

あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる
4. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
5. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
6. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
7. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
8. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・要望等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

テーマ | SDGsについて

SDGsは、世界が直面する様々な問題をみんなで協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」です。2030年までの達成を目指し、17の目標(ゴール)と169の達成基準(ターゲット)が設定されており、私たち一人一人が「自分のこと」として考え、行動していくことが求められています。

市では、市民の皆さまにSDGsへの理解を深めていただきながら、市全体で取組を進めていくため、市広報やホームページなどを通じた積極的な情報発信に加え、令和4年5月の「SDGs未来都市」への選定を追い風に、SDGsを原動力とした持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さまのSDGsに関する認知度や取組状況を伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とさせていただきます。

また、17の目標のうち、日本での取組に深刻な課題があるとされる「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して、男女共同参画についての認知度やお考えなども伺い、取組を推進していくための参考とさせていただきます。



問1 あなたはSDGsという言葉を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 内容はわからないが、言葉は知っている
3. 知らない

問2 あなたはSDGsについて関心がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. ある
2. ややある
3. あまりない
4. ない

問3 あなたはSDGsを意識して、日常で何らかの取組を行っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 積極的に取り組んでいる
2. ある程度取り組んでいる
3. 取り組んでいないが、今後取り組みたい
4. 取り組んでいないし、今後取り組む予定もない

問4

SDGsの17の目標のうち「取り組んでいる」、または「取り組みたい」と考えている目標は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさを守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナリシップで目標を達成しよう | |

問5

あなたは、男女共同参画に関する次の言葉を知っていますか。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。(○は1つずつ)

1)	「男女共同参画社会」 男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない
2)	「ワーク・ライフ・バランス」 「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動などの「仕事以外の生活」との調和をとり、どちらも充実させる働き方・生き方	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない
3)	「ポジティブ・アクション」 男女間の格差を解消するために行う自主的かつ積極的な取組	1. 言葉も内容も知っている 2. 内容はわからないが、言葉は知っている 3. 知らない

問6

あなたは「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかと言えば賛成 | 3. どちらとも言えない(わからない) |
| 4. どちらかと言えば反対 | 5. 反対 | |

問7

あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 主に女性が行っている | 2. 主に男性が行っている |
| 3. 男女ともに同じように行っている | 4. どちらか手の空いている方が行っている |
| 5. その他() | |

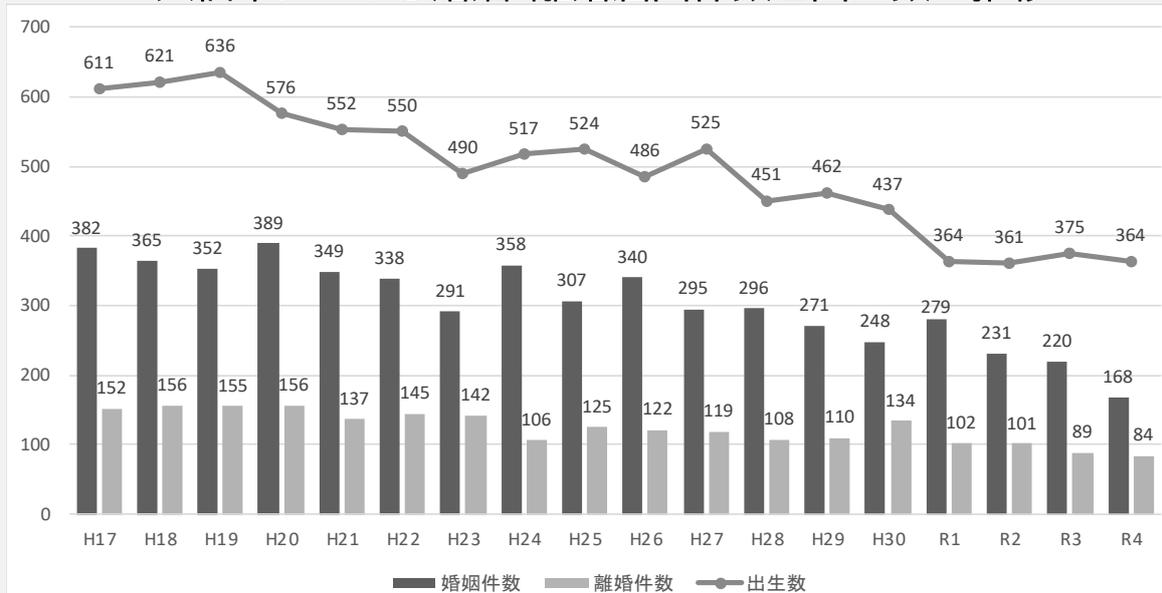
テーマ2 出会い・結婚について ※40代以下の方にお聞きします。

現在、我が国において喫緊の課題となっている人口減少・少子化について、政府は「次元の異なる少子化対策」を掲げ、集中的に取り組むことを表明しています。

市でも、結婚や出産・子育ては個人の自由な意思に基づくものであることを大前提に、結婚を希望される皆さんや、子育て世帯への支援強化に取り組んでいます。

この調査では、市民の皆さまから出会い・結婚に関するご意見等を伺い、今後、出会い・結婚を希望される皆さんへの支援をさらに充実させるための参考とさせていただきます。

大仙市における婚姻・離婚届出件数と出生数の推移



問1

あなたは結婚(事実婚等を含む)または交際していますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. している

2. していたことがある

3. したことがない →問3へ

問2

問1で「1. している」、「2. していたことがある」と答えた方にお聞きします。
直近の結婚(交際)相手の方との出会いのきっかけは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 職場や仕事 | 2. 学校 |
| 3. 幼なじみ・隣人(住む地域が近かった) | 4. 友人・知人等の紹介 |
| 5. 学校以外のクラブ・サークル・ボランティア活動 | 6. 結婚相談所などの結婚支援サービス |
| 7. 合コン・婚活パーティー | 8. お見合い |
| 9. 旅先やまちなか | 10. インターネット・SNS |
| 11. その他() | |

問3

結婚にあたって障害となるもの、または、障害となると考えられるものは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 結婚式の費用等、結婚する際の資金 | 2. 結婚生活のための住居 |
| 3. 婚姻後の生活費等、結婚生活にかかる費用 | 4. 職業や仕事上の問題 |
| 5. 親の承諾 | 6. 親との同居や扶養 |
| 7. 年齢のこと | 8. 健康上のこと |
| 9. 特になし | 10. わからない |
| 11. その他() | |

問4

これまでやってみたことのある婚活はありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 家族や親せきからの紹介 | 2. 職場の人からの紹介 |
| 3. 友人からの紹介 | 4. 婚活イベントへの参加 |
| 5. 結婚相談所などの利用 | 6. マッチングアプリの利用 |
| 7. 趣味などの活動への参加 | 8. お見合い |
| 9. 合コンなどへの参加 | 10. 特に何もしていない(したことがない) |
| 11. その他() | |

問5

出会い・結婚に関する支援で必要だと思うものは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 男女の出会いの場の提供
2. 交際にあたってのノウハウを学ぶセミナーの開催
3. 結婚に関して相談できる場所
4. 非正規社員から正規社員への雇用形態の転換など雇用の安定化
5. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実
6. 結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備
7. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援
8. 長時間労働の是正など自由な時間の確保
9. 結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない
10. その他()

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 16～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

・あなたの現在の就業状況を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|---------------------|--------------|-------|
| 1. 正規社員・職員 | 2. 自営業・家族従業者(農林業含む) | 3. パート・アルバイト | |
| 4. 派遣・契約社員 | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生(高校生含む) | 7. 無職 |
| 8. その他() | | | |

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 大曲地域 | 2. 神岡地域 | 3. 西仙北地域 | 4. 中仙地域 |
| 5. 協和地域 | 6. 南外地域 | 7. 仙北地域 | 8. 太田地域 |

・あなたの家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦世帯 | 3. 二世帯世帯 |
| 4. 三世帯世帯 | 5. その他() | |

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、6月9日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。